

## 6 2014年度県外避難者の心のケア事業 「心とからだの健康相談」の報告

## 2014年度県外避難者の心のケア事業 心とからだの健康相談の報告

### はじめに

2014年4月から福島県保健福祉部障がい福祉課（以下、障がい福祉課）からの協力事業として、ふくしま心のケアセンターから臨床心理士または精神保健福祉士1名と保健師または看護師1名、福島県避難地域復興局避難者支援課1名の体制で心とからだの健康相談を実施してきた。

ホールボディカウンター検査（以下WBC検査）を受けに来た方を対象に、身体の状態や精神的な不調、悩み等の内容が記入できる問診票「健康状態についてのアンケート」を実施し健康相談を進めてきた。沖縄から始まり北海道を含め13カ所の概要について報告する。

### 1. 問診票から見られた特徴

問診票に記入した人数の合計は375名であった。うち、多かった年代は順に30代（108名、28.8%）、40代（95名、25.3%）、10代（85名、22.7%）であった。

問診票では心の健康状態を把握するためにK6調査票を用いた。WBC検査の受検者における心の健康に関してハイリスク者の割合を先行研究（川上、2007）の結果と比較したところ、次の結果となった。

表1 一般住民との心の健康度の比較

	一般住民（川上，2007）	今回の結果
全回答者数	1,183名	375名
K6=5点以上 心理的ストレス相当	27.5%	114名（30.4%）
K6=10点以上 不安・気分障害相当	8.2%	44名（11.7%）

この結果は県外避難者の全体を反映するものではないが、少なくともWBC検査受検者の精神的健康度は一般住民と比較するとやや低い状態にあることが推察される。

健康面に関する顕著な特徴としては睡眠に関する項目が挙げられる。375名中112名（30%）が睡眠に関する不調を訴えていたほか、ハイリスク（K6が5点以上）と判定された114名についてみると、68名（59.6%）が睡眠の不調を訴えていた。具体的な不調は以下の図のとおりであった。

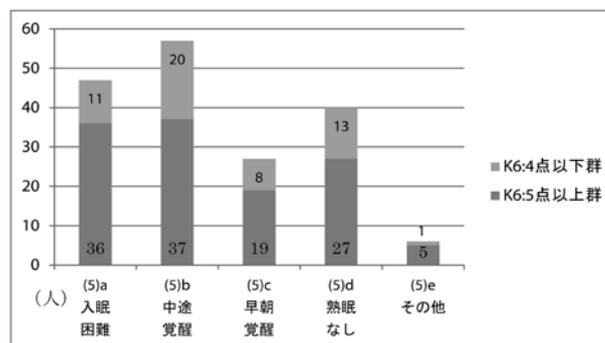


図1 ハイリスク群と非ハイリスク群別の睡眠の問題

また、各年代別の睡眠に関する困りごとは、以下の図2のとおりであった。

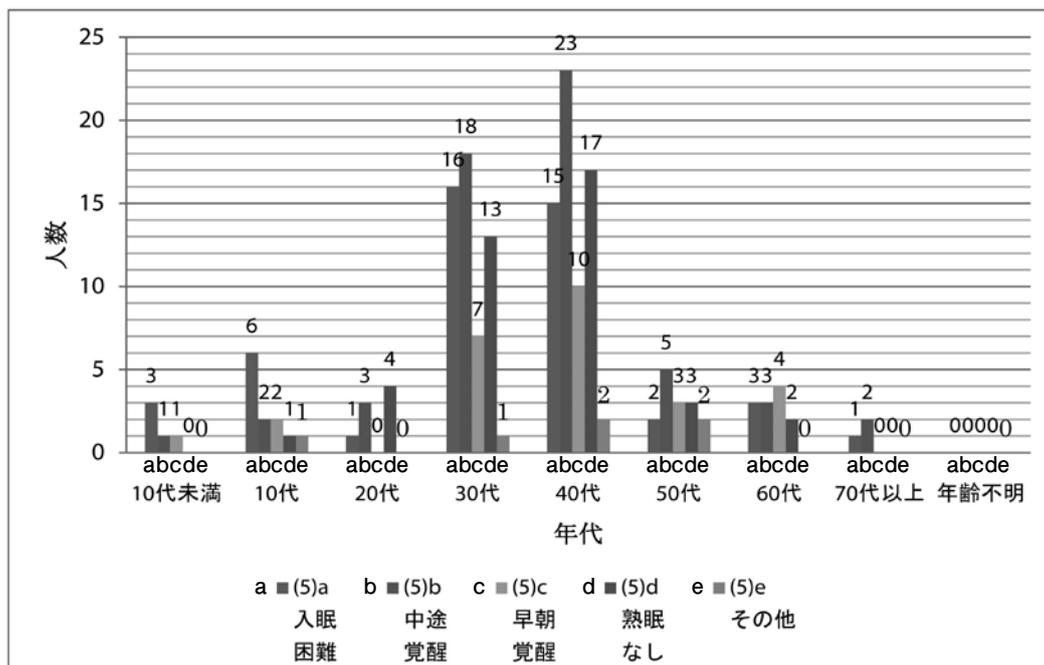


図2 年代別睡眠の困りごと

## 2. 個別相談および事後フォローより

当日、自発的に相談を希望したのは26名(12%)にすぎなかったが、障がい福祉課担当者らスタッフが個別に声掛けをして面談を実施した総数は130名(34.7%) (当センター職員による面談のみ集計)であった。さらにその中で、1か月後に電話にてフォローを行った人数は130名中24名(18.5%)で、内訳は沖縄4名、長野2名、沼津2名、岐阜3名、山梨2名、札幌6名、岡山1名、熊本1名、福岡2名、大阪1名であった。

電話での事後フォローの内容をいくつか抜粋すると、以下のようなものであった。

対象者A: K6が高得点であったため、受診勧奨を行った。避難先で医療機関を受診するも、避難先であるがために抱えている悩みや辛い気持ちをきちんと理解してもらえず、かえって辛くなると話される。事後フォローでは、避難先の医療機関情報をお伝えし、セカンドオピニオンを提案した。

対象者B: K6は低い点数であったにもかかわらず、PTSD尺度が高得点であった。避難先の相談機関情報を面談時に紹介し、その後の避難先でのフォロー状況に関して確認をするため、電話での事後フォローを実施した。

対象者C: K6は13点。生活環境の変化から不眠がちになったり、円形脱毛症などの身体症状も見られていた。事後フォローでは避難先での相談先として、避難先の支援機関の情報を提供した。

対象者D: K6で高得点であり、なおかつ質問紙でPTSD症状が見られたほか、自殺のリスクも見られた。面談時には受診勧奨を行った。事後フォローでは、家族関係の確認を行ったほか、改めて受診勧奨を実施。日を開けて再度事後フォローを行い、受診継続の状況を確認した。

## まとめ

まとめとして、県外避難者の状況として以下のことが推察される。

- ・ 県外への「移住」ではなく一時的な「避難」であるが故に避難先の環境になじむことへの戸惑いや葛藤があり、孤立感が強い
  - ・ 福島に戻るかどうかの葛藤、いつ戻れるのかわかるかといった先行きの不透明さがあることから気持ちが落ち着かない
  - ・ 夫婦間、家族間、あるいは親子間での意見の不一致がある
- こういった背景が複雑に重なり合っているために精神的な負担が生じやすく、それが心身の不調につながっていることが推察される。これらを踏まえた支援のあり方について、今後も検討していく必要があると考えられる。

## 参考 報告対象とした相談実施県および日時

1. 2014.4.18 - 19 沖縄県那覇市
2. 2014. 5.24 - 25 長野県長野市
3. 2014. 6. 6 - 8 静岡県沼津市
4. 2014. 6.21 - 22 岐阜県岐阜市
5. 2014. 6.28 - 29 山梨県中央市、甲府市
6. 2014. 8. 2 - 3 北海道札幌市
7. 2014. 8.23 - 24 北海道札幌市
8. 2014. 9. 6 - 7 岡山県岡山市
9. 2014. 9.19 - 20 三重県津市
10. 2014.10.18 - 19 鳥取県鳥取市
11. 2014.10.25 - 26 大阪府大阪市
12. 2014.11.22 - 23 福岡県福岡市
13. 2014.12. 6 - 7 熊本県熊本市

## (参考資料)

「全国調査における K6 調査票による心の健康状態の分布と関連要因」(川上、2007)

(文責) 県中方部センター

# 7 寄稿

- 生活支援相談員の支援活動とふくしま心のケアセンターについて  
……………社会福祉法人福島県社会福祉協議会 避難者生活支援・相談センター長 大和田 誠 137
- 東日本大震災後の福島県精神保健福祉士会の動き  
……………福島県精神福祉士会 事務局 菅野 正彦 139
- 浪江町社会福祉協議会生活支援相談員の現状と課題について  
……………浪江町社会福祉協議会 池崎 悟 141
- 被災者健康支援活動を通して思うこと～笑顔が増える暮らしをめざして～  
……………福島県県北保健福祉事務所 黒田 裕子 144
- 復興のための連携を……………一般社団法人ふくしま連携復興センター 遠山 賢一郎 146
- ふくしま心のケアセンター活動報告によせて……………川内村 保健福祉課 猪狩 恵子 148
- 県中・県南方部センターの事例検討会への継続的な参加を通して思うこと  
……………福島県立医科大学看護学部 大川 貴子 150
- ふくしま心のケアセンターとの活動を通して思うこと  
……………福島県県中保健福祉事務所 保健福祉課 障がい者支援チーム 小田島 カヨ 152
- 県南地域の被災者支援活動について～心のケアセンターとの連携を中心に～  
……………福島県県南保健福祉事務所 健康福祉部 宮田 良子 154
- 他職種の支援者と力を合わせた支援活動  
……………福島県県南保健福祉事務所 健康増進課 専門保健技師 土田 札美 155
- 被災者への口腔保健支援～双葉町健康サロンの活動を通して～  
……………福島県県南保健福祉事務所 健康増進課 医療技師 後藤 優子 157
- 県南地域での避難者支援活動を振り返って  
……………福島県県南保健福祉事務所 総務企画課 主任保健技師 濱尾 喜美子 159
- コミュニティ結 活動報告  
……………株式会社まちづくり会津 サポートコーディネーター 稲村 久美 160
- 心のケアセンターの活動に寄せて  
……………大熊町役場 健康介護課 課長補佐兼統括保健師 武内 由美子 165
- ハローワーク相双・トータルサポーターの窓口から  
……………ハローワーク相双 精神障害者雇用トータルサポーター 小林 文子 167
- ふくしま心のケアセンター活動報告によせて  
……………新地町健康福祉課 保健師 畠山 美雪 169
- ふくしま心のケアセンターとともに歩む被災者健康支援  
……………福島県相双保健福祉事務所いわき出張所 所長 菊地 とも子 170
- 心のケアセンター活動によせて  
……………NPO法人シェルパ 居宅サービス担当 古市 貴之 172

(敬称略)

# 生活支援相談員の支援活動とふくしま心のケアセンターについて

社会福祉法人福島県社会福祉協議会  
避難者生活支援・相談センター長 大和田 誠

## 1. 生活支援相談員配置事業

福島県社会福祉協議会では、被災により経済基盤や生活基盤が弱くなり、自立した生活が困難な避難者に、いきいきとした生活を取り戻してもらうために、市町村社会福祉協議会と協力して生活支援相談員配置事業を実施しております。

この事業は、国の制度とはなっておりませんが、阪神・淡路大震災での仮設住宅に配置された「生活支援員」が原点であり、新潟中越地震や新潟中越沖地震による災害の際にも実施されました。

支援内容は、特に定まっているわけではありませんが、①要援助者に対して、必要なサービスや活動が利用できるよう、相談と調整を行うこと②既存サービスや活動で対応できないニーズは自ら行うこととしています。また、日々の活動と継続的ななかかわりの中での要援助者の発見、多くの人とかかわりながらの巡回による安否確認、仮設住宅等入居者同士の話し合いの場づくり、周辺の地域住民や団体との関係づくりを行っております。この活動には、地区毎のニーズによりバリエーションがあります。

支援にあたっては、①相談内容を限定せず、まずは受け止める②繰り返し訪問し、徐々に信頼関係を作っていくことを重視しております。

## 2. 福島県社会福祉協議会と関係市町村社会福祉協議会

平成23年8月から県内30の市町村社会福祉協議会の協力を得てこの事業を開始し、翌年3月には171名、平成27年9月1日には267名の相談員を配置し被災者支援活動に取り組んでおります。平成27年度の相談員配置目標を390名としておりますが、優秀な人材が確保できないなどの理由により、本年9月1日現在ではこの目標には届いておりません。

市町村社会福祉協議会との役割分担では、事業の実施主体を福島県社会福祉協議会が担い、市町村社会福祉協議会は生活支援相談員を実際に採用し、支援活動をマネジメントしております。

福島県社会福祉協議会では、相談技術のレベルアップ等のための研修を階層別等毎に実施しておりますが、本年度は避難者の住み替えや帰還が進展することを踏まえ、放射線リスクコミュニケーション研修を県内各地で9回実施しました。この研修では、講師から「安全は科学的なもの、安心は人により捉え方が異なる」等と説明があり、生活支援相談員の活動の参考に供しております。今後は、避難者生活の変化に対応した活動が行えるよう、研修内容を見直ししていく必要があります。

### 3. 関係機関との連携

生活支援相談員が活動するにあたり、避難者に新たなサービスが必要と考えられ、制度に基づくサービスを担う関係機関がある場合は、当該機関につなぐことを基本とし、制度外のサービスを提供する関係機関と支援内容が重複する場合は連携して支援することになります。また、生活支援相談員は、支援に漏れがないか十分に留意した活動をしております。

地区毎に避難元・先社会福祉協議会や関係機関の間では定期的に情報交換をし、活動上の課題の解決に努めております。この情報交換の際には、ふくしま心のケアセンター職員の皆様にも参加いただき、地区内の活動状況等の全体把握の場になっております。また、関係社会福祉協議会にとり、専門的な支援の必要なつなぎ先としてふくしま心のケアセンターが各種専門職で構成されており、円滑な避難者支援活動には欠かせない団体となっております。

### 4. 今後の避難者動向を踏まえた支援のために

今後の避難者の動向を考えますと、仮設住宅から復興公営住宅への住み替えや自立再建を図られる方が増加する一方、避難生活の長期化、先行き不安、孤立感などによるストレスが今まで以上に累積する方も想定されます。このような状況に対応した支援活動には一層の困難さが増し、ふくしま心のケアセンターとの連携の重要性が増すこととなります。この連携にあたっては、柔軟な考えで避難者支援に携わることが重要と考えます。また、つないだ情報を「気になる情報」として捉え対応していただければ、生活支援相談員の支援活動の励みになります。

今後とも、避難者支援に携わる関係団体として、共に連携し、支援を求めている避難者の孤立化防止に取り組んでいきたいと考えています。

## 東日本大震災後の福島県精神保健福祉士会の動き

福島県精神保健福祉士会  
事務局 菅野 正彦

2011年3月11日の東日本大震災以降、福島県精神保健福祉士会（以下「県士会」）としても様々なことがあり、内容は変化しているが4年半を過ぎた今も新たな課題がでてきている。これまでを振り返りながら今後の活動について考えてみたい。

震災直後、私はまず職場の復旧にあたったものの、自宅のライフライン、実家の家族、余震や放射能の恐怖、ガソリン不足など、職場の慌ただしさも相まって、生活で何を優先すべきか判断できない日々が続いていたように思う。

県士会としては、災害についての備えは殆ど無かったとあってよい。当時の事務局担当者が独自に会員の安否確認を行っていたが、理事会内での緊急時の連絡方法は確立されておらず、翌12日に予定されていた理事会は、中止の連絡すら取れなかった。

ようやく震災1ヶ月後の4月上旬に災害支援の担当者を決め、他団体との連携、県からの要請の整理などに対応していくこととなる。その中で、福島県相談支援専門職チーム（以下「専門職チーム」※1）の存在は、福島県独特のものでもあり、且つ非常に有効な支援活動の形ではないかと思う。専門職チームには、県士会としては4月30日に正式に参画することを表明させて頂いた。5月の6団体全体の説明会以降、各方部の地域性を活かした支援活動が始まり、その繋がりには6団体だけにとどまらず現在も広がりを見せている。各団体の強みを活かし役割を分担し合えたことが、支援を継続してきた支援者自身のケアにも大きく寄与してきたと感じている。

被災事業所、被災自治体への支援活動を県士会独自に行ってこられたことも特記すべき点である。中心となって動いて頂いた会員のご尽力とその活動に継続して参加頂いた会員の皆さん方に改めて敬意を表したい。活動の性格をよく把握しながら、専門職チームなどと役割の整理を行えたことも特徴であり有効であったと思う。

日本協会が3月12日（11日の夜中）に災害対策本部を立ち上げ（※2）4月から宮城、福島両県で支援活動を開始していることを知ったのが夏になってからだった。南相馬市での活動に県士会からも人を出せないかと打診があった際、何とかして協力できないかと画策し、4名の方（その後更に2名から申し出あり計6名）に手を挙げて頂いたときには非常に嬉しかった。6名の方々にも改めて御礼申し上げたい。また、日本協会との協働ということでは、東京電力への要望活動が挙げられる。被災地で生活される方、その方々を支援する方の支援のしづらさにどう対応できるか。組織として行動することの重要性を改めて感じさせられた機会であった。

福島県外の方々との関わりの中で非常に特徴的なものの一つが、県内各地で開催した現地視察のツアーであろう。これまで何度かツアーを開催してきたがその経緯

をぜひお伝えしたい。一番初めは2012年6月熊本での全国大会の際に東京協会の方から「福島で合宿をしたい」と声を掛けて頂いたことだった。県内の様子を発信することの重要性を感じ始めていた頃で「ぜひお越し下さい」とお引受けした。県内の会員や支援者と交流すること、沿岸部の支援者から現状を伺うことなど1泊2日のプランを立て、多くの方にお越し頂いた。こういった活動が初めてで、受け入れについて不手際も多々あったが、支援者の現状や被災状況、復興状況をお伝えし、支援について共に考えることができた非常に良い機会であったと思う。このツアーをきっかけに千葉県協会、神奈川県協会とも交流を持つことができて、回を重ねるごとに発信していくことの大切さと有効性を確認できたように思う。ただ、これらのツアーは県士会のみでお引受けできた訳ではなく、沿岸部の支援者からご協力を頂くことができたのは非常に大きく有難いことであった。現場で活動を続けておられる支援者の方々の言葉には力があり、とても頭が上がらない。そういった方々に微力でも役立てることをこれからも考えていきたい。

こうしたツアーを参考にして、日本協会復興支援本部で東北3県での復興支縁ツアーを計画し2014年度復興支援委員会に引き継がれる形で実施することができた。今年度は第4回目のツアーを福島県内で企画している。今後も刻々と変わる現状をまず県士会としてしっかり把握し「被災地の今」を伝える活動を継続していかねばならないと思う。

現在、県士会や専門職チームでの支援活動は、その殆どが支援者支援など間接的な活動に移行している。その時期の被災者や被災自治体などの声をしっかりと聞き、ニーズに合わせた形に変化させていけるよう、定期的な活動の見直しが必要である。それと同時に、県士会として今までの経験をどの様に形に残していくか、後輩や他の地域にどう伝えていくかも考えていかなければならない。更に今後新たな災害が起きた際の備えを他団体とも協働して準備する必要がある。県内外で発生した災害にどう対応するか、どこまで出来るのか、それらを想定しておく必要があると思う。

これらの課題について、組織として如何に継続して取り組めるかが非常に重要である。本来業務もある中、外へ出る際には残ったスタッフで地域の一社会資源としての役割を果たし続ける必要がある。全てを置いて支援活動にあたることは困難だろう。やはり「組織として継続して」ということが県士会としての今後の大きな課題であると思う。

※1 相談支援専門職チーム…福島県の委託を受けて被災者支援にあたっている県内6つの専門職団体(介護支援専門員協会、医療ソーシャルワーカー協会、社会福祉士会、作業療法士会、理学療法士会、精神保健福祉士会)のチームの総称

※2 日本協会のホームページ内「東日本大震災復興支援情報」に災害対策本部、復興支援本部、復興支援委員会の情報が掲載されている。詳細はそちらを参照されたい。

## 浪江町社会福祉協議会生活支援相談員の現状と課題について

浪江町社会福祉協議会  
池崎 悟

まずは浪江町の現状から広く知って頂きたいと思います。浪江町は人的被害として、死者182名（特例死亡31名）、震災関連死366名（H27.6.30現在）、家屋被害651戸（流失586、震災65）となっております。

支援対象者数	県内避難者	県外避難者数
20,999人	14,565人	6,434人

### 仮設住宅等入居状況（H27.7.8現在）

市町村名	箇所数	建設戸数	入居戸数	入居人数	入居率	倉庫使用	残戸数
桑折町	1	286	108	172	37.8%	4	174
二本松市	11	1,069	710	1,349	66.4%	106	249
福島市	8	924	593	1,084	64.2%	93	237
本宮市	7	421	237	459	63.4%	56	95
相馬市	1	93	93	200	100%	0	0
川俣町	1	30	18	30	60.0%	2	10
南相馬市	1	70	70	97	100%	0	0
計	30	2,893	1,859	3,391	64.3%	261	765

### 【応急住宅計】

種別	入居戸数	入居人数	備考
仮設住宅	1,859	3,391	
借上住宅	103	185	福島市85戸、二本松市14戸、郡山市4戸
公営住宅	16	56	福島市12戸、いわき市4戸
特例借上	2,750	5,473	福島市549戸、二本松市264戸、郡山市483戸、白河市72戸、会津若松市55戸、相馬市76戸、南相馬市396戸、いわき市602戸ほか
計	4,728	9,105	

【浪江町社会福祉協議会生活支援相談員】

グループ	人数	仮設訪問	借上訪問
福島班	7	桑折町・福島市 9 か所	福島市・国見町・桑折町
二本松東班	6	二本松市 6 か所	川俣町・郡山市
二本松西班	6	二本松市 5 か所	二本松市・会津若松市
本宮班	5	本宮市 7 カ所	大玉村・本宮市・郡山市
	24名+1名	27か所	

全町避難により、このように広域避難している為に、全町民に等しく訪問が出来ない状況です。だからこそ、「出来る所から支援・やるからには責任を持って」をスローガンに、日々訪問相談業務にあたっています。

活動当初は、避難のストレスや住民からの信頼もなく、怒鳴られ・不満のぶつけ先・無用の制度と罵られることが多く、この制度そのものに疑問を感じながらの活動でした。しかし、それでも続けて継続訪問していくうちに、避難者の態度や考えにも変化していき、信用・信頼を得る事ができました。「ありがとう」「待ってたよ」そんな言葉に私達の【やる気】【責任】【やりがい】【誇り】が芽生えていき、現在に至っています。

住民からの気軽な相談先、頼れる相談先と認めてもらってからの活動は、やりがいと同時に、複雑で重い相談、解決が困難な問題が多々生まれることになっています。

- ・原発補償問題
- ・町特有の制度
- ・就労問題
- ・生活困窮問題
- ・健康・介護・精神疾患問題

まだまだ、書ききれないほどの相談・課題が毎日のように生まれます。そんな問題をいかに「解決していく」・「繋ぐ」かが生活支援相談員の役割と考えています。最近では、その繋ぎ先とも連携がとれ、よりスムーズに問題を解決、もしくは解決に近い方向へと進んでいます。

そんな重要な連携先の一つが、「心のケアセンター」です。生活支援相談員とは、言ってみれば非専門職の集団です。精神疾患を抱えている住民、アルコール依存症を持っている住民、自殺をほのめかす住民、日々いろいろな人と接していくうえで、我々には、その対応策が無知に近い状態です。対象者宅へ同行訪問し、適切な対応をしてもらい、確実な処置(的確な繋ぎ先)等をしてもらったことも多々ありました。

また、「ゲートキーパー」や「アルコール依存」等の知識や対応に関する研修会の実施により、生活支援相談員の相談援助の分野で、大きく成長することもできました。

避難者支援（個別支援・地域支援）は基より、支援者支援の役割も大きく、私達

生活支援相談員が安心して訪問できる要因のひとつになっています。

浪江町に関して言えば、震災避難ではなく原発避難です。大きな違いといえば、自力で復興することができない、復興の時期が分からないことです。そこに、避難者の多くは現在も大きなストレスとジレンマを持っています。復興住宅が完成し、復興住宅へと転居するということは、決して「再建」にはならないのです。避難の住み替え程度にしか思えないのですから、まだまだ避難者支援は必要だと感じています。違う観点からこの住み替えを見ると、震災後にやっと構築された新たなコミュニティの崩壊でもあります。また、一から同じように、コミュニティの構築が重要になっていきます。私達生活支援相談員の業務も、今後ますます複雑化、困難化していくことが推測されます。今後とも、心のケアセンター様には、避難住民への戸別支援・地域支援、そして、私達のような支援者に対しても、お願いしつつ、一緒に「連携」をしていく機関として期待しています。その機能がスムーズになり、連携がより強化され、この福島県を、浪江町を安心して住める未来ある町へと変わることを願っております。

## 被災者健康支援活動を通して思うこと～笑顔が増える暮らしをめざして～

福島県県北保健福祉事務所  
黒田 裕子

東日本大震災から3年が過ぎた平成26年4月に異動し、被災者健康支援活動を担うことになった。それまで総合衛生学院で医療従事者の養成を担い、震災・原発事故による受験者減少への対応、被災学生や転校希望学生の支援、放射線影響に関する教育と環境整備、震災後減少した講師や実習施設の確保などにあたってきた経験はあるが、避難者支援の最前線に立つことは、困難な事態が予想され不安を持つての異動だった。

県北管内では応急仮設住宅44カ所をはじめ公営住宅、借り上げ住宅等で避難生活を続けておられる方々が1万5千名を越えていた。長期化する避難生活で生じる健康問題への対応について避難元市町村支援として位置づけ、所内には病院局併任専門職、臨時看護職、派遣専門職9名が被災者健康支援の主力スタッフとして配置され、心のケアセンター県北方部のスタッフ5名と共に協働してきめ細かな活動が行われていた。スタッフは県内外から駆けつけた志高い方々であることに心強さを感じ、不安が軽くなったことを思い出す。

### 心と身体を軽くする集団健康活動

仮設住宅の集会場等36カ所を会場に、1時間30分でミニ健康教育、体操やゲームを行うサロン活動である。参加者は主に60～80代女性が多いが、会場によっては若い世代、子ども達も加わる。ねらいは楽しく笑って身体をほぐすこと。リハビリスタッフの体操メニューは多彩で、ストレッチからボール、タオルや棒を使う体操、太極拳、独自の音楽体操もDVD制作し参加者層に応じて提供する。また、ゲームなどのレク内容も種類豊富で楽しい。参加者はうっすら汗をかき、大笑いの時間を過ごし、「狭い部屋に居ればいろいろ考える。一時でもここさ来てこうして笑うとせいせいすんだ。」と帰途に着く。参加者の中には精神障がいを持つ方もおり、今月も元気に参加されたとスタッフは安堵する。

震災後しばらくは、多くの民間団体がサロン活動に入っていたが、4年目を迎え支援はめっきり減り、少人数の仮設には支援が入らない現状がある。帰還や生活再建に向かうべき時期にいつまでサロン活動か、参加者数が減りスタッフを下回るときの費用対効果は、参加者同士による自主化支援は、など課題もあるが、来るときよりも心なしか背筋がしゃんとして帰って行く参加者の姿を見続けていきたいと思う。

### 個々の生活実態に応じた訪問活動

避難元市町村からの依頼を受けて行う家庭訪問による支援は、26年度に延612世帯延1,362名だった。看護、栄養、歯科の専門職が2人組みで健康状態を確認

しながら生活に応じた保健指導をしている。訪問した結果をみると、環境の変化による運動不足、食生活の変化などによる生活習慣病予防を必要とする成人がほとんどであるが、家族分離が必要で施設入所調整を要した世帯や生活保護受給が必要な世帯など緊急対応を求められた世帯もあり、出向いて実際に生活を見る家庭訪問の必要性、重要性を改めて感じた。

一方この年の家庭訪問不在は200世帯にのぼり、既に帰還されている世帯や仕事や学校などの社会活動をされている日中不在世帯であり生活が安定しつつあるとの見方もできる。それぞれ異なる生活状況を知り、必要な支援に結びつけられる訪問活動は、電話による訪問予約から関わりが始まる。思いを受けとめることの大切さを感じた出来事がある。

訪問予約の電話をしていた看護職から、「20分ほど話していますが、納得していただけないので代わってください。」と電話を渡された。

60代の男性、仮設住宅に居住している。主訴は「なぜ県が訪問するのか」。避難元の自治体から依頼されていること、環境変化で体調崩されていないか看護専門職が相談に応じること、避難自治体首長から訪問のお知らせが郵送されていることなど説明するが、「名簿提供への不満」「今頃になって」「税金の無駄である」「県は暇なのか」など延々と苦情を訴えられた。

長引く電話対応に、周囲の職員の日や耳が気になりながら…、最終的に納得されたのは「本来は〇〇町の保健師が訪問したいと思っている。避難先が広範囲で訪問しきれないので県が代わりに訪問する。」という説明だった。「自分の町から心配してもらっていることを実感したい」「自分の町の保健師に来てほしい」という願いがあり、苦情はその確認にすぎず、避難を余儀なくされた方の思いに胸が痛くなった。

当該町との連絡会で町保健師に会いたいと熱望している方がいること、また、こうした反応はこれまでの保健活動の評価でもあることを伝えた。

### 心のケアセンターとの連携

健康支援活動を通して、メンタル等気になる方について相談し、同行訪問や継続支援を依頼している。心のケアセンタースタッフはケースに応じ検討し、適時、適切な支援に応じてくれるので、当所のスタッフが安心して活動できる大きな要因になっている。

心のケアセンターの職員と共に活動して感じるのは、「聴いて、受けとめ、待つ」という支援者の基本姿勢である。待つことができるのは、信頼があるからと言われる。

被災された方々がより健康的な暮らしができるように、願いを聴いて、気持ちを受けとめて、自分で動き出せるように支援して待つことを関係機関、関係者と共に続けていきたい。笑顔が増える暮らしになり、被災者健康支援が必要でなくなるように。

## 復興のための連携を

一般社団法人ふくしま連携復興センター  
遠山 賢一郎

2011年3月に発生した東日本大震災と原発事故、そこからの復興や地域の再生に向けて数多くの担い手が活躍している。

震災の翌年に福島県内で設立されたNPO法人は100団体を超え、震災直後には数少なかった県外からの支援も、徐々に増加していった。

ふくしま連携復興センターは、震災の発生した2011年7月に発足し、復興活動の担い手が持つ情報や意見の共有のための場づくり、団体同士のコーディネートなどを主なミッションとして活動を推進してきた。

震災直後は混乱が続き、情報が伝わりにくかったことから、復興の担い手同士が情報共有し、意見を交わし、ビジョンを共有して協力し合いながら活動することは、重要な意義を持っていた。

しかし4年の経過とともに、復興への課題は多様化、細分化、複雑化が進み、それと同時に連携もより具体的なテーマが求められるようになってきた。

被災地域によって復興の進み具合に格差があり、また被災者個人個人も、置かれた立場や環境、生活再建への意向の違いなどにより、それぞれが抱える課題も多様化している。

避難者の生活環境は、応急仮設住宅から復興公営住宅や自主取得した住宅へ徐々に変わりつつある。また今後、避難指示が解除される自治体が増えていく見通しである。それとともに、故郷へ帰還する避難者、他の地域に移住する避難者、しばらくの間復興公営住宅等での生活を送り、状況が見えてきてから決断する予定の避難者など、それぞれの今後の生活再建に関する考え方も多岐に渡っている。

加えて、国の定めた集中復興期間もあと半年を残すのみとなり、行政や外部支援をはじめとした復興活動の環境も大きく変化しようとしている。外部支援者の中には、活動にひと段落着けるところも増えている。

このように復興活動はいわば「曲がり角」に差し掛かった状況である。

一方、福島復興までの道のりは除染や廃炉作業等の長期化に伴い、終わりが見えない。

復興の長期化により、課題の多様化が益々進む中で重要なのが、連携と役割分担による、支援の質の向上である。

復興支援に関しては、行政やNPOなどとともに、復興支援制度に基づき活動する「生活支援相談員」「復興支援員」「コミュニティ交流員」などが存在する。それぞれ国や県、市町村の事業に基づき活動しており、被災者の生活支援やコミュニティ再生などに寄与しているが、一部業務が重複していたり、お互いの情報共有が取りにくいなどの課題があるように思える。

ふくしま連携復興センターでは今年の2月より福島市で、アドバイザーとして心のケアセンターの職員の皆様にも加わっていただき、各支援者の連携を図るべく連絡会議を行っている。その中で、この会議をきっかけに複数の組織での連携事業の企画が浮上するなど、徐々に効果が表れてきつつあると実感している。

組織間の連携やそのためのコーディネートは、震災直後の情報が錯綜した時期から復興ステージが進むにつれ、明確な目的やゴールを設定して連携を進めるといったニーズが大きくなっている。

そして、その連携が効果を発揮するためには、様々な立場や役割、リソースを持った多くの主体が参画することがポイントになる。多様化する課題ごとに、その解決のために力を発揮できる主体が連携チームに存在すれば、課題解決力が高まり、支援の質が向上する。

特に、被災現場で活動する支援者と、その分野での専門家の連携は、質の高い支援を現場で実施できることに繋がる。

このように支援者間の連携は、課題が多様化する現在のステージにおいては、その解決のための行動に繋がるための施策として重要性が増大している。そのために我々ふくしま連携復興センターは、どのような連携がどのような効果を生むことが出来るかを見据えながら、コーディネート活動を進めていきたい。

そして心のケアセンターの皆様へ、これまで通り専門性の高い見地からそのサポートをお願いし、先の見えない福島の復興を少しずつでも前に進められるよう努力していきたい。

## ふくしま心のケアセンター活動報告によせて

川内村 保健福祉課  
猪狩 恵子

### 避難、そして帰村を通じた状況

2011年3月16日 東日本大震災・福島第一原発事故により、住民と共に行政機能ごと郡山市ビッグパレットふくしまへ全村避難しました。

避難所・仮設・借り上げ住宅での避難生活の中で、先の見えない不安や生活・家族環境の変化・生きがいや役割の喪失から、多くの方が不眠や不安、心の落ち込みやストレスを抱えました。

2012年1月帰村宣言“戻れる人から戻りましょう” 帰村宣言直後の3月末、行政機能を川内村に戻しましたが、帰村したい思い以上に帰村に対する不安・行政に見放された思いを持つ方がおり、いったん落ち着きかけた心がまた、不安定になった時期でもありました。

震災から4年半がすぎた現在、様々な思いの中で少しずつ帰村が進み、6割の方が村での生活に戻っています。

帰村者の多くは高齢者であるため、元の生活に戻りきれず、家族関係の希薄化や認知症等に対する不安を持ちながら生活をしている人、戻りたくても戻れない人の取り残され感、引きこもりやアルコールの問題等住民の抱える問題は、より多様化・複雑化・深刻化している現実があります。

### 心のケアセンターとの協同での住民支援

平成24年4月 行政機能を川内村へ戻すと同時に、避難先の郡山・川内村の2地域を中心に、心のケアの必要な方の戸別訪問と避難先の仮設住宅での“ひと休みの会”を依頼しました。当初は、何をどのようにお願いしたらよいのか、ケースのとらえ方や対応方法に戸惑いもありましたが、同伴訪問や定期的なケース報告会での情報共有を通して、対応・ケース検討会の進め方、医療機関へのつなぎ等、様々な専門職の専門性を活かした対応を学ばせていただくことがきました。

平成25年度からは、継続的な訪問活動の他に、住民による地域支えあいの仕組みを考える“川内村高齢者いきいきなり隊・増やし隊”のメンバーとして、事業の進め方や他団体との連携のあり方について一緒に考え、平成26年からは、実践として認知症に対する理解を得るために、中学校や中央学級・各地区での講座のスタッフとして、一緒に考え一緒に講座を実施しました。

### 支援者支援

“職員ひとやすみの会”の実施—被災者であり支援者である職員の思いを理解し、受け止めている応援メッセージをいただいた後の、リラクゼーションタイムでリフ

レッシュ。大きな力をいただきました。

住民対応で困った時に、自分達で抱えることなく相談できる心強い味方でもあり、保健師自身の思いを受容・支持、もしかしたら、住民より保健師の方が、よりケアしていただいているのではないのでしょうか。

### 心のケアセンターに望むこと

震災を通して失ったものもありますが、震災がなければ得られなかったものがあります。

その一つが、ケアセンターの皆さんと一緒に活動させていただいたことであり、大きな財産となっております。

村は、少しずつ元の生活にもどりつつありますが、一人ひとりの心の復興の歩みのスピードは違い、自分を理解してくれる人の存在、支え見守ってくれる人の存在が重要です。

今後も、専門的立場から戸別訪問や事業へ支援の継続を期待いたします。

また、センター職員の皆様も私達同様、ゴールの見えない中を対応困難事例も多く抱えながら全力疾走され、心身ともに疲弊されていらっしゃるのではないのでしょうか。皆さんご自身の心と体をいたわっていただき、今後も私達と一緒に住民のペースに合わせて、それぞれのゴールに向かって伴走していただきたいと思います。

## 県中・県南方部センターの事例検討会への継続的な参加を通して思うこと

福島県立医科大学看護学部  
大川 貴子

私は、ふくしま心のケアセンターが開設された2012年の5月から8月の期間、非常勤の次長として当センターに籍をおき、その後は顧問として関わらせて頂いています。“顧問とは何をする人ぞ”ということあまり深く考えず、センターからの求めに応じてできることをさせて頂くというスタンスで臨んできました。そのような中、県中方部センター（2015年度より県中・県南方部センター）は、事例検討会に参加して欲しいという要望を出され、1～2ヶ月に1回の頻度でお邪魔しています。正確に参加回数を数えたことはありませんが、20回近く参加させて頂いていると思います。

私は、この事例検討会に参加させて頂くことで、多くのことを学ばせて頂いています。一つは、事例を通して、東日本大震災および東京電力原子力発電所の事故によって、人々の生活にどれほどの影響をもたらしているのかということ、あらためて実感させられるということです。事例検討会では、精神障がいや身体障がいのある方への支援について検討されることも多いのですが、多くの方は震災前には地域の中で生活を送ってこられた方々です。その人なりに過ごせる家屋があり、日課があり、ご家族や地域の方々に見守られながら、生活を営まれていました。それが、避難を余儀なくされ、全てが一変してしまい、生活のしにくさを感じ、身体的にも精神的にも不調を呈するようになってきます。その方の震災前までの生活を知ることなくして、その方のことを考えることは出来ませんし、心のケアセンターのスタッフとして何ができるかを導きだすことはできません。震災・原発事故によって変えられてしまった個々人の生活、人生ということを少しでも理解しようとするところから、どのような関わりが求められているのかが見えてくるように感じています。

また、事例検討会を通して、心のケアセンターの支援のあり方について学ばせて頂く機会になっています。訪問看護などとは違い、訪問を受ける人との間で契約を結ぶことなく、多くの場合何を目指して関わっていくのかがあまり明確ではない中で、訪問が開始されます。訪問活動を維持していくこと自体も難しいことがあります。月に1回程度の訪問を通して、信頼関係をつくっていき、どのようなことに取り組んでいくのかを模索しながら、協働できることを見出していき、これはスタッフ個々の人と人との関係をつくっていき高い技量が求められていることだと痛感しています。事例検討会では毎回、プロが行なう“寄り添いの技”をみせて頂いています。

さらに、多職種でディスカッションするとはこういうことかということを実感する場ともなっています。看護師、保健師、臨床心理士、精神保健福祉士、社会福祉士、作業療法士と様々な職種で事例検討が展開されることにより、色々な視点から

質問や意見が出され、事例の立体化がすすんでいきます。心的内面についての理解がすすみ、健康上の問題が整理され、活用できる社会資源がみえてくる、さらには、その地域の文化にまで話が及び、「なるほど！」と思うことがたくさん出てきます。時には、地域の保健師さんも加わって下さり、より一層深まりのあるディスカッションが展開されます。これぞ事例検討の醍醐味といったものを体験できる時間です。とても満たされた気分になって帰路につける、知的活動を通しての癒しとはこのようなものかなとも思います。

最後に、私がこのような有意義な事例検討会に呼んで頂く中で、自分の立場性について思っていることに触れたいと思います。私は、常にコンサルテーションの枠組みを意識しながら、この場に参加しています。キャプランは「精神衛生コンサルテーション」という書物の中で、「コンサルテーションは、二人の専門家、一方をコンサルタントと呼び、一方をコンサルティと呼ぶ、間の相互作用の一つの過程である。そして、コンサルタントがコンサルティに対して、コンサルティのかかえているクライアントの精神衛生に関係した特定の問題をコンサルティの仕事の中でより効果的に解決できるよう援助する関係をいう」と述べています。この関係においては、コンサルタントはもとより、相談をもちかけるコンサルティも専門家であるということが前提となっています。私はこれからも、スタッフの方々の専門家としての力を尊重し、様々な意見を拝聴していきたいと思います。そして、事例提供者が「そういう考え方もあったか！」「こんな関わりもできそうだな！」とヒントを得て、次の訪問日が待ち遠しくなるような事例検討会となることに貢献できるよう、努力していきたいと思います。

## ふくしま心のケアセンターとの活動を通して思うこと

福島県県中保健福祉事務所 保健福祉課 障がい者支援チーム  
小田島 カヨ

### はじめに

震災の年の6月に県北保健福祉事務所障がい者支援チームに転勤となり、そこから心のケアセンターの方々と関わらせていただくようになりました。平成26年度からは、県中保健福祉事務所障がい者支援チームに転勤となり、心のケアセンター県中方部センターの方々とは引き続き被災者の心のケア支援で連携をとらせてもらっています。

その関わりの中で感じていることを述べたいと思います。

### 震災直後から県北保健福祉事務所での被災者支援

震災当時、私は県中保健福祉事務所の感染症予防チームに勤務していました。大規模な一次避難所では感染性胃腸炎等が多数発生し、急遽避難所内に簡易病床を作り観察室を設け、症状がある人を一時的にそこで隔離し対応していました。それはまるで野戦病院のようで、今でもその光景は忘れられません。

また、被災直後は、情報も錯綜し、県の初動活動が遅れ、市町村や避難者からも大分非難もありました。

そのような中、県中管内の精神科病院が建物倒壊等の被害にあい、入院患者が高校の体育館へ避難を強いられ、避難所で不安定になる精神障がい者の対応に障がい者支援チームの保健師が対応に追われていました。

平成23年6月から県北保健福祉事務所の障がい者支援チームに転勤になりました。県北の精神障がい者を取り巻く状況は同様でしたが、県北管内の精神科病院が避難された入院患者の受け入れに協力的で本当に助かったと聞きました。ただ、その後県内外へやむなく転院した避難患者が地元の病院へ戻れず、避難先で長期に入院せざるを得ない状況が今まだ続いている現状があります。

県北保健福祉事務所では、平成23年6月から、被災者の心のケアを担当する新たに配置された心の相談員（臨床心理士や精神保健福祉士等）と机を並べて一緒に仕事をすることになりました。被災者への訪問指導や仮設住宅での集団活動等、行政だけではできない専門家集団としてきめ細やかな支援を行っており私たちも学ばせてもらうことが多々ありました。

平成24年4月からは、ふくしま心のケアセンターが設置され、心の相談員がそのままセンターのスタッフとなり、またスタッフも増え、より充実した支援が行われるようになりました。しかし、次年度からは、センターのスタッフ自身が疲弊し、体調を崩す姿が見られ心配な状況がありました。手探り状態での活動の中、スタッフの心身の負担は非常に大きかったことと思います。

## 当所と心のケアセンター県中・県南方部センターとの関わり

平成26年度から県中保健福祉事務所に転勤になり、心のケアセンター県中・県南方部センターとは、事業等通して密に連携し活動させていただいています。

センター設置当初から県中南方部センターは、保健福祉事務所とは離れた場所に事務所を設けていました。そのため、月1回当所とセンターとの定例会を設け、要支援者の情報共有や課題等の検討を行ってきました。

また、被災者支援の中でひきこもりやアルコール問題等共通する課題もあり、ひきこもり家族教室やアルコール家族教室等はセンターの協力を得ながら行っております。

自殺予防対策では、当県は震災関連自殺が被災3県の中で一番多く、自殺率の低下が横ばいになってきていることなどから、自殺予防街頭キャンペーンや自殺予防セミナー、うつ病家族教室等の事業を協働で行い自殺対策に取り組んでいます。

このように県中・県南方部センターとの関係がとても良好なのは、今までの携わっていただいた方々が緊密な関係を築いてくれたおかげであり、今後もこの関係性は大事にしていかなければと思っています。



アルコール家族教室



自殺予防街頭キャンペーン

## 心のケアセンターに期待すること

被災から4年経過する中、まだまだ当県は避難者も多く、心のケアの重要性は叫ばれています。年月が経過するにつれ、被災者のおかれている状況や不安も変化し、支援のあり方がより多様化、複雑化し、それに対応していくのは大変なことだと思います。

また、避難者の中で毎年何人か警察官通報となる精神障がい者の方がいたり、今まで支援が必要でなかった方が、新たに問題化するケースもあります。

心のケアセンターは、多職種の専門家集団であり、直接の被災町村のみならず、それ以外の市町村等からも期待される存在になっています。

不安定な雇用体制であったり、センター自身の今後の方向性が不確かな不安があるかと思いますが、スタッフ自身の心身の健康は保ちつつ、今後も御活躍されることを期待しております。

## 県南地域の被災者支援活動について ～心のケアセンターとの連携を中心に～

福島県県南保健福祉事務所 健康福祉部

宮田 良子

当所の被災者の健康支援は、健康増進課を中心に他の課と連携を図りながら行っていますが、私が県北保健福祉事務所から H25 年度に転勤した時の県南保健福祉事務所では、保健師を 3つの地区に分け、地区担当制を取って保健師が中心となり、栄養士や歯科衛生士と避難者の健康サロンや健康相談などの健康支援を行っていました。

心のケアセンターも現在とは違い、県南方部センターがあり、事務所も県南保健福祉事務所の 1階にあったので、連携し易い体制でした。一緒に取り組んだ活動としては、当時はいろいろな支援機関・団体が活動していたので、心のケアセンター県南方部センターと共催で「県南地域避難者健康支援連絡会」を開催し、各機関の活動内容の情報交換や共有を図り、活動を進めてきました。その他にも、県南地域の避難者の交流を目的とした芋煮会や史跡巡りウォーキングを各関係機関の協力のもと開催しました。参加者の笑顔を見て、実施してほんとうによかったと思いました。

また、借り上げ住宅に入居した避難者には、避難市町村の依頼に基づき、看護協会派遣の保健師により、きめ細やか訪問活動を行い、避難元市町村担当者、心のケアセンター県南方部センター主任、社会福祉協議会生活支援担当者等とケース検討会を開催し、情報共有を図りながら支援してきました。

心のケアセンター県南方部センターについては、当初は県南保健福祉事務所の 1階に入居していたので、連携し易い体制でしたが、事務所が当所から別の場所に移動したことや、職員が毎年変わり、職種も保健師と精神保健福祉士の 3名という職員の体制の時もあり、当所としても戸惑いながら連携・調整でした。

今年度は、県南方部センターから県中・県南方部センターということで体制も職種も充実し、借り上げ住宅に入居した避難者についても、当所と役割分担をしながら連携ができてきているように思います。また、今年度からはじまった県南地域に住む男性を対象にした「男遊クラブ」についても、心のケアセンター県中・県南方部センターを中心に関係機関が連携し、従来在市町村単位の健康支援ではなく、避難元市町村を問わず、県南地域に住む男性を対象に始まり、徐々に被災者支援の形も変わってきていると思います。

最後に、震災 4年目となり、一見、落ち着いてきたように見えますが、帰還への不安や被災者の高齢化など様々な問題があり、心のケアセンター等関係機関と連携しながら、仮設住宅・借り上げ住宅の継続的な支援を進めていきたいと思っています。

# 他職種の支援者と力を合わせた支援活動

福島県県南保健福祉事務所 健康増進課  
専門保健技師 土田 札美

## 1. 県南地域の被災者支援体制

東日本大震災では、県南地域の市町村も大きな被害を受けました。さらに原発被害による避難者を受け入れ、管内には、3地区に仮設住宅が設置されました。一つは、白河市の被災者が入所した「中田仮設住宅」、2つ目は、矢吹町の被災者が入居した「一本松仮設」、3つ目は、原発避難者の双葉町住民が入居した「郭内仮設住宅」です。「中田仮設住宅」と「一本松仮設住宅」には、相双地域からの避難者も入居しておりました。

当所では、この3地区の支援にあたり地区担当制を取り、保健師キャップをリーダーとし、保健師・栄養士・歯科衛生士によるチームを組み、健康支援を行ってきました。

## 2. 多くの支援者と力を合わせて

私が県南保健福祉事務所に着任してきた当時（震災後1年後）は、県内外から多くの支援機関・団体が支援活動を行なわれており、また、同年春、心のケアセンター県南方部センター（以下センター）が当所1階に開所されました。そのような中「県南地域避難者健康支援連絡会議」を開催し、各機関の活動内容の情報交換や健康課題の共有を図り活動を進めてきました。

支援活動の一つは、各仮設住宅内集会所での「健康サロン」、次に避難親子の不安軽減と交流を目的とした「親子教室」等を開催するなど避難者の健康管理と心のケアを行っていました。実施にあたりセンターを始め多くの支援者の協力を頂きました。

また、県南地域に避難してきた相双地域の住民との交流を目的とした「大芋煮会&ウォーキング」「白河市史跡巡りウォーキング」を各関係機関の協力のもと開催しました。参加者から「みんなに会えてうれしい」「久しぶりだね」等と笑顔がみられ、スタッフ一同心から嬉しく思いました。

## 3. 継続した見守り支援と心のケア

県南では、各社会福祉協議会スタッフが、震災後の早い時期から借上げ住宅等の訪問を開始し、現在も定期的に訪問しています。また、避難市町村の依頼に基づき、看護協会からの派遣保健師によるきめ細やか訪問活動も継続しています。

これらの活動から把握された心身に問題を抱えるケースについては、避難市町村保健師と関係機関で随時ケース検討会を開催し、問題の共有・支援方針の確認など調整を行ってきました。

特に、精神的な問題を抱えているケースは、センターへ繋ぎ、専門的な支援をお願いすることができ大変助かりました。しかし、ケースとの関係性が出来上がった頃にセンター職員の異動・交代等があり、当所としても戸惑いを感じたこともありました。

#### 4. 最後に

震災後4年が過ぎ、仮設住宅等から新居に移り住む方、住民票を移す方も出ており、県南地域は一見、落ち着いてきたように見えますが、一方で帰還の見通しが見えない不安や避難者の高齢化による認知症発症やADLの低下など様々な健康課題が出てきています。

今後、仮設住宅等に入居している避難者へ支援は、ますます重要になると思いますので、みんなで力を合わせて頑張っていきたいと考えております。

# 被災者への口腔保健支援～双葉町健康サロンの活動を通して～

福島県県南保健福祉事務所 健康増進課  
医療技師 後藤 優子

## 1. はじめに

私は、平成 25 年度に歯科衛生士として県南保健福祉事務所健康増進課に配置されました。

平成 25 年度から被災者支援として管内への避難市町村である双葉町の事業に関わらせていただいたため、その活動を振り返りたいと思います。

## 2. 双葉町健康サロンでの活動～被災者口腔ケア支援事業の活用～

双葉町では、福島県が一般社団法人福島県歯科衛生士会に委託している「被災者口腔ケア支援事業」を活用し、双葉町白河仮設において毎月 1 回開催される健康サロンの中で年に 2～3 回歯科保健指導を行っています。平成 25～26 年度には、私も講師や調整役兼お手伝いとして関わらせていただきました。また、この際に心のケアセンターの職員の皆様にも御協力をいただき感謝しております。

健康サロンの参加者の方はご高齢の方が多いため、歯科保健指導の内容は主に、誤嚥性肺炎の予防方法、口腔体操、ブラッシング指導等です。白河仮設では、歌を歌ったりする口腔体操がとても人気でしたが、歯科衛生士会の方の話によると他の市町村では歯垢染色を用いたブラッシング指導が好評であったという声もあり、その地域によって参加者の方々の関心が異なることを再確認したとともに、集団指導であっても個別支援のようにその方々の背景や特色をしっかりと理解しなければいけないことを再認識しました。

また、平成 26 年度末の事業評価では、平成 25 年度から同じ歯科衛生士が定期的に支援していることにより、歯科衛生士と参加者との距離が近くなったとの声があり、支援を継続していくことの重要性を感じました。

本来であれば、かかりつけの歯科医院を持ち、定期的に健診等を受けることが口腔の健康ひいては生活の質の向上に効果的であると思うのですが、避難されてきた方々の中には、「前の歯科医院がよい」「どこの歯科医院に行けばよいか分からない」という方もおり、地域に根付いている方々より地域資源等を使いづらといった側面があるのではないかと思います。保健福祉事務所の役割として、地域住民の健康を増進するためには環境整備の推進が必要であり、今後も各関係機関と連携し、情報提供等を続けていきたいと思っています。

## 3. おわりに

近年、歯科においても疾患や機能低下の予防の重要性が認識され活動が盛んになりましたが、現在の日本においてははまだ予防よりも治療が中心となっているように

感じます。自覚症状が出てから歯科医院に受診されるという方が多く、また、ご高齢の方ですと、飲み込みが悪かったりしてもそれが口腔機能の低下だと気づかない方もいらっしゃいます。発症・重症化を予防するためには早期発見が重要ですが、そのためには、健康サロンのような集団教育の場を設けたり、歯科以外で個別訪問等を行った際に支援者が“気づき”、“つなげる”ことが必要です。この“気づき”“つなげる”を皆様にお願ひするとともに、顔のみえる関係でいたいと思います。

## 県南地域での避難者支援活動を振り返って

福島県県南保健福祉事務所 総務企画課  
主任保健技師 濱尾 喜美子

平成 25 年 4 月 1 日に県南保健福祉事務所へ着任し、翌日 4 月 2 日には「郭内仮設住宅集会所」開催される『健康サロン』に参加しました。私は郭内仮設住宅での集団支援活動を主に双葉町避難者への支援活動をしてきましたが、白河に異動しての初仕事でした。

その頃は町役場が県外避難をしており、避難者支援は郡山支所が行い、双葉町の保健福祉活動支援を白河にある当所がしていました。まだ安定した支援体制が確立していたというには課題も多い時期でしたが庁舎内にはこころのケアセンター県南方部センターのスタッフが常在しており、何かとこまめな連絡をするため階段を昇降し行き来できる距離にいました。特に、実施主体を県南保福からこころのケアセンター県南方部へ移行した郭内仮設集会所での「話そう会」の運営や少数ながらも個別事例について意見交換し、専門職の事例を捉える視点や集団支援時のスキルやテクニックを間近で経験しました。

いろいろな議論を重ね 2 年半が過ぎましたが、私は役場機能がいわき市に置かれるようになってから健康サロンへ出向く機会も少なくなり、今は保健福祉関係の実習生や臨床研修医の学びの場として伺うことが主となりました。それでも顔見知った方達から「久しぶりだね。あえて嬉しい。」といった声をかけてくれる参加者や支援員さんの言葉に自分の居場所がまだこの中に残っていることを嬉しく思います。実習生研修生にとっても大きな学びの場となっています。

「さすけね会」という名称で今も心のケアセンタースタッフからの支援が継続されていますが、これからも実習生達とお邪魔しますのでよろしくお願いします。

## コミュニティ結 活動報告

株式会社まちづくり会津  
サポートコーディネーター 稲村 久美

### 1. 事業の目的

2011年3月の東日本大震災から2年後の2013年より「コミュニティ結.Com」を開所しました。2013年は会津地区にも大勢の避難の方が暮らしておりましたが、先行きも不安、仮設暮らしで閉鎖的であること、仮設と借り上げ住宅生活者との間で情報交換もあまりない。ましてや、会津の人とも交流が難しいなど多くの課題を抱えていた頃でした。

まちづくり会津は、中心市街地の活性に重点を置きさまざまな事業を行ってきました。「まちづくり」には地域に住む人や生活の場としている人々の参加が不可欠であり、いきいきと明るく元気に暮らす人々が、元気なまちをつくるものと考えております。地元住民と避難者の区別なく福島で生活するすべての人々が生きがいを持って生活できるよう、柔軟で多目的に活用できる交流スペースを設置いたしました。また、地元住民やまちづくりに興味を持つ人々の交流拠点として活用し、新たな地域づくり、地域活性のために共に力を合わせ取り組んでいきたいと考え、2013年（平成25年）より、福島県地域づくり総合支援事業（サポート事業）の支援を受け運営を開始しました。

ただ、運営の中では専門知識を必要とする場面や、抱える課題が個々人で違い多様化する中で、ふくしま心のケアセンターの方々との連携により、健康相談や民話の会、お茶のみ会を開催することができ、私どもとしても大変強く、感謝いたします。仮設等への訪問も十分にできず、月に一度のお茶飲み会での情報交換は重要でした。

今年は、震災から5年目を迎え、人々の暮らしや心境にも変化が見られ、前向きに人生の再スタートを切られた方、他地域へ転居される方など様々ですが、情報不足、新たな地域で知人がいないなどの悩みを抱えています。「コミュニティ結」では、孤独感の払拭や、交流による心の支え、気軽に行けるみんなの拠り所として、他機関との連携をしながら、現在置かれている状況を真摯に受け止め、私たちができる事をひとつづつクリアしていきたいと思っております。また本年は、避難の方々自主的に会津地域で活動ができるよう自立に向けたお手伝いができる事を目標にしています。

「コミュニティ結」は古くから日本に存在する結の精神に基づき、地域の人々が協力し合いともに成長し、地域の発展に寄与することを目的としこの名称としました。

12月イベントのお知らせ			
12/4(木) 10:30-12:00 ベビーマッサージ(ランチ付) 講師 福田 寿枝さん 参加費 2,000円	12/8(月) 10:30-12:00 ポーセラーツ 講師 吉田 瑠子さん 参加費 2,000円	12/10(水) 10:30-12:00 アロマ壁掛け 講師 高橋 恵子さん 参加費 500円	12/11(木) 10:30-12:00 年末年始は着飾りGal飲み物付着付け講座 講師 民族衣装文化普及協会 参加費 500円
12/12(金) 10:30-12:00 アロマフェイカセルフエイシャルマッサージ 講師 海野 忍さん 参加費 1,000円	12/12(金) 13:30-15:00 初めての中国茶講座 講師 宮崎 伊一樹さん 参加費 1,000円	12/15(月) 10:30-12:00 アーティフィシャルフラワー xmasから年末年始までのリースづくり 講師 吉田 智子さん 参加費 2,000円	12/16(火) 10:30-12:00 民話の世界へようこそ&茶話会 講師 心のケアセンター&まちづくり会 参加費 無料
12/17(水) 10:30-12:00 子育てママの家計相談 講師 志南 真由美さん 参加費 1,000円	12/18(木) 13:00-15:00 パッチワークコースターづくり 講師 福田 久美さん 参加費 1,000円	12/19(金) 13:30-15:00 タブレットを使ってみよう&あいさつ教室 講師 (株)エス・エス・シー 参加費 無料	12/20(土) 10:00-15:00 ネイル&ボディジュエリー体験 講師 吉田 瑠子さん 参加費 500円より
12/22(月) 14:00-16:00 革細工子供も出来るらくらくのハコ入れづくり 講師 ヒロさん 参加費 900円	12/26(金) 10:30-12:00 ファーストサイン教室(xmasプレゼント前) 講師 牧野 由佳さん 参加費 3,000円	12/13(土) 18:30- 月に一度の酒カフェ開催予定!詳しくはお気軽にお問い合わせ下さい!	

ミニコミ紙、会津若松市、大熊町のホームページで紹介。facebook, では活動 状況をアップしています。

## 2. 活動内容

### ■コミュニティスペースの設置運営と活用

#### ○各種講座の開催

低料金で参加できるイベントを開催し交流のきっかけをつくる。  
只見線を活用した交流イベントを実施し絆づくりを行う。



大熊町ママ隊の方々も参加してのポーセラーツ講座を開催



只見線 トロッコ列車風っご号で金山町ごっつおまつりへ参加

#### ○子育て世代・高齢者支援

ママカフェ、ママ育の場として活用します。

ママたちが気兼ねなく立ち寄れる飲食店が欲しいとの要望から飲食スペース運営オーナーと協力し運営します。健康で衛生的に暮らすため、また近隣の高齢者または家族とのコミュニケーションツールとして家庭で簡単にできる衛生ケアの方法や技術を専門家から学びます。



人気のベビーマッサージ教室



アロマ教室

■創業支援としての活用

- 会津地区での創業相談、関係機関への橋渡しなど
- 「ワンデーシェフ・ワンデーカフェ・トワイライトシェフ」チャレンジ形式を用い、飲食事業にトライしたい人を募集し、実践を通しやりがいをみつけ、開業の手ごたえを掴んでいただくお手伝いをします。

「大熊と会津の懸け橋になりたい」と話す前田さん

前田真理子さん 29  
(カフェワンズホーム)  
「大熊と会津の懸け橋になりたい」。東京電力福島第1原発事故で大熊町から会津若松市に避難している前田真理子さん(29)は4月、同市に焼ききたらさと地元野菜料理を振る舞うカフェ「ワンズホーム」を開店させた。  
震災前はいわきの市のイタリア料理店などで働き、独立を目指して料理の腕を磨いていた。「近所の人が集まれるカフェ」を経営したい」と決意し、念願の店を開いた。  
震災で焼く場所をなくして心に穴が空いたように、避難生活を送りながら感じている。同じような思いを抱く大熊町民の心の隙間を埋められる店のことが目標。同時に、「地元の人々が楽しめる料理を提供していきたい」とも意気込み。お薦めは地元野菜を使った季節のピザ、800円の日替わりランチもある。  
場所は会津若松市馬場町の交流ステーション(ミニ三ツイ結・COO)隣。営業は午前11時～午後6時。休みは日曜、祝日。電話は0242-88444へ。

**紡ぐ未来**

**大熊と会津懸け橋に**

心の隙間埋める店目標

大熊町出身の女性がピザカフェを開業



大熊町デーサービスセンターのお花見に協力



会津ならではの「日本酒」を媒介にした交流を目的に始まった『酒カフェ』



会津山都そば協会と連携し、松長近隣公園仮設住宅で振る舞った。



翌年は、御礼にバスで山都そばまつりに参加

### ■住民参加のまちづくり支援と担い手の発掘

○まちづくりに関心ある人の交流サロン

「まちづくりは人づくり」をキーワードに、地域に住む人々が世代を超えてまちづくりを語るスペースの提供をします。

また、地域に住み、会津若松市のまちづくりについて学びたい、会津若松に一躍を担いたい方との情報交換・交流拠点とします。

○ボランティアの拠り所

自分ができることを地域のために生かせるよう、NPOと協力しボランティア登録ができる窓口となり、ボランティア情報の提供発信のお手伝いをします。

○市内空き店舗等の情報提供

まちづくり会社ならでの情報等を希望者に提供いたします。

また、各種補助制度などなどの活用についての相談もお受けします。



心のケアセンター様とのコラボ事業（お茶飲み会・民話の会）



ヨガ講座・ダンボールでさき織り講座は大人気



平成 27 年 7 月 大熊町の方が実行委員となり  
大流しそうめんを実施

# 心のケアセンターの活動に寄せて

大熊町役場 健康介護課  
課長補佐兼統括保健師 武内 由美子

## 〈はじめに〉

平成23年3月11日に発生した東日本大震災と原子力災害から5年目に入りましたが、大熊町は現在も全町避難の状態が継続しています。

大熊町では、長期化する避難生活が住民の身体的健康だけでなく心の健康に及ぼす影響も大きいと考え、平成24年度から昨年度までの3年間、国立看護大学等関係機関の協力を得て「こころのアンケート」を実施しました。内容は、K6調査票等を使用し震災前後の生活の変化や心の状態、それに影響をあたえる要因等を調査し、住民の状態把握とそれに基づく保健事業を実施してきました。

## 〈こころのアンケート結果〉

平成24年度の調査結果では、震災や原子力災害による精神的打撃や地縁や血縁、コミュニティの分断など、深刻な多くのストレスにより、心の健康度が低くなっていました。

平成25年度の調査結果は、平成24年度よりさらに心の健康度は悪化傾向にあり、ストレスの原因としては「生活の変化」「災害や原発事故」「家族や友人と離れたこと」「自宅に戻れないこと」「仕事・役割の喪失」「生きがいの喪失」と回答している人が多数をしめました。

平成26年度の結果は、心境の変化については、先が見えず不安な気持ちを抱えている人が多い状況は前2年の結果と同様でしたが、「自分の置かれている立場を受け入れ、前向きな生活を心がけている」という心境変化も見られました。また、震災直後の混乱した状況から、大分落ち着き、生活再建に向け少しずつ新たな一歩を踏み出し始めている住民がいる一方で、諸事情から取り残されていると感じ、抑うつ傾向になっている住民も顕在化してきました。

この結果から、表面的には落ち着いてきているように見えますが、潜在化していた心の問題が表面化し、ますます心のケアの重要性が高まっていることが明らかになりました。

## 〈心のケアセンターと共に〉

町保健師だけではマンパワーが足りなく、心のケアセンター会津方部が発足された当初から協力を依頼し、より専門性を生かした対応を担っていただきました。

アンケートから見えてきた様々な問題を心のケアセンターのスタッフの方と共有し、ハイリスク者への同行訪問や「心の元気を育てる講座」や健康相談開催時には、専門性を生かした心の健康に関するワンポイントアドバイスなどを担当していただ

いています。

また、住民だけではなく町職員を対象に支援者支援の一環として、週1回お昼休みの休憩時間を利用して「ぐっちカフェ」を開催していただき、ハーブティ等のちょっとした飲み物を頂きながら、自席を離れ気分転換を兼ね「ほっ」とする癒しの場を提供していただいています。

住民や職員の心が折れそうなときに「そうだね」と相槌をうってくれる人がそばにいることの心地良さと安心感与えてくださっています。

### 〈おわりに〉

住む場所が変わるたびに、新たな不安を抱えてきています。公営住宅に移ったある高齢者は「家を建てるには、歳をとり過ぎている。跡を継ぐ人もいないし、…」 「ここが終の棲家かと思うとやりきれない」「歳をとるということはこういうことなのか」「子供に面倒はかけられない…」 「何を生きがいにしていけば良いのか」となるともやり切れない言葉を耳にします。

子供から高齢者までライフサイクルによって心の問題は異なりますが、心のケアセンターには様々な専門職の方がいますので、その専門性を生かし避難者に寄り添った支援を今後も継続していただきたいと願っています。

## ハローワーク相双・トータルサポーターの窓口から

ハローワーク相双  
精神障害者雇用トータルサポーター 小林 文子

エリクソンによると、青年期に獲得すべき発達課題は「労働」と「愛」。そう学んでから、随分時が流れた。こんなところから書き起こしたのは、私の窓口を訪れる方々はそのどちらにも困難を感じ、生きづらさ、生活しにくさを抱えているからである。

対人関係が苦手。仕事がなかなか覚えられない。他人はもとより自分さえ愛せない。理解してもらえない。居場所がない。表現こそ違うけれど…淋しいと…。彼らのしんどさに付き合い、耳を傾けていると、差別や偏見や理解のなさに苦しむ彼らにとって「働く」ということは『あたりまえの一人の人間として認められること』であり『社会に関わっている自分に安心できること』なのかもしれないと思えてくる。

平成 25 年 4 月 1 日から障害者雇用率制度が改正され、民間企業（従業員 50 名以上）では従来の 1.8% から 2.0% に、国や地方公共団体等は、2.1% から 2.3% へと変わった。さらに平成 30 年からは精神障害のある人も法定雇用率に算定基礎に加えるよう改定された。これは精神障害のある人の雇用の義務化ということになる。こういった国の法改正を受けて、都道府県労働局に、精神障害者および、発達障害者（以下精神障害者等という）の求職者に対して、「精神障害者雇用トータルサポーター」を専門家に委嘱し、就労支援を行うこととする。という制度ができた。

いかなるご縁か、私がトータルサポーターを委嘱されることになったのは同平成 25 年の 9 月のことだった。初年度の勤務は週 1 日であったが、平成 27 年 4 月から週 3 日となって現在に至っている。3.11 以降、原発被災や廃炉問題が重くのしかかる当地は、今後も精神疾患が増えるあるいは残り続けるだろうという配慮もあるのだろうか。県内でも手厚い配置である。

仕事を始めた当時は窓口の利用者はすでに障害者手帳をお持ちの方が多かった。3.11 で増えたと思われる特に母子家庭の母や生活保護受給者、困窮者の方の病気や障害、後遺症の問題で、ハローワークの就職支援ナビゲーターや障害担当者と連携させていただくも多くなった。トータルサポーターの存在が周知されるにつれて、忙しすぎ、働きすぎて心も身体も病んでしまった方、PTSD が疑われる方、転職を繰り返す方、自宅に引きこもっていた方など、窓口に来る方の抱える問題は多様化しつつ、相談件数も増えてきている。しかし、障害手帳を持っていないと、現在の制度では就労雇用率にカウントされず、使えるサービスも少ない、あるいは、ないという現状がある。

全てがマニュアルなどのない個別対応であり、「働く」「今は休む」の決定から徹底して自己決定を促し、支える関わりとなる。自分が今後どうしたいのか。どんな

職業が好きなのか。病気や障害をどうとらえているのか。自分でどうコントロールするのかなどなど話し合いを重ねる。時には対人緊張が強く、人間関係を作りにくい彼らとともに、職場見学に行き、面接に同行し、専業主様や人事部長さんへ、その病の特徴や、その方にとっての病状の現れ方を、具体的に説明する。指示の出し方やフォローのしかたなども提案する。就労後、定着支援も行えると話すと安心して就労につながる場合もある。

しかし、私のできるのはごくわずかでしかない。週3日間、一人での支援には限界がある。そして私の仕事はハローワーク内はもちろん他の支援機関へつなげることであり、より良い協働体制を作り上げることでもある。福祉分野では、相双地域障害者総合支援センターの就労支援担当者や生活支援担当者、ジョブコーチの方々にはいつもお世話になっている。ご近所さんなので、顔の見える密な連携が可能だ。

自治体や県の障害担当者や保健センターの保健師の方にもお願いしたいことがあるケースが増えた。雇用推進委員会の職場実習も、積極的に使わせていただいている。

私の配属前ハローワークでは敷居が高かったという医療だが、少しずつ主治医の先生方、ケースワーカーさん、デイケアの作業療法士さん、訪問看護師さんと、情報交換や、ご意見をいただけるようになり、少ないながら勉強会やカンファレンスも開催しており、今後も継続させていただきたいと思っている。そのことが定着率を上げているなら、医療との連携はなくてはならないものだと考える。

そして、こころのケアセンターなごみである。より専門的なカウンセリングが必要と思われるケースの紹介や、自宅に訪問支援に入ってほしいケース、危機対応はアウトリーチでとあらゆる場面に柔軟に対応いただいている。困難ケースに立ちすくむ私のケアまでしていただいている気がしている。

ひとつひとつのケースに対応しているうちに、素敵な方々とたくさん知り合えた。就労を果たし、働いている方も週5日8時間のフルタイムから週3日半日、週5日半日、一日3時間、など多彩な働き方をし、3ヶ月以上継続している人が増えた。定着支援に出向いて行ったり、来ていただいたりして、逆に私が励まされる。彼らにとってまわりに受け入れられ、理解してもらえる状況の中では病気や障害はもはや個性になりつつある。

制度の矛盾や、不備やこの地域の抱える問題にもより具体的な形で気づくことができた。人手を求める社長さんたちの悲鳴も、すぐそばの窓口から漏れてくる。嘆くのはたやすいが、今後も皆さんとともに就労支援者の一人として小さな歩みを進めたいと願う。

それでも…現実には厳しい。

人手不足のこの地域だからこそ、みんなで可能性のある若者を育てましょうよ。即、戦力にはならないけれど。

半年単位で成長を見守り、3年くらいかけるつもりで「いっちょまえ（一人前）」にしてくれるそんな太っ腹の社長さん、役員さん、親方さんいませんか？ 老後の面倒だって見てくれるかもしれませんよ。

つぶやいてみたいこの頃である。

## ふくしま心のケアセンター活動報告によせて

新地町 健康福祉課  
保健師 島山 美雪

平成23年3月に発生した東日本大震災から4年目を迎え、新地町も8カ所ある仮設住宅のうち、震災後1年時は町内外から470世帯・1439名の方が入居していましたが、27年9月の入居者は112世帯・350名となっており、それぞれ新しい生活をスタートさせた方がたくさんいる状況です。

現在、仮設住宅に入居している方は、約7割が町外から避難された方であり、今後の見通しがまだ決まらず、不安を抱えている現状です。

### ふくしま心のケアセンターとの活動

震災直後、相馬地域にはメンタルクリニックがなくなり診察を受けていた方は途方にくれた時期もありましたが、徐々に再開され、さらに、今まで精神科医師がいなかった相馬市に、平成24年1月に「メンタルクリニックなごみ」が開設されました。日々の活動の中で精神科を受診して欲しいケースにも、近くにクリニックがあるからと受診勧奨しやすくなりました。

さらに、「相馬広域こころのケアセンターなごみ」の開設により、仮設住宅でのサロン活動「ちょっとここで一息の会」が開催され、被災された方に寄り添い心身両面から支援を行い、現在も仮設入居者の減少により回数は少なくなりましたが、継続して実施しています。

また、訪問ケースの情報共有を目的に、関係機関（こころのケアセンターなごみ・サポートセンター・町保健師）による情報交換会を開催しています。

アウトリーチ事業で精神科の専門スタッフによる訪問が始まり、継続的に支援が入ることは、町保健師としても非常に心強く思っているところです。

困難ケースには事例検討会なども実施し今後の方向性をスタッフ間で共有しています。

### 心のケアセンターに期待すること

東日本大震災から4年以上が過ぎ、多くの方は新たな一歩を踏み出した様に感じます。しかし、住民が抱える問題はより一層複雑化してきているようにも感じています。

これらに対応するためにも、専門スタッフがいる「心のケアセンター」の存在は、とても重要であり、今後とも息の長い支援活動に期待しています。

# ふくしま心のケアセンターとともに歩む被災者健康支援

福島県相双保健福祉事務所いわき出張所  
所長 菊地 とも子

## 1. はじめに

私は、平成 25 年 4 月に相双保健福祉事務所いわき出張所に着任してから 3 年目を迎えましたが、「被災者健康支援」という共通の目的を掲げて心のケアセンターいわき方部センター（以下、方部センターという。）と歩んできた現在に至るまでの状況を振り返るとともに、これからの心のケアセンターに期待することなどについてまとめました。

## 2. 心のケアセンターいわき方部センターとの歩み

当所は、平成 24 年 6 月にいわき地域に避難されている南相馬市及び双葉郡町村等被災者への健康支援のため開設された事務所です。方部センターは、平成 24 年 4 月に開設されましたので、当所とほぼ同時の開設でした。新設事務所同士、助け合いながらともに歩んできた感じが非常にあります。

### (1) 同じ事務室内に席を置き、業務も一体となって連携していた時期

私が着任する以前の平成 24 年 6 月末までは当所内に方部センター職員も席を置き、当所職員とともに訪問活動等を行っていました。同年 7 月から方部センターは新たに事務所を当所のすぐ近くに構えましたが、連携した取組が多く、平成 25 年 3 月末までは当所で開催している朝のミーティングにも毎日出席されていました。

### (2) それぞれの事務所の役割を明確化し、連携はより深く

平成 25 年度に私が着任してから、まず連携のあり方として考えたのは、一体的な活動の段階から、次の段階に移行していく時期なのではないか。当所と方部センターが、まずはそれぞれの事務所の組織目標や組織の役割に沿って取組の強化を行い、さらに打合せは密にし、双方の役割や連携すべき取組を整理し、重複なく、しかし漏れのないように効果的に連携を図り、組織目標達成を目指したいということでした。

目指す連携の方向性を踏まえ、平成 25 年度からは定期及び随時の打合せを行い、当所は「健康支援」を中心に、方部センターは「健康支援の中でもメンタル支援」を中心に、双方で対応した方が効果的な取組は連携して、というように整理しながら対応してきました。

平成 24 年度に同じ事務所で毎日一体的に活動し、互いの取組を理解、協力し合った（互いと言いながら、当所への事業協力をいただいた業務量の方が大きかったと思います。）時期を経たからこそ、平成 25 年度に双方の役割や連携すべき事業の整理が容易にできたのではないかと思います。

### (3) いわき地域に定着した方部センターの業務、役割

方部センターは、当初、市町村からの依頼を当所を経由して受けていましたが、平成25年度からは市町村が直接方部センターに依頼・相談する体制に整理するとともに、避難元市町村だけでなく、避難先であるいわき市への支援等も拡充していきましました。

方部センターは「どんな支援をしてくれるところ？」というPRから始まり、業務拡充の状況や調整の御苦勞を身近に見てきたからこそ、地域に必要な機関として定着したことを非常に嬉しく思っています。

### (4) いわき出張所と方部センターとの業務以外での親睦

余談ですが、方部センターとは、事務所が別々となっても業務以外でも懇親の機会を設け、歓迎会、忘年会、送別会を合同で開催したり、職員が協力しあい、鍋パーティーを開いたりして懇親や連携を深めてきました。

平成26年度末に他県から応援いただいていた方部センター職員が大勢退職され、自分の県へ戻って行ったのは非常に寂しいかぎりでしたが、今年度に入り、新たに地元で採用された職員が加わり安堵しています。

## 3. 心のケアセンターに期待すること

南相馬市及び双葉8町村からいわき地域へ約2万4千名が避難している状況下において、アルコール問題等避難者の健康課題を含む諸々の問題は深刻であり、また、避難者と地域住民との軋轢などにより心を痛めている住民もおり、その方々に対する心のケアに関する支援は非常に重要であると考えています。また、生活の再建はできても心の再建は追いついていない等による顕在化していないニーズや健康課題も多いのではないかと懸念しています。

このようなニーズや課題に対応し、方部センターへの市町村等関係機関や住民からの依頼や期待は増加するものと考えます。マンパワーと業務量の調整や優先順位を整理しながら、方部センターの職員の皆様自身の心身の健康も大事にして、これ



平成27年3月の方部センターといわき出張所との送別会

からも続く支援活動に当たっていただきたいと思っています。また、被災者健康支援は、心と身体と生活という多軸の観点からの支援が必要と思いますので、引き続き、当所、市町村等関係機関とともに、連携してチームでアプローチしていきましょう。

## 心のケアセンターの活動記録誌に寄せて

NPO法人シェルパ  
居宅サービス担当 古市 貴之

私がふくしま心のケアセンターの皆さんと初めてお会いしたのは平成24年の4月であった。双葉郡出身であり、その地域の生活支援センターに勤め、震災後はいわき市にある母体の法人内で双葉郡から避難されてきた方達の支援を行っていた当時の私は、その4月から県事業の相談支援を担当することになり、避難生活をされている障がいのある方への訪問や必要な情報の提供を行っていた。当時は震災からちょうど1年の時期が過ぎていたが、住民の広域避難、地域性の喪失等による行政・支援者間の混乱も未だ続いており、当事者の避難生活の実態のさらなる把握の必要性が高い時期であったと思う。それから3年以上が経ち、地域のニーズも求められているサポートの形も変わってきている。心のケアセンターの皆さんは、被災地が経過する時間の中で「今やっておかなければならないことは何か」を多様な場面でその都度検討し、専門性を持ってその活動の必要性を示してくださったと思う。私自身も、多くの学ぶ機会を得て支援者支援という面だけでなく、一人の人間として寄り添っていただいていたのかもしれない。すべての人たちがそれぞれの居場所づくりの必要性をこの時期強く感じたことは、今の私自身の活動の根っこになっていると思う。

震災後の生活でより強く感じるようになっていた「居場所」の大事さ。人が生きづらさを感じる時、孤立感・疎外感・自己を卑下する思いを内に生じさせてしまう背景・要因があると思う。絶望を感じるほどであれば、この世に自分の生きている意味などないと思ひ詰めるだろう。その状態にあることは不幸だ。共に考え、それでいいんだよと寄り添ってくれて、時々背中を押してくれる存在。そばにいてくれるだけでも良いかもしれない。そんな心穏やかに時間を共有できる場所や仲間の中にいることを少しでも実感できるのなら人は誰も様々な壁を乗り越えて行けるのではないだろうか。自らの生き方を自ら選択できるのではないか。大きな流れの中で埋没しやすい小さな声。先行きが見えない不安の中で交錯する多様な思惑。子育てへの不安、食物への不安、体制への不満。しかしそれを口にして不安を訴えることは、この土地で生活をしていくと決めた者にとって多くのストレスを生み出しかねない実情がある。依然として特殊な環境ではあるけれども、用意された型にはまってもらうのではなく、一人ひとりの大きさに向かい合える「よりそい」の形がこの地域で今求められていると思う。その「よりそい」や地域生活支援が大きな花を咲かせられるようにいろいろな配慮を持って畑を耕してくれているのが心のケアセンターさんではないだろうか。そこから種を巻き育てるのは地元の人間の役割だと思う。思いだけではなく、専門性も肉付けされた「よりそい」を自分も目指したい。「震災を契機にこの地域の課題が明らかになり、地域の復興と同じくして地域福祉もさらに発展していった」近い将来、胸を張ってそう言えるように頑張っていきたい。

## 8 職員の感想

(振り返って思うこと)

## 職員の感想（振り返って思うこと）

\* 基幹センター ————— \*

相山 未希子（事務：総務財務課長）

立ち上げから日の浅い組織に往々にしてある、どことなく落ち着かない空気が漂ったままの年度初め。

その年から立ち上がったアルコールプロジェクトと研修部門はエンジン全開だった。

それに連動するかのように私にとって初めての仕事が舞い込み、決算もまだまだ終わらない中、初年度とは種類の違う戸惑いと焦りの連続だったのをよく覚えている。

それぞれの方部の活動も活発になり、新たな一步に向けて移転を始め、センター全体として2013年度末から半年間のあいだに4拠点が移転した頃だった。

この時の移転を何とか進められたのは、基幹と方部の相互の協力と、何より当時の事務担当二人の奮闘があったからだと思う。

話を私の事に戻すと、一人の専門員と様々な活動を共にしたことを思い出す。

その専門員は、「事務員だから」という区別をすることなく、一緒に活動している仲間として意見を交換したり、知識を与えてくれたりもした。

冒頭の研修部門長も同様だったことも相まって、それまで目を向ける余裕の無かった、専門員の方がこれまでに得て来た教育や知識、経験について考えるようになった。

もっと色々な事を知り、理解し、その上で事務方として何ができるのか。それ以来、以前にも増してそう考えながら日々の業務にあたっている。

私がケアセンター職員となって丸2年が経過した2014年度。

多くの戸惑いと焦りは新しい事柄の習得につながり、落ち着かない環境の中にも光を見いだすことのできた一年だったと思う。

高橋 悦男

4年間、何とか仕事をやってこられたのは、昼田所長のおかげです。それと発足当初から一緒に仕事をしている相山さんです。このお二人には感謝の気持ちでいっぱいです。

2011年度2012年度責任者として礎をつくった自負を持っています。

これからの当センターを考えると、副所長（総務担当）を中心に活動した方がベストだと思います。将来、所長が誰になるかわかりませんが、福島県で長く活動している精神科医が見つければと思います。

\* 県北方部センター ————— \*

活動を振り返って

二階堂 紀子 (看護師)

平成26年度から県北方部センターで活動させて頂いています。

まず思ったことは、復興というゴールにたどり着くまでには様々な、そして被災者の多様な問題が多くあり一筋縄ではいかないのでは、ということでした。支援者の私がそう思うのであれば、被災者が抱える「先の見えない不安」はどれほど大きな問題として心に重くのしかかっているのだろう、と切なく感じます。

例えば、ふるさとを思って前に進めなかったり、家族関係の変化・環境の変化で新たなストレスを感じたり、生活スタイルが変わり体調を崩したりと数えあげればキリがないはずです。そんな中でも、少しでも前を向いて明るく生活しよう、苦しい思いは胸に納めて生活しようと思っっている方は多いです。活動していて話を聞かせて頂いていると、普段は言えない思いがとめどなく出てきます。このような過酷な状況の中、支援者の私たちが出来ることは、本当に小さなことかもしれないけど、困っている方、どうして良いかわからない方、不安に押しつぶされそうな方が、笑顔になれる時間が少しずつでも増えるよう、目の前にある問題をひとつひとつ一緒に考え一歩一歩進んで行けるよう、その方にあった方法を検討しながら支援を続けていきたいです。そして、みなさまが健康で前向きに生活できるよう、願ってやみません。

\* 県中方部センター ————— \*

感想

岩沢 裕樹 (臨床心理士)

当センターの名称にも含まれている『心のケア』。この言葉はとても平易な言葉であると同時に、とても難解な言葉でもあると感じています。平成26年度、当センターが活動を始め、3年が経過しました。その中で常に「心のケアとは何か」を考え続けてきましたが、わたしなりの解釈として心のケアとは『エンパワメント』であると考えています。

被災された方々は、確かにいま現在は困難な中で生活をしているために支援が必要な状態にあるかもしれませんが、ですがそれは、その方々が弱い人、できない人なのではなく、もともと持っている力やリソースを十分に発揮できていないだけなのです。つまり、その方々が自律的にご自身のもっている力を発揮できるようにお手伝いをしていくこと、それこそが『心のケア』の本懐であると考えています。

長期的な視点に立ち、その方々がレジリエントかつ自律的・自立的に生きていけるようになるための支援。それをこれからも心がけていきたいと思ひます。

## 菅野 寿洋（作業療法士）

私は、作業療法士として精神科領域を専門に働いていました。

ふくしま心のケアセンターでの支援活動を行う中で、作業療法士ができる事、経験を活かす事について、葛藤を持ちながら支援活動を行っていました。リハビリテーション専門職としての基本に立ち返り、リハビリテーションという言葉の意味について考えました。

「リハビリテーション」の語源はラテン語で、re（再び）+ habilis（適した）、「再び適した状態になること」、「本来あるべき状態への回復」などの意味を持ちます。

東日本大震災及び東京電力福島原子力発電所の事故によって、被災された方、避難された方々が、本来の生活に近づくための援助を行うことが、リハビリテーション専門職に与えられた役割であると思います。

サロン活動や訪問支援の中で、故郷への思いを大切にしながら新しい生活を送っている方々、故郷での生活を再開されている方々、それぞれの状況に応じた関わりを今後も継続していくことが大切であると思います。

## \* 県南方部センター ————— \*

職員の感想（振り返って思うこと）

服部 徳子（保健師）

平成26年4月より県南地域の中で活動を行い、1年。そして今…。平成27年4月に県南方部が県中方部と統合となった。「県中県南方部」の一員として、諸先輩方、同僚の皆さんのお力を頂きつつ歩みだしている。しかし、県南方部に在籍していた職員2名が退職となり、当時の活動を知る職員が2名となり、数少ない職員の1人となってしまった。県南方部としての事務所単独設置の最後の職員として、活動についての感想をここに記していきたい。

事務所が置かれた白河市は、東日本大震災で震度6強の揺れを体験し、地域が大きな被害を受けた。観光名所も被害を受け、市内の山では地滑りにより、尊い命が奪われた悲しい出来事もあった。白河市以外の県南地域でも多くの地震被害があったことは知られている。そして放射能による健康被害への不安、風評被害で不安を感じている方も多い。地域のハード面は復興の姿が表れてきているが、心の復興にはまだまだ課題が残されているのが目に見えた。

私達はこれらの背景から、県南地域全体が間違いなく「被災地」であると受け止め、相双地域から避難された皆様の支援と共に、県南地域の住民の皆様への支援を行っていった。平成26年度は臨床心理士が県南方部に在籍しておらず、精神保健福祉士、作業療法士、保健師の3職種が力を合わせて、心と身体のケアを行っていった。

1年を振り返ると、県南方部の活動におけるキーワードは「逢」と「変」が浮かぶ。温かく優しさあふれる支援者の皆様と出逢った。お互いが心地よいと思える関係づくりができたことは、職員にとっての喜びであり「宝物」であった。それは、県南方部設置当初から従事されていた、諸先輩方の活動があったからこそ、良好な関係づくりができたと思っている。方部の事務所の扉を開けば、そこには話を聞いてくれる職員がいる。「事務所に来てみたよ」「今日はこんなことで困っています」「あら？どうされたの？」「これってどうなんだい？」そんなやり取りが、今では懐かしく感じる。

さらには、地域で出逢った住民の皆様から、数多くの気づきや学びの機会を頂いた。サロン活動や個別訪問による支援は勿論であるが、個別支援については、うつ病や発達障害など疾患の診断までには至らず、障害者総合支援法等の支援に該当しないため、地域の既存の支援の利用が厳しく、本来は必要な支援があるはずが支援を受ける事ができない方や、家族間の課題を抱える方もおり、支援の場を持った。法に基づいた支援の該当とならない方の、地域での「生きにくさ」を垣間見ることとなった。

これらの活動はまさに「地域保健活動」の原点を見ているかのようであった。県南地域での支援活動の場において、大きな特徴となったことは言うまでもない。支援者として、原点に戻りつつの活動を行う1年となり「出逢いが大事」であることを強く実感した。地域の課題を住民の皆様、支援者の皆様から教えて頂くことが多かった。

県南方部の支援は地域密着型の支援であったことは間違いない。それだけに突然の方部の統合は、残念な気持ちでいっぱいとなった。県南地域に事務所を構えているからこそ、可能な支援が存在した。それをどうするか？職員も動揺が隠せなかった。この地域から職員が離れることで「心の距離感」「支援の距離感」ができてしまうのではないかと。地域の住民の皆様から「今度遠くなるね」とのお声や、支援者の皆様より「何故今、離れるのか。県南の現場の現実を見ているのか」「非常にやりにくい」「寂しくなる」という、厳しくもあり、温かみのあるお言葉を頂いたことは忘れない。

これからこの県中県南方部の職員としてできることは、県南地域を離れることによる「支援への距離感」を作らないことだと感じている。県南地域へ出向く時「おお～来たね～良かった～」と言って下さる住民の皆様、支援者の皆様のお言葉に感謝の思いでいっぱいになる。

こうして歩み始めている県中地域においても同様に、支援者の皆様や住民の皆様と「新たな出逢い」があると思う。その中で「つながりづくり」を行い「今から。ここから」で、地域と共に具体的に動いていきたいと考えている。

## \*会津方部センター —————\*

内川 礼子 (看護師)

「震災・復興・心のケア」何もわからないまま未知の世界に身を投じ、あっという間の1年でした。

ほっと寛げる場の提供という取り組みを通し、住民や支援者が笑顔になるとほんの一時のことかもしれませんが良かった～と感じ、「なんかほっとする」

「また話に来ますね」の一言に励まされた日々でもありました。

今後も、多職種協働・他機関との連携を図り、被災された方の生活の安定の一助となるべく、ニーズは何か・できることは何かを見極め、活動していこうと思います。

## \*相馬方部センター —————\*

河村 木綿子 (看護師)

26年度から心のケアセンター相馬方部スタッフとして活動を開始しました。特に、アルコールプロジェクトの一員となった事で得たものが大きかったように思います。毎月の会議、研修会の企画運営は、これまで経験したことのない仕事でしたが、組織の一員としての責任を感じるとともに、直接的ではなくとも地域住民の力になっていく活動だと実感することができました。また、自分自身、アルコール関連問題に向き合い、多角的に地域を診るということを学ぶことができたことは看護師としての自身の成長にもつながったと感じています。

伏見 香代 (保健師)

今年度は、南相馬事務所が開設し、新たな活動が始まりました。南相馬地域は、沿岸から市内へ避難している方、小高区や双葉郡から避難してきた方、県内外の避難から帰ってきた方、避難せずこの地で住み続けている方と様々な事情を抱えた方がいらっしやいます。子どもから高齢者まで、多くの課題と共に暮らしているのが現状です。震災直後の混乱を思わせる現状に途方に暮れそうでしたが、スタッフと地域の関係機関の暖かいご協力で、何とか一年過ごすことが出来ました。南相馬地域の回復と復興は、まだまだ時間を要します。原子力発電所事故は、電気を使うすべての人にとっての課題です。全国の方々にも、南相馬に関心を寄せ続けて欲しいと願っています。

**\* 加須市駐在** \_\_\_\_\_ **\***

**職員感想**

渡邊 正道 (いわき方部センター・精神保健福祉士)

活動の終了が決まっており、ご負担をおかけしたり加須市駐在の使い方がなかなか難しい状況だったと感じております。そのような中、県民の皆様、双葉町役場や社会福祉協議会の職員の皆様、関係機関の皆様のご対応のおかげで活動が出来、3年間の活動を通して連携があつてこそこの加須市駐在でした。

心のケアとして何か出来たことはほとんどありませんが、県民の皆様、職員の皆様との「一緒に何かを考える時間」はお互いの支え合いにつながった時間であったかなと感じています。

末筆ではありますが、3年間加須市駐在として活動をさせて頂き、ありがとうございました。

**\* 退職者** \_\_\_\_\_ **\***

**福島県被災者支援活動報告会から**

谷口 博己 (旭川荘・社会福祉士)  
(いわき方部センター)

旭川荘から福島県に派遣され、被災地支援活動に従事した職員による活動報告会が7月27日に開催されました。

旭川荘では平成24年度から3年間、「ふくしま心のケアセンター」に社会福祉士等を派遣。1年目は埼玉県加須市で主に福島県双葉町からの避難住民の安否確認を行い、2年目は福島県会津若松市で仮設住宅でのサロン活動等に従事。昨年度は福島県いわき市における医療・福祉ネットワークの構築等を行い、一定の役割を果たしました。また今年度は人手不足が深刻な「南相馬市立総合病院」に療育・医療センターの看護師を派遣しています。

報告会では、まず昨年度にふくしま心のケアセンター「いわき方部センター」へ1年間派遣されたいんべ通園センターの谷口博己さんが、参加した末光茂理事長、仁木壯副理事長をはじめ職員有志約20名に対して、現地の状況や担当した業務についての報告を行いました。

**谷口さんの報告要旨**

「心のケアセンターは、近隣自治体からの避難住民および従来からのいわき市民を対象として、看護師、臨床心理士、ソーシャルワーカーのチームアプローチによる心のケアを行っています。

いわき市には、大熊町や双葉町など福島第一原発の周辺自治体の役場機能とともに住民約2万4千名が避難してきており、複雑な環境にあります。そのような中では、社会福祉士として個別ケースへの専門的な対応だけでなく、それを越えた「何



いわき市での活動について報告する谷口さん

でも屋」として動くことも必要であり、それが関係自治体との連携を強めることにもつながりました。自分も障害者などの個別ケースを担当しながら、ときには自治体の担当者間の調整役となり、あるいは医療機関や福祉施設の連携が不十分な状況を改善しようと、これらの施設を訪問してネットワークを構築するなど、幅広く業務を行いました。

今後もネットワークのさらなる充実が求められますが、現地の職員たちがしっかりと引き継いでくださると信じています。

また、今年4月初めから6月末まで南相馬市立総合病院に派遣された療育・医療センターの安原雅江さんも登壇し、内科病棟での業務を報告（詳細は旭川荘だより第203号でお伝えしています）。被災地の応援に行ったつもりが逆に温かく迎えていただき、最後には院長から「感謝状」を贈呈されたエピソードを紹介しました。

参加者からは、今後も心のケアセンターとの連絡を継続してニーズを把握したい、あるいは岡山に避難してきた方々に対する支援活動にも参加するなど、可能な形で被災者支援を継続したいという意見が出されました。

なお、南相馬市立総合病院には、7月初めから9月末まで療育・医療センターの今城京子さんが派遣されており、内科病棟の業務を引き継いで活動しています。」

（旭川荘だより206号2015年9月1日発行から）

（2013年度の所属部署、退職者～アイウエオ順）

## 9 活動資料

## 活動資料

## 関係職員の教育研修

※再掲

	要請機関	テーマ	講師・スタッフ	実施日	会場	対象者	実施回数	受講者数
1	福島県県南保健福祉事務所	自殺対策研修会	宮原俊也	8月7日	県南保健福祉事務所	市町村職員、生活支援相談員		
2	福島県総務部市町村行政課	メンタルヘルス研修(ふくしま心のケアセンターの事業概要)	内山清一	7月23日	ロイヤルホテル丸屋	被災市町村派遣職員、市町村採用任期付職員		31
7月30日				いわきワシントンホテル椿山荘			37	
9月24日				ホテルハマツ			38	
5	福島県県北保健福祉事務所	家庭訪問における面接技術のスキルアップ	内山清一	8月5日	県北保健福祉事務所	家庭訪問を担当する訪問員		16
6	楢葉町	アルコール多量飲酒者への対応—減酒の考え方—	宮原俊也	9月12日	会津美里宮里仮設住宅内グループホーム	会津保健福祉事務所、社会福祉協議会等		15
7	福島県県北保健福祉事務所	ふくしま心のケアセンターについて	内山清一	9月8日	県北保健福祉事務所	保健医療福祉関係者実習生		20
8	兵庫県こころのケアセンター	中長期の災害精神保健活動に関する意見交換会	渡部育子 松島輝明	1月28日	兵庫県こころのケアセンター	関係者		14
9	楢葉町	楽しく、人と酒と上手に付き合う方法	植田由紀子 宮原俊也	3月3日	サポートセンター「空の家」	民生児童委員、食生活改善推進員等		20
10	福島県消防学校	消防職員初任教育講義(ストレスについて)	羽田雄祐 杉本裕子	5月8日	福島県消防学校	新採用職員	1	90
11	神奈川若手会「第2回交流会」	目の前にある利用者の為、震災の視点から考える「福島は今、そしてこれから」	塩田義人 松島輝明	11月22日	横浜メンタルネットサービスネットワーク研修室	20歳代を限定とした精神保健福祉、社会福祉分野に従事する者等		14
12	福島県消防学校	消防職員初任教育講義(ストレスについて)	羽田雄祐	10月31日	福島県消防学校	新採用職員	1	46
13	須賀川市	相談の実際と実技	後藤弓子 安藤純子	2月9日	長沼保健センター	民生児童委員	1	20
2月16日				大東公民館	1		31	
2月19日			岩瀬農村環境改善センター	1	15			
16	三春町	三春町ゲートキーパー養成研修会	相良サク子	2月19日	三春町交流館まぼら	民生委員	1	51
17	ふくしま心のケアセンター	自殺対策に関する研修と情報交換	神澤創先生	2月24日	県中方部センター	心のケアセンター職員及び市町村職員	1	8
18	ふくしま心のケアセンター	県中方部内研修会	飯尾弥生先生	3月24日	県中方部センター	県中方部センター職員、いわき方部1名	1	13
19	県南方部センター 塙町社会福祉協議会		吉田麻里香	8月5日	塙町営公民館	傾聴ボランティア・ケアマネージャー		

心のケアセンター活動記録誌

	要請機関	テーマ	講師・スタッフ	実施日	会場	対象者	実施回数	受講者数
20	榎葉町	アルコール対策研修会「多量飲酒者への対応・支援・事例検討」	助言者:鶴幸一郎氏(みやぎ心のケアセンター)	12月12日	グループホームならば	榎葉町、榎葉町社会福祉協議会、生活支援相談員、会津保健福祉事務所職員他		15
21		アルコール対策研修会「アルコール依存症予備軍への対応・支援・事例検討」		3月13日				15
22	榎葉町	あたまとからだ・ぬくぬく体操	福島県作業療法士会 権野良隆氏	2月18日	榎葉町美里町出張所	榎葉町職員		
23	榎葉町			2月23日	サポートセンターならば	榎葉町社会福祉協議会職員		
24	松村看護専門学校	専門学生3年生への講義	米倉一磨	10月29日	松村看護専門学校	看護学生	1	50
25	日本公衆衛生協会	保健師等ブロック別研修会「長期避難生活における心のケアと支援者支援」での事例報告	米倉一磨	8月27日	コラッセふくしま 4階多目的ホール	保健師等	1	40
26	NPO法人みんなのとなり組	相双地域のアルコール依存症の実際	伏見香代	11月7日	原町生涯学習センター	市民	1	20
27	NPO法人福島子どもとこころと未来を育む会	福島子どもとこころと未来を育むシンポジウム	佐藤里美	11月3日	ビックパレット福島	福島のこどもの支援者	1	51
28	南相馬市健康づくり課	アルコールに関する勉強会	伏見香代	3月2日	原町保健センター	被災地の支援者	1	20
29	NPO法人心の架け橋いわて	被災3団体交流企画ここから・なごみ災害復興メンタルヘルス研修会	河村木綿子	11月9日	TKPガーデンシティ仙台ホール	被災者の支援者	1	50
30	南相馬市健康づくり課	アルコールに関する勉強会	伏見香代	3月2日	南相馬市立病院	医療保健従事者	1	20
31	宮城県アディクション問題研究会	福島県いわき市におけるアディクションの現状	真鍋博	4月10日	エルソーラ仙台 28階 大研修室	宮城県でアディクション問題に関わる専門職	1	30
32	東北アルコール関連問題ソーシャルワーカー研修会実行委員会	シンポジウム「震災から4年目を迎えて～それぞれの地域から見えてきたもの」	真鍋博	5月17日・18日	エポカ21(宮城県栗原市)	アルコール問題に関心をもつ精神保健福祉士及び関係者	1	30
33	いわき市平保健福祉地区センター	精神疾患の基礎知識	巖岩弘起 石塚幸作	5月22日	いわき文化センター	いわき市内の介護サービスに関わる専門職員	1	80
34	ちるさほ☆FUKUSHIMA	ストレスケア講座	石塚幸作 鈴木恵美子 東條仁美	7月4日	いわき市生涯学習プラザ	いわき市内で対人支援に関わる専門職	1	30
35	双葉町	対人援助職向けのストレスに対するセルフケア	巖岩弘起 石塚幸作	7月22日	双葉町役場いわき支所	双葉町役場いわき支所職員	1	5
36	富岡町社会福祉協議会	支援員のスキルアップ研修	巖岩弘起 石塚幸作	8月19日	富岡町社会福祉協議会	富岡町社会福祉協議会生活支援員	1	10
37	双葉町	面接が上手くなる 上手な話の聞き方	巖岩弘起 石塚幸作	8月26日	双葉町役場いわき支所	双葉町役場いわき支所職員	1	6
38	浪江町民生委員協議会	相談手法について	巖岩弘起	10月7日	二本松市岳下住民センター	浪江町民生委員		—
39	いわき市平包括支援センター	精神疾患の基礎知識	巖岩弘起 石塚幸作	10月21日	いわき市保健センター	いわき市内の介護サービスに関わる専門職員	1	30
40	富岡町社会福祉協議会	支援員のスキルアップ研修	巖岩弘起	10月28日	富岡町社会福祉協議会	富岡町社会福祉協議会生活支援員	1	12
41	いわき市保健所	ストレスと上手につきあうために～うつ予防～	真鍋博 谷口博己	11月4日	ハートフルなこそ	ハートフルなこそ施設職員	1	14

	要請機関	テーマ	講師・スタッフ	実施日	会場	対象者	実施回数	受講者数
42	福島県相双保健福祉事務所	平成26年度福島県地域保健福祉職員新任研修・フォローアップ研修 「円滑なコミュニケーションを目指して」事例検討	植田由紀子 褰岩弘起	11月20日	いわき合同庁舎	平成26年度福島県地域保健福祉職員新任研修に参加した県職員・市町村職員(いわき市・広野町・楡葉町・双葉町・相双保健福祉事務所いわき出張所)		22
43	けやきの会	認知行動療法について	石塚幸作	11月30日	スペースけやき	精神障害者の家族と当事者		15
44	富岡町社会福祉協議会	支援員のスキルアップ研修	褰岩弘起 石塚幸作	12月15日	富岡町社会福祉協議会	富岡町社会福祉協議会生活支援員	1	10
45	いわき市平包括支援センター	精神疾患の基礎知識	褰岩弘起 石塚幸作	1月14日	いわき市保健センター	いわき市内の介護サービスに関わる専門職員	1	30
46	いわき市	働く人たちのメンタルヘルス〜うつ病とアルコール問題の予防を中心に〜	褰岩弘起 山内美智子 谷口博己	2月3日	合同庁舎南分庁舎	いわき地方振興局職員	1	43
47		働く人たちのメンタルヘルス〜うつ病とアルコール問題の予防を中心に〜	植田由紀子 山内美智子 鈴木恵美子	2月5日	合同庁舎南分庁舎	いわき地方振興局職員	1	46
48	富岡町社会福祉協議会	支援員のスキルアップ研修	褰岩弘起 山内美智子	2月17日	富岡町社会福祉協議会	富岡町社会福祉協議会生活支援員	1	10
49	いわき市社会福祉協議会	アウトリーチによる支援	褰岩弘起 石塚幸作 山内美智子	2月18日	いわき市社会福祉センター	いわき市社会福祉総合相談センター相談員他	1	21
50	楡葉町	楽しく、人と酒と上手に付き合う方法	植田由紀子 宮原俊也	3月3日	サポートセンター「空の家」	民生児童委員、食生活改善推進員等		20
51	加須市駐在	浪江町復興支援員	事例相談とグループワーク(聴き取り・疾患等)	精神保健福祉士	月1回(7月～)	復興支援員事務所	8回	3~5人
52		福島県復興支援員	事例相談とグループワーク(聴き取り・疾患等)	精神保健福祉士	月1回~2回(12月～)	復興支援員事務所	8回	3~5人

普及啓発

※再掲

		要請機関	テーマ	講師・スタッフ	期日	会場	対象者	実施回数	参加者数
4	県北方部センター	福島県県北保健福祉事務所	被災者支援としての健康相談や心のケアの支援活動の実際	塩田義人	9月24日	県北方部センター	岩手県立医科大学社会福祉学部学生		1
5		福島県県北保健福祉事務所	自殺対策強化月間キャンペーン	県北方部スタッフ	3月3日	J R 福島駅前広場	一般住民		—
6	県中の方部センター	精神保健みちのくフォーラム実行委員会	「福島県における震災・原発事故後の心のケア」	安藤純子	9月21日	磐梯熱海・清稜山クラブ	精神医療・保健・福祉に従事する様々な職種、当事者、家族、ボランティア	1	25
7		市民こころの健康講座	講演会：心地よい睡眠を得るためには、演習：からだところをほぐすリラクゼーション	岩沢裕樹 菅原睦子 松島輝明	10月4日	郡山市総合福祉センター	一般市民	1	50
10		川内村役場保健福祉課	川内中学生への認知症講話	みどりの杜クリニック： 森川すいめい先生 スタッフ： 菅原睦子 菅野寿洋	11月21日	川内中学校	川内中学校：教員・学生、川内村教育委員会	1	30
11		第2回市民くらしの健康講座	認知症を支える家族のための生活術	みどりの杜クリニック： 森川すいめい先生	11月29日	郡山市総合福祉センター	認知症に関心のある方など	1	33
12		ふれあい共生会	福島県視察	安藤・松田	11月6・7日	富岡社協おだがいさまセンター他	ふれあい共生会職員	2	7
13		高知大学	東日本大震災 看護支援のインタビュー	後藤弓子	12月9日	県中の方部センター	高知大学	1	5
14	県南方部センター	浪江町	軽体操	菅野寿洋	2014年7月～第3金曜日	マイタウン白河	コスモス会	9	—
15	会津方部センター		語りべ・かっちゃんの民話の世界へようこそ	会津美里民話の会 五ノ井勝子先生	12月16日	交流ステーション・コミュニティ結	会津地域に暮らす住民		—
16			「お弁当診断の時間ですよ」と健康相談	鈴木京子先生（栄養士）	2月17日	交流ステーション・コミュニティ結	会津地域に暮らす住民		—
17	相馬方部センター	原町第二小学校	人に優しい街づくり	清山真琴	7月9日	原町第二小学校	小学6年生		—
18		鳥取県社会復帰支援研究会	鳥取県社会復帰支援研究会開催講演会「東北震災時のチーム支援について」	米倉一磨	7月26日	鳥取県とりぎん文化会館	医療保健福祉従事者		30
19		NPO法人みんなのとなり組	南相馬こころの連絡会「相双地域のアルコール依存症の実際」	伏見香代	11月7日	原町生涯学習センター	一般市民		—
20		NPO法人奈良NPOセンター	「避難者の今を考える」シンポジウム	米倉一磨	11月15日	奈良市ボランティアインフォメーションセンター	一般市民		20
21	相馬方部センター	宮崎保健福祉専門学校	東日本大震災 震災直後から現在までの福島でのOTとしての活動紹介	清山真琴	8月26日	宮崎保健福祉専門学校	作業療法学科1～2年生		—
22			地域アルコール対応力強化事業「相双地区におけるモデル事業」高等学校での啓発に関する情報交換会	大川貴子（福島医大）	1月14日	相馬市総合福祉センター	相双地域高等学校の養護教諭		11
23				大川貴子（福島医大）	3月4日				
24			大野台第6仮設交流会（アルコール談話会）	中澤先生 米倉一磨 河村木綿子 宮原俊也	1月19日	大野台仮設住宅	飯館村避難者		11
25		関西アルコール関連問題学会	第21回関西アルコール関連問題学会シンポジスト	米倉一磨	1月24日	和歌山ピック愛	医療保健従事者		—
26		新聞労連東北地連	「2015新聞労連東北地連春闘産研集会」パネルディスカッション出席依頼	米倉一磨	2月2日	ホテルロイヤル盛岡	報道関係者		—

	要請機関	テーマ	講師・スタッフ	期日	会場	対象者	実施回数	参加者数
27	相馬方部センター 東日本大震災支援全国ネットワーク	第10回現地会議in福島シンポジスト	米倉一磨	2月6日	南相馬市情報交流センター	福島の支援者		—
28	相馬方部センター 公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 兵庫こころのケアセンター	チリ国別研修「災害時におけるこころのモデルの構築」講師	大川貴子 米倉一磨 佐藤里美	2月9日	相馬市総合福祉センターはまなす館	チリ医療保健従事者		—
29	いわき市保健所	「ストレスと上手に付き合うために～うつ予防～」	石塚幸作 西山志乃 谷口博巳	5月8日	地域活動センタースペースけやき	地域活動センタースペースけやき施設利用者及び職員	1	14
30	IAEA	Research Cooperation Technical Meeting4	植田由紀子	5月21日	福島県立医科大学	IAEA関係者	1	—
31	いわき市保健所	女性セミナー「ストレスと上手につきあう方法」	東條仁美 鈴木恵美子 西山志乃	6月12日	いわき市好間公民館	一般女性市民	1	35
32	広野町食生活改善推進協議会	家庭訪問時の留意点について講演及び演習	鈴木恵美子 石塚幸作	6月25日	広野町保健センター	食生活改善推進員	1	15
33	いわき市職親会	いわき市障がい者職親会第3回勉強会	西山志乃 谷口博巳	7月16日	いわき産業創造館	いわき市内在住の障がい者と保護者	1	60
34	いわき市保健所	「ストレスと上手に付き合うために～うつ予防～」	巖岩弘起 石塚幸作	8月6日	東北電力いわき技術センター	東北電力職員	1	60
35	浪江町ぐるりんこ隊	ぐるりんこ隊 座談会	鈴木恵美子 東條仁美	8月21日	なみえ交流館	浪江町ぐるりんこ隊隊員	1	14
36	就労移行支援事業所つばさ	アサーション～より良い人間関係へ～	本田順一	8月20日	就労移行支援事業所つばさ	施設利用者と職員	1	7
37	いわき市保健所	職場のメンタルヘルス	巖岩弘起 石塚幸作	10月1日	いわき市中央公民館	保育所給食担当職員	1	40
38	厚生労働省科学研究	大規模災害復興期の支援者のメンタルヘルスと支援	巖岩弘起	10月18日	TKPガーデンシティ仙台	一般市民など	1	40
39		第3回未来会議inいわき2014「今できること」「ふくしま心のケアセンターいわき方部センター活動概要報告」	東條仁美 谷口博巳	11月8日	いわき市生涯学習センター	いわき市民	1	60
40	けやきの会	認知行動療法について	石塚幸作	11月30日	スペースけやき	いわき市精神障がい者家族会	1	12
41	愛知県	原子力災害時に住民等への対応に当たる者に対しての心のケアやリスクコミュニケーションに関する講演	植田由紀子	12月19日	愛知県三の丸庁舎	市町村及び医療関係機関等の職員		90
42	いわき市	実技「心のリフレッシュ」	石塚幸作 西山志乃	1月15日	いわき市総合保健福祉センター	いわき市内の精神障害者家族会会員及び統合失調症を抱える家族	1	25
43		平成26年度「交流サロンフェスタ」	東條仁美 鈴木恵美子 西山志乃 山内美智子 谷口博巳	2月11日	いわき市生涯学習プラザ	一般市民など	1	—
44	楢葉町	楽しく、人とお酒と上手に付き合う方法	植田由紀子 山内美智子 (宮原俊也)	3月3日	サポートセンター空の家	楢葉町健康大学受講生	1	16

心のケア相談会の開催

		要請機関	テーマ	講師・スタッフ	期日	会場	対象者	実施回数	参加者数
1	県中 方部 センター	福島県 県中 保健 福祉 事務所	心の健康相談	山下和彦	4月24日	県中 保健 福祉 事務所	心の健康相談申込者	1	2
2				松島輝明	5月20日			1	1
3				岩沢裕樹	6月12日			1	1
4				松田聡一郎	7月22日			1	2
5				山下和彦	8月8日			1	1
6				松田聡一郎	9月9日			1	3
7				安藤純子	10月9日			1	1
8				山下和彦	11月11日			1	7
9				松田聡一郎	1月22日			1	3
10				安藤純子	2月18日			1	1
11				安藤純子	3月10日			1	2
12	いわき 方部 センター	福島県 相双 保健 福祉 事務所	難病相談会・個別相談	—	9月16日	いわき産業創造館	神経難病認定患者とその家族	1	34
13		広野町	広野町メンタルヘルス相談会	植田由紀子 藤井千太	10月1日	広野町保健センター	相談希望者	1	2
14				巖岩弘起 藤井千太	1月21日			1	2
15				石塚幸作 藤井千太	3月18日			1	2

## メンタルヘルスケア（集団）

	開催年月日	開催方部・駐在	対象職種		人数	集団開催の内容	備考																																																																																																																																																																																																																																																													
1	6月19日	基幹センター	その他	家族等	10	薬物家族教室	福島県精神保健福祉センター																																																																																																																																																																																																																																																													
2	10月16日	基幹センター	その他		10			3	10月12・13日	基幹センター	その他	津波被害により、遺児または孤児となった子ども等	66	交流旅行を通じてのこころのケア	南相馬市	4	4月18日	県北方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	4	アルコール家族教室	県北保健福祉事務所	5	7月18日	県北方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	10	アルコール家族教室	県北保健福祉事務所	6	7月30日	県北方部	その他	ひきこもりの家族を抱えている家族	12	ひきこもり家族教室	県北保健福祉事務所	7	8月27日	県北方部	その他	ひきこもりの家族を抱えている家族	8	「ひきこもり家族教室公開講座」 「ひきこもり家族交流会」	県北保健福祉事務所	8	9月19日	県北方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	3	アルコール家族教室	県北保健福祉事務所	9	10月17日	県北方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	8	アルコール家族教室	県北保健福祉事務所	10	10月29日	県北方部	その他	ひきこもりの家族を抱えている家族	11	ひきこもり家族教室	県北保健福祉事務所	11	11月21日	県北方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	7	アルコール家族教室	県北保健福祉事務所	12	11月28日	県北方部	その他	ひきこもりの家族を抱えている家族	7	ひきこもり家族教室	県北保健福祉事務所	13	12月19日	県北方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	7	アルコール家族教室	県北保健福祉事務所	14	1月26日	県北方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	23	アルコール家族教室	県北保健福祉事務所	15	1月30日	県北方部	その他	ひきこもりの家族を抱えている家族	8	ひきこもり家族教室	県北保健福祉事務所	16	2月20日	県北方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	10	アルコール家族教室	県北保健福祉事務所	17	5月8日	県中方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	5	アルコール家族教室	県中保健福祉事務所	18	6月5日	県中方部	その他	うつ病の治療を受けている方の家族	1	家族のためのうつ病教室	県中保健福祉事務所	19	6月13日	県中方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	8	アルコール家族教室	県中保健福祉事務所	20	6月12日	県中方部	その他	幼稚園教諭	6	緊急スクールカウンセラー等事業 (グループミーティング)	NPO法人 ハートフルハート	21	6月19日	県中方部	その他	幼稚園教諭	5	緊急スクールカウンセラー等事業 (グループミーティング)	NPO法人 ハートフルハート	22	7月3日	県中方部	その他	うつ病の治療を受けている方の家族	1	家族のためのうつ病教室	県中保健福祉事務所	23	8月7日	県中方部	その他	うつ病の治療を受けている方の家族	3	家族のためのうつ病教室	県中保健福祉事務所	24	8月19日	県中方部	その他	保育士	6	三春町メンタルヘルス事業 (コンサルテーション)	三春町	25	8月21日	県中方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	8	アルコール家族教室	県中保健福祉事務所	26	8月21日	県中方部	その他	葛尾村役場職員	7	葛尾村リラクゼーション体験会	葛尾村	27	9月2日	県中方部	その他	うつ病の治療を受けている方の家族	5	家族のためのうつ病教室	県中保健福祉事務所	28	9月17日	県中方部	その他	うつ病の治療を受けている方の家族	11	うつ病家族教室	郡山市保健所	29	9月25日	県中方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	12	アルコール家族教室	県中保健福祉事務所	30	10月1日	県中方部	その他	うつ病の治療を受けている方の家族	3	家族のためのうつ病教室	県中保健福祉事務所	31	10月22日	県中方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	8	アルコール家族教室	県中保健福祉事務所	32	10月23日	県中方部	その他	育児中の母親	5	尚志幼稚園子育てティータイム	尚志幼稚園	33	11月4日	県中方部	その他	うつ病の治療を受けている方の家族	3	家族のためのうつ病教室	県中保健福祉事務所	34	11月25日	県中方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族
3	10月12・13日	基幹センター	その他	津波被害により、遺児または孤児となった子ども等	66	交流旅行を通じてのこころのケア	南相馬市																																																																																																																																																																																																																																																													
4	4月18日	県北方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	4	アルコール家族教室	県北保健福祉事務所																																																																																																																																																																																																																																																													
5	7月18日	県北方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	10	アルコール家族教室	県北保健福祉事務所																																																																																																																																																																																																																																																													
6	7月30日	県北方部	その他	ひきこもりの家族を抱えている家族	12	ひきこもり家族教室	県北保健福祉事務所																																																																																																																																																																																																																																																													
7	8月27日	県北方部	その他	ひきこもりの家族を抱えている家族	8	「ひきこもり家族教室公開講座」 「ひきこもり家族交流会」	県北保健福祉事務所																																																																																																																																																																																																																																																													
8	9月19日	県北方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	3	アルコール家族教室	県北保健福祉事務所																																																																																																																																																																																																																																																													
9	10月17日	県北方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	8	アルコール家族教室	県北保健福祉事務所																																																																																																																																																																																																																																																													
10	10月29日	県北方部	その他	ひきこもりの家族を抱えている家族	11	ひきこもり家族教室	県北保健福祉事務所																																																																																																																																																																																																																																																													
11	11月21日	県北方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	7	アルコール家族教室	県北保健福祉事務所																																																																																																																																																																																																																																																													
12	11月28日	県北方部	その他	ひきこもりの家族を抱えている家族	7	ひきこもり家族教室	県北保健福祉事務所																																																																																																																																																																																																																																																													
13	12月19日	県北方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	7	アルコール家族教室	県北保健福祉事務所																																																																																																																																																																																																																																																													
14	1月26日	県北方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	23	アルコール家族教室	県北保健福祉事務所																																																																																																																																																																																																																																																													
15	1月30日	県北方部	その他	ひきこもりの家族を抱えている家族	8	ひきこもり家族教室	県北保健福祉事務所																																																																																																																																																																																																																																																													
16	2月20日	県北方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	10	アルコール家族教室	県北保健福祉事務所																																																																																																																																																																																																																																																													
17	5月8日	県中方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	5	アルコール家族教室	県中保健福祉事務所																																																																																																																																																																																																																																																													
18	6月5日	県中方部	その他	うつ病の治療を受けている方の家族	1	家族のためのうつ病教室	県中保健福祉事務所																																																																																																																																																																																																																																																													
19	6月13日	県中方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	8	アルコール家族教室	県中保健福祉事務所																																																																																																																																																																																																																																																													
20	6月12日	県中方部	その他	幼稚園教諭	6	緊急スクールカウンセラー等事業 (グループミーティング)	NPO法人 ハートフルハート																																																																																																																																																																																																																																																													
21	6月19日	県中方部	その他	幼稚園教諭	5	緊急スクールカウンセラー等事業 (グループミーティング)	NPO法人 ハートフルハート																																																																																																																																																																																																																																																													
22	7月3日	県中方部	その他	うつ病の治療を受けている方の家族	1	家族のためのうつ病教室	県中保健福祉事務所																																																																																																																																																																																																																																																													
23	8月7日	県中方部	その他	うつ病の治療を受けている方の家族	3	家族のためのうつ病教室	県中保健福祉事務所																																																																																																																																																																																																																																																													
24	8月19日	県中方部	その他	保育士	6	三春町メンタルヘルス事業 (コンサルテーション)	三春町																																																																																																																																																																																																																																																													
25	8月21日	県中方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	8	アルコール家族教室	県中保健福祉事務所																																																																																																																																																																																																																																																													
26	8月21日	県中方部	その他	葛尾村役場職員	7	葛尾村リラクゼーション体験会	葛尾村																																																																																																																																																																																																																																																													
27	9月2日	県中方部	その他	うつ病の治療を受けている方の家族	5	家族のためのうつ病教室	県中保健福祉事務所																																																																																																																																																																																																																																																													
28	9月17日	県中方部	その他	うつ病の治療を受けている方の家族	11	うつ病家族教室	郡山市保健所																																																																																																																																																																																																																																																													
29	9月25日	県中方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	12	アルコール家族教室	県中保健福祉事務所																																																																																																																																																																																																																																																													
30	10月1日	県中方部	その他	うつ病の治療を受けている方の家族	3	家族のためのうつ病教室	県中保健福祉事務所																																																																																																																																																																																																																																																													
31	10月22日	県中方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	8	アルコール家族教室	県中保健福祉事務所																																																																																																																																																																																																																																																													
32	10月23日	県中方部	その他	育児中の母親	5	尚志幼稚園子育てティータイム	尚志幼稚園																																																																																																																																																																																																																																																													
33	11月4日	県中方部	その他	うつ病の治療を受けている方の家族	3	家族のためのうつ病教室	県中保健福祉事務所																																																																																																																																																																																																																																																													
34	11月25日	県中方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	9	アルコール家族教室	県中保健福祉事務所																																																																																																																																																																																																																																																													

	開催年月日	開催方部・駐在	対象職種		人数	集団開催の内容	備考
35	10月23日	県中方部	その他	育児中の母親	5	尚志幼稚園子育てティータイム	尚志幼稚園
36	12月17日	県中方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	3	アルコール家族教室	県中保健福祉事務所
37	1月29日	県中方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	7	アルコール家族教室	県中保健福祉事務所
38	2月26日	県中方部	その他	アルコール関連問題を抱えている家族	—	アルコール家族教室	県中保健福祉事務所
39	8月25日	県南方部	保健師、作業療法士、その他		14	リスニングスキルとセルフケアについて	定例勉強会(県社協・白河市社協・矢吹社協・須賀川社協・西郷社協・双葉社協・ケアセンター)
40	10月15日	会津方部	その他	楢葉町会津美里町出張所職員	5	ちよいのびしタ〜イム(タッピングタッチ)	楢葉町
41	10月15日	会津方部	その他	楢葉町会津美里町出張所職員	5	ちよいのびしタ〜イム(タッピングタッチ)	楢葉町
42	6月1日	相馬方部	保健師、看護師	仮設住宅住民	42	南相馬市八方内仮設住宅にて花植支援及びアンケート調査	ICA文化事業協会との共催
43	12月22日	相馬方部	その他	高齢者	10	高齢者メンタルヘルス研修会	

### メンタルヘルスケア（個別）

	開催方部	市町村等対応数	開催回数	人数	対応の概要	備考
1	県中方部	6	48	525	個別面談など	
2	県南方部	3	3	4	支援者のメンタルケアなど	
3	相馬方部	1	3	3	個別カウンセリング	
4	いわき方部	3	11	138	支援者への個別面談	

## 語らいの場（サロン）の運営及び被災者自助グループの育成

	要請機関	テーマ	期日	会場	対象者	参加数	備考
1	福島市社会福祉協議会	～ホットサロン「てとて」～	4月9日	福島市保健福祉センター	福島市内に避難している住民	70	
2			4月23日			70	
3			5月14日			70	個別相談2名
4			5月28日			70	個別相談4名
5			6月11日			76	個別相談4名
6			6月25日			65	
7			7月9日			45	個別相談5名
8			7月23日			70	個別相談3名
9			8月6日			54	個別相談2名
10			8月27日			70	個別相談3名
11			9月10日			70	個別相談4名
12			9月24日			75	個別相談4名
13			10月8日			70	個別相談5名
14			福島市社協サロン「リフレッシュツアー」健康相談事業			10月16日	
15		～ホットサロン「てとて」～	10月22日		70	個別相談5名	
16		福島市社協サロン「リフレッシュツアー」健康相談事業	10月23日		32		
17		～ホットサロン「てとて」～	11月12日		70	個別相談4名	
18			11月26日		80	個別相談4名	
19			12月10日		70	個別相談4名	
20			12月24日		84	個別相談2名	
21			1月14日		80	個別相談2名	
22			1月28日		92	個別相談2名	
23			2月10日		65	個別相談3名	
24			福島市社協リフレッシュツアー	2月18日	いわき市へバスツアー	42	
25	～ホットサロン「てとて」～		2月25日	福島市保健福祉センター	94	個別相談2名	
26			3月11日		90	個別相談3名	
27		3月25日	90		個別相談1名		
28	浪江町社会福祉協議会	浪江町社協主催茶話会	6月24日	北幹線仮設住宅集会所	北幹線仮設住宅住民	15	
29			7月14日	宮代仮設住宅集会所	宮代仮設住宅住民	8	
30			7月28日	北幹線仮設住宅集会所	北幹線仮設住宅住民	12	
31			8月26日	北幹線仮設住宅集会所		11	
32			9月8日	宮代仮設住宅集会所	宮代仮設住宅住民	17	
33			9月22日	北幹線仮設住宅集会所	北幹線仮設住宅住民	12	
34			10月14日	宮代仮設住宅集会所	宮代仮設住宅住民	12	
35			10月28日	北幹線仮設住宅集会所	北幹線仮設住宅住民	12	
36			11月10日	北幹線仮設住宅集会所		17	

心のケアセンター活動記録誌

	要請機関	テーマ	期日	会場	対象者	参加数	備考		
37	県北方部センター 浪江町社会福祉協議会	浪江町社協主催茶話会	12月8日	宮代仮設住宅集会所	宮代仮設住宅住民	16	個別相談1名		
38			12月22日	北幹線仮設住宅集会所	北幹線仮設住宅住民	16			
39			1月13日	宮代仮設住宅集会所	宮代仮設住宅住民	16			
40			1月20日	北幹線仮設住宅集会所	北幹線仮設住宅住民	13			
41			2月9日	宮代仮設住宅集会所	宮代仮設住宅住民	12			
42			2月23日	北幹線仮設住宅集会所	北幹線仮設住宅住民	6			
43			3月9日	宮代仮設住宅集会所	宮代仮設住宅住民	8			
44	「なごみの会 ふれあい いきいきサロン」(矢吹町 社会福祉協議会)	バスレクリエーション	4月17日	福島空港	矢吹町に避難している方	25			
45		健康講話、茶話会	6月19日	善郷内応急仮設住宅集会所		5			
46		栄養士、保健師による健康指導	10月8日	矢吹町保健福祉センター		54			
47		レクリエーション(ウォーキング)	10月16日	三十三観音公園		10			
48		団子さしつくり、茶話会	1月15日	善郷内応急仮設住宅集会所		8			
49		茶話会(来年度の計画)	2月19日	善郷内応急仮設住宅集会所		9			
50		追悼式	3月11日	一本木応急仮設住宅集会所		23			
51		お花見昼食会(白河警察署講話、健康体操)	4月15日	一本木応急仮設住宅集会所		9			
52		コスモス会	体操、茶話会	4月28日		マイタウン3階	矢吹町に避難している浪江町住民	14	
53			体操、茶話会	5月24日				12	
54	軽体操・レクリエーション		7月18日	15					
55	講話「腰痛」		9月19日	15					
56	さすけね会 (双葉町サロン)	身体の軸を整えるエクササイズ	5月20日	郭内応急仮設集会所	白河地域に避難している双葉町住民	13			
57		良いこと探しと報告	6月17日			12			
58		地図づくり	7月15日			12			
59		地図づくり	8月19日			6			
60		川柳作り	9月16日			10			
61		『故郷(ふるさと)』の4番の歌詞をつくろう	10月21日			7			
62		『冬の思い出・過去今未来』	11月18日			9			
63		『福笑い』	1月20日			11			
64		『双葉かるたづくり』	2月17日			15			
65	『双葉かるたづくり』	3月17日	12						
66	しらかわ地域富岡さくらの会	発足総会	6月21日	マイタウン白河3階	白河地域に避難している富岡町住民	30			
67	ハローワーク健康チェック はまなかみんなのサロン		5月28日	ハローワーク白河	白河地域に避難している相双地域住民	3			
68			6月23日			3			
69	健康チェック&ほっとひといき相談室	健康チェック、サロン	7月23日					1	
70			8月18日					6	
71			9月29日					5	
72			10月27日					4	
73			11月19日					1	
74			1月26日					4	
75			2月23日					4	
76	健康サロン(双葉町・社会福祉協議会)	花粉症について講話 実技(マスク装着方法)	4月8日			郭内応急仮設住宅集会所		18	
77	みみずくの会主催 お花見	お花見	4月22日	小峰城広場		130			
78	郭内仮設健康サロン	ストレスを防ぐ運動(ストレッチ体操) 日赤	5月13日	郭内応急仮設住宅集会所	白河地域に避難している双葉町住民	23			
79	郭内仮設健康サロン(相談専門職チーム)	「誤嚥性肺炎予防と口腔ケアについて」講義と実技	6月3日			14			
80		「熱中症予防について」講義と実技、体操	6月10日			19			
81		相談支援専門職チームによる講話と体操、ゲーム	6月24日			17			

	要請機関	テーマ	期日	会場	対象者	参加数	備考
82	県南 方部 セン ター	郭内仮設健康サロン (双葉町社会福祉協 議会)	介護予防体操	7月8日	郭内応急仮設住 宅集会所	白河地域に避難し ている双葉町住民	17
83		相談支援専門職チームによ る体操とゲーム	7月22日	10			
84		「食事と高齢者の栄養失調 克服のカギ」	8月5日	11			
85		健康サロン(相談支援 専門職チーム)	相談支援専門職チームによ る体操	8月26日			12
86		郭内仮設健康サロン (双葉町役場)	「救急車を上手に使いましょ う」	9月2日			13
87		郭内仮設健康サロン(双葉 町社会福祉協議会)	「救急時の対応」	9月9日			13
88		郭内仮設健康サロン (双葉町)	笑いヨガ	10月7日			12
89		郭内仮設健康サロン (双葉町社会福祉協 議会)	「乳がん検診」「目の愛護 デー」「ボールで心もからだも 元気!」	10月14日			13
90		郭内仮設健康サロン (双葉町)	「感染症」「アルコール消毒 ジェルの使い方」「ボールで 心もからだも元気!」	11月4日			15
91		郭内仮設健康サロン (双葉町社会福祉協 議会 福島県歯科衛 生士会)	口腔衛生についての実技、 講演	11月11日			11
92		郭内仮設健康サロン (双葉町役場)	転倒予防講話、ボール体操	12月2日			12
93			「笑いヨガでストレス解消」	12月16日			11
94		郭内仮設健康サロン(双 葉町 県栄養士会)	「特定健診に関する栄養指 導」ボール体操(上肢編)	1月6日			15
95		健康サロン(双葉町社 会福祉協議会)	「なつかしカルタ」、ボール体 操(上肢編 番外編)	1月13日			16
96		郭内仮設健康サロン (双葉町)	生活習慣病ミニ講座 こ ころ体操	2月3日			14
97		郭内仮設健康サロン (双葉町 在宅歯科 衛生士会)	口腔保健ケア(歯周病)、顔 面体操、舌体操(歌)	2月10日			17
98		郭内仮設健康サロン (双葉町)	ひな祭り	3月3日			13
99		双葉町借り上げ住宅自 治会	会議終了後の健康体操	9月8日			13
100		双葉町「男の料理教室 &健康相談」		1月16日			白河市産業プラザ 人材育成センター
101	双葉町「白河男の料理 教室」	料理教室	2月27日		白河地域に避難し ている双葉町住民	9	
102		料理教室	3月20日			11	
103	白河警察署主催AED 講習会	白河警察署、白河消防署に よる講演、実習	8月29日	白河市中田応急 仮設集会所	白河地域に避難し ている方	9	
104			9月4日	矢吹町一本木仮 設集会所	矢吹町に避難し ている方	7	
105	白河警察署主催交通 安全講習会	白河警察署復興支援係	11月14日	白河市中田仮設 集会所	白河地域に避難し ている方	4	
106	ままカフェ 白河	あそび・フリートーク・個別相 談	8月6日	マイタウン白河	避難先から戻っ てきた親子支援	14	
107			9月10日			24	
108			11月12日			14	
109			2月4日			25	
110			3月11日			14	
111	会津若松市仮設住宅 双葉町サロン	フェザータッチでリラクゼー ション	9月10日	第二中学校仮設 住宅談話室	白河地域に避難し ている双葉町住民	7	
112	にここサロン(双葉町 社会福祉協議会)	生活習慣病予防・笑いヨガ	7月16日	白河市中心福祉セ ンター	白河地域に避難し ている双葉町住民	21	
113	加須市駐在 双葉町社会福祉協議 会	サロン(いきいきサロン、囲碁 将棋の会、ママカフェサロン 等)参加	適宜	双葉町社会福祉 協議会	双葉町民		
114	浪江町復興支援員	埼玉県に避難している広域 サロンの参加	9月10日	八潮市民文化会 館	福島県民		

市町村への業務支援

	開催方・ 駐在	内容	講師・スタッフ	期日	参加 人数	備考
1	県 北 方 部 セ ン タ ー	被災者支援について	看護師、精神保健福祉士	5月2日	10	双葉町健康支援活動連絡会
2		被災者への健康支援について	精神保健福祉士、保健師	5月2日	11	飯館村健康支援活動連絡会
3		被災者への健康支援について	精神保健福祉士、臨床心理士	5月9日	10	浪江町健康支援活動連絡会
4		被災者支援について	精神保健福祉士、臨床心理士	5月12日	8	富岡町健康支援活動連絡会
5		被災者支援について	精神保健福祉士、臨床心理士	5月13日	10	川俣町健康支援活動連絡会
6		被災者への健康支援について	精神保健福祉士、保健師	5月13日	8	伊達市健康支援活動連絡会
7		被災者支援について	看護師、精神保健福祉士	5月16日	7	南相馬市健康支援活動連絡会
8		富岡町借上入居者の個別支援について	臨床心理士、看護師	6月11日	11	富岡町健康支援活動連絡会
9		対応ケースについて報告、町からの要望	看護師	6月18日	3	浪江町ミーティング
10		双葉町仮設・借り上げ住宅入居者の個別支援について	看護師	6月27日	8	双葉町健康支援活動連絡会
11		要訪問世帯について	看護師、精神保健福祉士	7月1日	9	川俣町健康支援活動連絡会
12		「ままカフェ」の現状、課題、福島市大波地区	精神保健福祉士、保健師	7月7日	3	福島市健康福祉部 放射線健康管理室とのミーティング
13		内部被ばくを防ぐための健康座談会	精神保健福祉士、保健師	7月9日	10	福島市大波地区上染屋
14		大波地区健康座談会の振り返り	精神保健福祉士、保健師	7月24日	3	福島市健康福祉部 放射線健康管理室とのミーティング
15		浪江町仮設住宅健康相談会	保健師、看護師	8月7日	14	浪江町
16		ケア会議	保健師、看護師、精神保健福祉士	8月7日	4	浪江町
17		浪江町仮設住宅健康相談会	保健師	8月19日	9	浪江町
18		浪江町健康支援活動連絡会	看護師、臨床心理士	9月2日	14	浪江町
19		浪江町仮設住宅健康相談会	保健師	9月5日	13	浪江町
20		富岡町健康支援活動連絡会	看護師、臨床心理士	9月9日	9	富岡町
21		飯館村健康支援活動連絡会	保健師、看護師	9月16日	11	飯館村
22		浪江町仮設住宅健康相談会	保健師	9月16日	6	浪江町
23		健康フェスタ2014	看護師、精神保健福祉士	9月28日	270	福島市
24		浪江町仮設住宅健康相談会	保健師、看護師	10月20日	16	浪江町
25		内部被ばくを防ぐための健康座談会	保健師、看護師、医師、その他	10月24日	20	福島市大波地区上染屋
26		浪江町仮設住宅健康相談会	看護師	10月29日	6	浪江町
27		浪江町仮設住宅健康相談会	保健師、看護師	10月31日	4	浪江町
28		浪江町仮設住宅健康相談会	看護師	11月10日	9	浪江町
29		杉田住民センター仮設茶話会	看護師、栄養士、臨床心理士	11月11日	20	浪江町
30		浪江町仮設住宅健康相談会	保健師、看護師	11月13日	11	浪江町
31		浪江町仮設住宅健康相談会	看護師	11月17日	4	浪江町
32		浪江町仮設住宅健康相談会	看護師	11月25日	5	浪江町
33		浪江町仮設住宅健康相談会	保健師、看護師	11月26日	11	浪江町
34		浪江町仮設住宅健康相談会	保健師、看護師	11月28日	10	浪江町
35		浪江町仮設住宅健康相談会	看護師	12月1日	9	浪江町
36		浪江町仮設住宅健康相談会	看護師	12月4日	9	浪江町
37		浪江町仮設住宅健康相談会	保健師、看護師	12月9日	10	浪江町
38		浪江町仮設住宅健康相談会	看護師	12月15日	4	浪江町
39		浪江町仮設住宅健康相談会	看護師	12月16日	3	浪江町
40		浪江町仮設住宅健康相談会	看護師	12月22日	11	浪江町
41		浪江町仮設住宅健康相談会	保健師、看護師	12月24日	6	浪江町
42		浪江町仮設住宅健康相談会	看護師	1月6日	11	浪江町

	開催方 部 駐在	内容	講師・スタッフ	期日	参 加 数	備考
43	県 北 方 部 セ ン タ ー	浪江町仮設住宅健康相談会	看護師	1月8日	6	浪江町
44		浪江町仮設住宅健康相談会	看護師	1月13日	13	浪江町
45		浪江町仮設住宅健康相談会	保健師、看護師	1月19日	6	浪江町
46		浪江町仮設住宅健康相談会	看護師	1月20日	6	浪江町
47		浪江町仮設住宅健康相談会	保健師、看護師	1月26日	13	浪江町
48		浪江町仮設住宅健康相談会	保健師、看護師	1月28日	7	浪江町
49		浪江町仮設住宅健康相談会	看護師	1月29日	4	浪江町
50		浪江町仮設住宅健康相談会	保健師、看護師	2月2日	8	浪江町
51		浪江町仮設住宅健康相談会	看護師	2月5日	12	浪江町
52		浪江町仮設住宅健康相談会	看護師	2月6日	7	浪江町
53		浪江町仮設住宅健康相談会	保健師、看護師	2月10日	6	浪江町
54		浪江町仮設住宅健康相談会	保健師	2月13日	7	浪江町
55		浪江町仮設住宅健康相談会	看護師	2月16日	8	浪江町
56		浪江町仮設住宅健康相談会	保健師、看護師	2月17日	14	浪江町
57		浪江町仮設住宅健康相談会	看護師	2月23日	14	浪江町
58		杉田住民センター仮設住宅茶話 会調理実習	保健師、臨床心理士、栄養士	2月24日	12	浪江町
59		杉田住民センター仮設住宅茶話 会調理実習	看護師	2月26日	7	浪江町
60		浪江町仮設住宅健康相談会	看護師	3月2日	10	浪江町
61		浪江町仮設住宅健康相談会	保健師、看護師	3月5日	9	浪江町
62		浪江町仮設住宅健康相談会	保健師、看護師	3月10日	5	浪江町
63	県 中 方 部 セ ン タ ー	絆カフェろっこ	精神保健福祉士	4月2日	17	郡山市総合福祉センター
64		葛尾村定例会	看護師、精神保健福祉士	4月4日	10	葛尾村役場
65		須賀川市親子ふれあい教室	看護師、精神保健福祉士、臨床心理士	4月9日	10	須賀川保健センター
66		葛尾村親子ふれあい教室	精神保健福祉士、臨床心理士	4月10日	7	貝山支え合いセンター
67		田村市・都路町月例報告	精神保健福祉士、作業療法士	4月10日	2	田村市船引保健センター
68		三春町親子ふれあい教室	看護師、精神保健福祉士、臨床心理士	4月11日	24	三春保健センター
69		双葉町県中地区連携システム打 ち合わせ	臨床心理士、社会福祉士	4月11日	13	双葉町郡山支所
70		三春町職員メンタルヘルス事業打 ち合わせ	保健師、臨床心理士、看護師	4月14日	4	三春町役場
71		双葉町定例会	保健師、臨床心理士、社会福祉士	4月15日	10	双葉町社会福祉協議会
72		双葉町サロン	保健師、臨床心理士、社会福祉士	4月16日	8	喜久田仮設
73		川内村月例報告	臨床心理士、看護師	4月16日	2	川内村役場
74		葛尾村デイケアひだまりの会	看護師、精神保健福祉士	4月17日	6	しんせい開成山公園
75		双葉町サロン	看護師、臨床心理士、社会福祉士	4月17日	8	富田仮設
76		川内イキイキ高齢者ふやし隊	看護師、社会福祉士	4月18日	11	川内村ゆふね
77		双葉町サロン	看護師、精神保健福祉士	4月18日	3	日和田仮設
78		富岡町ひとやすみの会	看護師、精神保健福祉士	4月21日	6	大槻町北公民館
79		平田村親子ふれあい教室	看護師、臨床心理士、社会福祉士、精神 保健福祉士	4月21日	19	平田村保健センター
80		富岡町絆カフェ	看護師、精神保健福祉士	4月22日	4	富岡町絆カフェ
81		三春町職員メンタルヘルス事業 打合せ	保健師、看護師、臨床心理士	4月25日	16	三春町役場
82		葛尾村メンタルヘルス事業打合 せ	臨床心理士、看護師	5月2日	3	葛尾村役場三春事務所
83		川内村月例報告	臨床心理士、看護師	5月7日	2	川内村ゆふね
84		双葉町サロン(日和田仮設)	臨床心理士、社会福祉士	5月7日	2	日和田仮設
85		茶話カフェろっこ	看護師、精神保健福祉士	5月7日	14	郡山市総合福祉センター
86		富岡町月例報告	看護師	5月7日	2	県中南部センター
87		葛尾村親子ふれあい教室	看護師、精神保健福祉士	5月8日	5	貝山支え合いセンター
88		三春町親子ふれあい教室	社会福祉士、臨床心理士、看護師、精神 保健福祉士	5月9日	11	三春町保健センター
89		富岡町健康サロン	看護師、精神保健福祉士、社会福祉士	5月12日	18	若宮前仮設
90		葛尾村精神障がい者デイケアひ だまりの会	精神保健福祉士、看護師	5月13日	1	中妻仮設

心のケアセンター活動記録誌

	開催方・ 駐在	内容	講師・スタッフ	期日	参加 人数	備考
91	県中 方部 セン ター	双葉町職員メンタルヘルス事業 打合せ	臨床心理士、社会福祉士	5月13日	1	双葉町役場いわき事務所
92		須賀川市親子ふれあい教室	看護師、精神保健福祉士、臨床心理士、 社会福祉士	5月14日	28	須賀川市保健センター
93		双葉町定例会	保健師、臨床心理士、社会福祉士	5月15日	4	双葉町社会福祉協議会
94		田村市月例報告	作業療法士、精神保健福祉士	5月15日	2	田村市船引保健センター
95		都路町月例報告	作業療法士、精神保健福祉士	5月15日	1	田村市船引保健センター
96		葛尾村月例報告	看護師、精神保健福祉士	5月19日	7	葛尾村役場三春事務所
97		双葉町・県中保健福祉事務所定 例会	臨床心理士、社会福祉士	5月19日	9	福島県県中保健福祉事 務所
98		双葉町サロン(喜久田仮設)	看護師、臨床心理士、社会福祉士	5月21日	7	喜久田仮設
99		双葉町サロン(富田仮設)	看護師、社会福祉士、作業療法士	5月22日	11	富田仮設
100		富岡町ひとやすみの会	看護師、精神保健福祉士	5月22日	6	大槻町北公民館
101		平田村親子ふれあい教室	看護師、作業療法士	5月26日	18	平田村保健センター
102		富岡町絆カフェ	精神保健福祉士	5月27日	0	富岡町絆カフェ
103		三春町メンタルヘルス事業結果 報告	保健師、臨床心理士	6月3日	3	三春町役場
104		双葉町サロン(日和田仮設)	社会福祉士、精神保健福祉士	6月4日	1	日和田仮設
105		茶話カフェろっこ	社会福祉士、精神保健福祉士	6月4日	17	郡山市総合福祉センター
106		葛尾村親子ふれあい教室	看護師、精神保健福祉士	6月5日	6	貝山支え合いセンター
107		平田村親子ふれあい教室	看護師、社会福祉士、作業療法士	6月9日	31	平田村保健センター
108		川内村月例報告	看護師、臨床心理士	6月10日	2	川内村ゆふね
109		富岡町月例報告	看護師	6月10日	2	富岡町郡山事務所
110		双葉町月例報告	臨床心理士、社会福祉士	6月12日	8	双葉町役場郡山支所
111		田村市月例報告	作業療法士、精神保健福祉士	6月12日	2	田村市船引保健センター
112		都路町月例報告	作業療法士、精神保健福祉士	6月12日	1	田村市船引保健センター
113		葛尾村月例報告	看護師、精神保健福祉士	6月16日	8	葛尾村役場三春事務所
114		葛尾村デイケアひだまりの会	精神保健福祉士、作業療法士	6月17日	3	中妻集会所
115		双葉町サロン(喜久田仮設)	臨床心理士、看護師	6月18日	6	喜久田仮設
116		双葉町サロン(富田仮設)	臨床心理士、看護師	6月19日	15	富田仮設
117		富岡町ひとやすみの会	看護師	6月20日	5	大槻町北公民館
118		三春町親子ふれあい教室	臨床心理士、社会福祉士、作業療法士	6月20日	18	三春町保健センター
119		三春町メンタルヘルス事業打合せ	保健師、看護師、臨床心理士	6月20日	2	三春町役場
120		富岡町絆カフェ	看護師、精神保健福祉士	6月24日	13	富岡町絆カフェ
121		須賀川市親子ふれあい教室	精神保健福祉士、臨床心理士、社会福 祉士、看護師、作業療法士	6月25日	46	須賀川市保健センター
122		双葉町サロン	社会福祉士、看護師	7月2日	0	日和田仮設
123		茶話カフェろっこ	看護師、精神保健福祉士	7月2日	17	郡山市総合福祉センター
124		葛尾村親子ふれあい教室	看護師、精神保健福祉士	7月3日	6	貝山支え合いセンター
125		富岡町月例報告	看護師、精神保健福祉士	7月7日	4	富岡町郡山事務所
126		田村市月例報告	作業療法士、精神保健福祉士	7月10日	2	田村市船引保健センター
127		都路町月例報告	作業療法士、精神保健福祉士	7月10日	1	田村市船引保健センター
128		川内村月例報告	看護師、臨床心理士	7月10日	2	川内村ゆふね
129		平田村親子ふれあい教室	看護師、社会福祉士、作業療法士、精神保健 福祉士	7月14日	20	平田村保健センター
130	富岡町健康サロン	看護師、精神保健福祉士	7月14日	15	若宮前仮設	
131	葛尾村月例報告	看護師、精神保健福祉士	7月14日	4	葛尾村役場三春事務所	
132	葛尾村精神障がい者デイケアひ だまりの会	精神保健福祉士	7月15日	4	中妻集会所	
133	双葉町月例報告	保健師、社会福祉士、臨床心理士	7月15日	8	双葉町社会福祉協議会	
134	須賀川市親子ふれあい教室	看護師、精神保健福祉士、臨床心理士	7月16日	21	須賀川市保健センター	
135	双葉町サロン(喜久田仮設)	臨床心理士、社会福祉士	7月16日	8	喜久田仮設	
136	双葉町サロン(富田仮設)	社会福祉士、看護師	7月17日	10	富田仮設	
137	富岡町ひとやすみの会	看護師、精神保健福祉士	7月22日	3	大槻町北公民館	
138	葛尾村デイケアひだまりの会	精神保健福祉士	8月5日	4	中妻仮設	
139	双葉町サロン(日和田仮設)	社会福祉士、作業療法士	8月6日	1	日和田仮設	

	開催方 部 駐在	内容	講師・スタッフ	期日	参加 人数	備考
140	県 中 方 部 セ ン タ ー	茶話カフェろっこ	精神保健福祉士	8月6日	12	郡山市総合福祉センター
141		富岡町月例報告	看護師、精神保健福祉士	8月6日	1	富岡町郡山事務所
142		葛尾村親子ふれあい教室	看護師、精神保健福祉士	8月7日	8	貝山支え合いセンター
143		川内村月例報告	臨床心理士、社会福祉士	8月7日	2	川内村ゆふね
144		田村市月例報告	作業療法士、精神保健福祉士	8月7日	3	田村市船引保健センター
145		都路町月例報告	作業療法士、精神保健福祉士	8月7日	1	田村市船引保健センター
146		三春町親子ふれあい教室	看護師、作業療法士	8月8日	18	三春町保健センター
147		葛尾村月例会議	看護師、精神保健福祉士	8月18日	8	葛尾村役場三春事務所
148		須賀川市親子ふれあい教室	看護師、臨床心理士、社会福祉士	8月20日	32	須賀川市保健センター
149		双葉町サロン(喜久田仮設)	臨床心理士、作業療法士	8月20日	7	喜久田仮設
150		富岡町ひとやすみの会	看護師、作業療法士、精神保健福祉士	8月21日	3	大槻町北公民館
151		双葉町サロン(富田仮設)	社会福祉士、看護師	8月21日	10	富田仮設
152		双葉町月例報告	保健師、臨床心理士、社会福祉士	8月21日	10	双葉町社会福祉協議会
153		葛尾村親子ふれあい教室	精神保健福祉士、看護師	9月2日	4	貝山支え合いセンター
154		双葉町サロン(日和田仮設)	看護師、社会福祉士	9月3日	4	日和田仮設
155		茶話カフェろっこ	看護師、精神保健福祉士	9月3日	13	郡山市総合福祉センター
156		富岡町月例報告	看護師	9月3日	2	富岡町郡山事務所
157		川内村月例報告	看護師、臨床心理士	9月4日	2	川内村ゆふね
158		富岡町健康サロン	看護師、精神保健福祉士	9月5日	13	若宮前仮設
159		平田村親子ふれあい教室	精神保健福祉士、看護師、社会福祉士	9月5日	22	平田村保健センター
160		片平行政局リフレッシュママ教室	看護師、臨床心理士	9月9日	15	片平ふれあいセンター
161		須賀川市親子ふれあい教室	看護師、社会福祉士	9月10日	54	須賀川市保健センター
162		双葉町月例報告	臨床心理士、社会福祉士	9月11日	8	双葉町社会福祉協議会
163		田村市月例報告	作業療法士、精神保健福祉士	9月11日	4	田村市船引保健センター
164		都路町月例報告	作業療法士、精神保健福祉士	9月11日	1	田村市船引保健センター
165		三春町親子ふれあい教室	臨床心理士、看護師、社会福祉士	9月12日	21	三春町保健センター
166		葛尾村デイケアひだまりの会	精神保健福祉士	9月16日	3	高旗山のんびりワンダー フォレスト
167		双葉町サロン(喜久田仮設)	看護師、社会福祉士	9月17日	17	喜久田仮設
168		双葉町サロン(富田仮設)	看護師、精神保健福祉士	9月18日	9	富田仮設
169		葛尾村月例報告	看護師、精神保健福祉士	9月18日	7	葛尾村役場三春事務所
170		富岡町ひとやすみの会	看護師、精神保健福祉士	9月22日	4	大槻町北公民館
171		浪江町検診後の相談会	看護師、精神保健福祉士	9月24日	40	ビッグナレット
172		三春町職員メンタルヘルス事業 打合せ	保健師、臨床心理士、看護師	9月24日	2	三春町役場
173		三春町幼保支援報告会	保健師、臨床心理士、看護師	9月24日	6	三春町役場
174		大熊町心を元気にする講座	作業療法士、精神保健福祉士	9月25日	8	ビッグナレット
175		浪江町検診後の相談会	看護師、精神保健福祉士	9月25日	25	南東北総合卸センター
176	茶話カフェろっこ	社会福祉士、看護師、作業療法士	10月1日	15	郡山市総合福祉センター	
177	葛尾村親子ふれあい教室	看護師	10月2日	14	貝山支え合いセンター	
178	須賀川市親子ふれあい教室	看護師、精神保健福祉士、臨床心理士、 社会福祉士	10月8日	32	須賀川市保健センター	
179	富岡町月例報告	看護師、精神保健福祉士	10月8日	2	富岡町郡山事務所	
180	田村市月例報告	作業療法士、精神保健福祉士	10月9日	3	田村市船引保健センター	
181	都路町月例報告	作業療法士、精神保健福祉士	10月9日	1	田村市船引保健センター	
182	三春町親子ふれあい教室	臨床心理士、作業療法士、看護師	10月10日	20	三春町保健センター	
183	葛尾村デイケアひだまりの会	精神保健福祉士	10月14日	3	中妻仮設	
184	茶話カフェろっこ	精神保健福祉士、作業療法士	10月15日	5	郡山市総合福祉センター	
185	双葉町月例報告	臨床心理士、社会福祉士	10月16日	10	双葉町社会福祉協議会	
186	葛尾村月例報告	看護師、精神保健福祉士	10月20日	7	葛尾村役場	
187	富岡ひとやすみの会	看護師、精神保健福祉士、作業療法士	10月20日	5	大槻町北公民館	
188	平田村親子ふれあい教室	臨床心理士、作業療法士、社会福祉士、 看護師	10月20日	39	平田村保健センター	
189	大熊町検診支援	作業療法士、精神保健福祉士	10月23日	120	富田西仮設 集会所	
190	大熊町検診支援	作業療法士、精神保健福祉士	10月24日	50	富田西仮設 集会所	

心のケアセンター活動記録誌

	開催方・ 駐在	内容	講師・スタッフ	期日	参加 人数	備考
191	県中 方部 セン ター	県中保健福祉事務所健康サロン こらんしょ広場	看護師、精神保健福祉士、作業療法士	10月31日	12	大槻町東地域公民館
192		葛尾村親子ふれあい教室	精神保健福祉士、作業療法士	11月4日	6	貝山支え合いセンター
193		川内村月例報告	看護師、臨床心理士	11月10日	3	川内村役場
194		川内村中学校認知症講座打ち 合わせ	社会福祉士、作業療法士	11月10日	5	川内村役場、川内中学校
195		須賀川市親子ふれあい教室	看護師、精神保健福祉士、作業療法士、 臨床心理士、社会福祉士	11月12日	38	須賀川市保健センター
196		三春町親子ふれあい教室	看護師、臨床心理士、作業療法士	11月14日	15	三春町保健センター
197		富岡町健康サロン	看護師、精神保健福祉士	11月10日	14	富岡町若宮前仮設集会所
198		田村市月例報告	作業療法士	11月13日	1	田村市船引保健センター
199		都路町月例報告	作業療法士	11月13日	1	田村市船引保健センター
200		富岡町ケース報告	看護師、精神保健福祉士	11月13日	2	富岡町役場郡山事務所
201		平田村親子ふれあい教室	看護師、臨床心理士、作業療法士	11月17日	24	平田村保健センター
202		葛尾村デイケアひだまりの会	精神保健福祉士	11月18日	3	中妻仮設集会所
203		双葉町月例報告	臨床心理士、社会福祉士	11月18日	10	双葉町社会福祉協議会
204		県中保健福祉事務所健康サロン こらんしょ広場	作業療法士、看護師	11月21日	2	大槻町東地域公民館
205		葛尾村リラクゼーション体験会	臨床心理士、看護師	11月26日	6	葛尾村役場
206		葛尾村親子ふれあい教室	看護師、精神保健福祉士	12月2日	11	貝山支え合いセンター
207		茶話カフェろっこ	社会福祉士、作業療法士	12月3日	12	郡山市総合福祉センター
208		認知症に関する講話	臨床心理士、社会福祉士	12月5日	4	川内村保健センター
209		認知症に関する講話	臨床心理士、社会福祉士	12月5日	46	川内村保健センター
210		須賀川市親子ふれあい教室	看護師、精神保健福祉士、臨床心理士、 社会福祉士	12月10日	33	須賀川市保健センター
211		田村市月例報告	作業療法士	12月11日	3	田村町船引保健センター
212		都路町月例報告	作業療法士	12月11日	3	田村町船引保健センター
213		三春町親子ふれあい教室	臨床心理士、看護師	12月12日	17	三春町保健センター
214		富岡町月例報告	看護師、精神保健福祉士	12月12日	2	富岡町役場郡山事務所
215		葛尾村月例報告	看護師、精神保健福祉士	12月15日	7	葛尾村役場
216		双葉町月例報告	臨床心理士、社会福祉士	12月16日	10	双葉町社会福祉協議会
217		浪江町月例報告郵送	作業療法士	12月18日	2	浪江町役場二本松事務所
218		大熊町月例報告郵送	作業療法士	12月18日	2	大熊町役場会津若松出張所
219		双葉町サロン	社会福祉士、作業療法士	12月16日	10	喜久田仮設
220		双葉町サロン	臨床心理士、看護師	12月18日	10	富田仮設
221		郡山市月例報告	保健師、臨床心理士	12月18日	4	郡山市保健所
222		県中保健福祉事務所健康サロン こらんしょ広場	作業療法士、看護師	12月19日	8	大槻町東地域公民館
223		白河市月例報告郵送	白河市月例報告郵送	12月22日	1	白河市中央保健センター
224		南相馬市月例報告郵送	看護師	12月22日	1	南相馬市役所
225		富岡ひとやすみの会	看護師、精神保健福祉士	12月22日	3	大槻町北公民会館
226		富岡町絆職員メンタルヘルス事 業報告	精神保健福祉士	12月25日	3	富岡町郡山事務所
227		茶話カフェろっこ	社会福祉士、作業療法士	1月7日	13	郡山市総合福祉センター
228	三春町親子ふれあい教室	臨床心理士、看護師	1月9日	14	三春町保健センター	
229	葛尾村職員面談報告	臨床心理士、看護師	1月13日	3	葛尾村役場	
230	須賀川市親子ふれあい教室	臨床心理士、看護師、作業療法士、 社会福祉士	1月14日	39	須賀川市保健センター	
231	葛尾村月例報告	看護師、精神保健福祉士	1月14日	9	葛尾村役場	
232	田村市月例報告	看護師、作業療法士	1月15日	3	船引保健センター	
233	都路町月例報告	看護師、作業療法士	1月15日	3	船引保健センター	
234	双葉町サロン	臨床心理士、看護師	1月15日	9	富田仮設	
235	富岡町月例報告	看護師、精神保健福祉士	1月16日	4	県中の方部センター	
236	平田村親子ふれあい教室	臨床心理士、看護師、精神保健福祉士	1月19日	24	平田村保健センター	
237	葛尾精神デイケアひだまりの会	精神保健福祉士	1月20日	3	中妻仮設集会所	

	開催方 部 駐在	内容	講師・スタッフ	期日	参 加 数	備考
238	県 中 方 部 セ ン タ ー	田村市支援ニーズ聞き取り	保健師、作業療法士	1月20日	1	田村市役所
239		富岡ひとやすみの会	看護師、精神保健福祉士	1月21日	2	大槻町北公民会館
240		川内村月例報告	保健師、看護師、臨床心理士	1月21日	2	川内村保健センター
241		川内村支援ニーズ聞き取り	保健師、看護師、臨床心理士	1月21日	2	川内村保健センター
242		双葉町サロン	社会福祉士、精神保健福祉士	1月21日	5	喜久田仮設
243		双葉町定例会	看護師、社会福祉士	1月22日	7	双葉町社会福祉協議会
244		葛尾村支援ニーズ聞き取り	保健師、看護師、精神保健福祉士	1月22日	3	葛尾村役場
245		富岡町支援ニーズ聞き取り	保健師、看護師、精神保健福祉士	1月23日	1	葛尾村役場
246		三春町親子ふれあい教室	精神保健福祉士、臨床心理士、社会福祉士	2月13日	11	三春町保健センター
247		葛尾村支援ニーズ聞き取り	臨床心理士、看護師	2月16日	9	葛尾村役場
248		葛尾村デイケアひだまりの会	精神保健福祉士	2月17日	3	中妻仮設集会所
249		大熊町健康相談後のハイリスク者同行訪問	社会福祉士、看護師、作業療法士	2月17日	4	県中地区を巡回
250		双葉町サロン	臨床心理士	2月19日	8	喜久田仮設
251		富岡ひとやすみの会	看護師	2月20日	2	大槻北公民館
252		双葉町検診後の健康相談会	作業療法士	2月20日	8	喜久田仮設
253		大熊町健康相談後のハイリスク者同行訪問	社会福祉士、看護師、作業療法士	2月20日	4	県中地区を巡回
254		川内村イキイキ高齢者なり隊増やし隊会議	臨床心理士	2月20日	10	川内村複合施設ゆふね
255		三春町役場管理職対象研修会	保健師、臨床心理士、看護師	2月23日	不明	三春町役場
256		三春町役場一般職員対象研修会	看護師、臨床心理士	2月24日	不明	三春町役場
257		双葉町サロン	臨床心理士	3月4日	3	日和田仮設
258		茶話カフェろっこ	看護師、作業療法士	3月4日	14	郡山市総合福祉センター
259		三春町親子ふれあい教室	看護師、臨床心理士、社会福祉士	3月13日	24	三春町保健センター
260		平田村親子ふれあい教室	看護師、臨床心理士、社会福祉士	3月16日	26	平田村保健センター
261		双葉町サロン	社会福祉士、作業療法士	3月18日	4	喜久田仮設集会所
262		双葉町サロン	社会福祉士、作業療法士	3月19日	5	若宮前仮設集会所
263		富岡ひとやすみの会	看護師、精神保健福祉士	3月20日	5	大槻町北公民会館
264	県 南 方 部 セ ン タ ー	ケースに対する相談対応・助言	精神保健福祉士	5月8日	1	県南保健福祉事務所生活保護課
265		ケースに対する相談対応・助言	精神保健福祉士	5月9日	1	県南保健福祉事務所生活保護課
266		ケースに対する相談対応・助言	精神保健福祉士	5月9日	1	県南保健福祉事務所生活保護課
267		ケースに対する相談対応・助言	精神保健福祉士	5月23日	1	県南保健福祉事務所生活保護課
268		ケースに対する相談対応・助言	精神保健福祉士	5月23日	1	県南保健福祉事務所生活保護課
269		身体ケアについての指導	保健師、作業療法士	5月27日	1	白河市社会福祉協議会
270		ケースに対する相談対応・助言	精神保健福祉士	5月28日	1	県南保健福祉事務所生活保護課
271		ケースに対する相談対応・助言	精神保健福祉士	6月5日	1	県南保健福祉事務所生活保護課
272		ケースに対する相談対応・助言	精神保健福祉士	6月5日	1	県南保健福祉事務所生活保護課
273		ケースに対する相談対応・助言	精神保健福祉士	6月6日	1	県南保健福祉事務所生活保護課
274		ケースに対する相談対応・助言	精神保健福祉士	6月9日	1	矢吹町社会福祉協議会
275		ケースに対する相談対応・助言	精神保健福祉士	6月9日	1	矢吹町社会福祉協議会
276		メンタルケア	精神保健福祉士	6月10日	1	矢吹町社会福祉協議会
277		身体ケアについての指導	保健師	6月16日	1	双葉町社会福祉協議会
278		ケースに対する相談対応・助言	精神保健福祉士	6月19日	1	県南保健福祉事務所生活保護課
279		ケースに対する相談対応・助言	精神保健福祉士	6月19日	1	県南保健福祉事務所生活保護課

心のケアセンター活動記録誌

	開催方・ 駐在	内容	講師・スタッフ	期日	参加 人数	備考
280	県 南 方 部 セ ン タ ー	ケースに対する相談対応・助言	精神保健福祉士	6月25日	1	県南保健福祉事務所生活保護課
281		メンタルケア	保健師	6月26日	1	双葉町社会福祉協議会
282		ケースに対する相談対応・助言	精神保健福祉士	7月3日	1	県南保健福祉事務所生活保護課
283		ケースに対する相談対応・助言	精神保健福祉士	7月3日	1	県南保健福祉事務所生活保護課
284		身体ケアについての指導	保健師	7月7日	1	双葉町社会福祉協議会
285		ケースに対する相談対応・助言	精神保健福祉士	7月9日	1	県南保健福祉事務所生活保護課
286		ケースに対する相談対応・助言	精神保健福祉士	7月13日	1	白河市社会福祉協議会
287		ケースに対する相談対応・助言	精神保健福祉士	7月17日	1	県南保健福祉事務所生活保護課
288		ケースに対する相談対応・助言	精神保健福祉士	7月17日	1	県南保健福祉事務所生活保護課
289		ケースに対する相談対応・助言	精神保健福祉士	7月25日	1	県南保健福祉事務所生活保護課
290		スーパーバイズ、支援についての助言	精神保健福祉士	8月5日	1	県南保健福祉事務所生活保護課
291		勉強会について、うつの方の行動について	その他	8月5日	2	白河市社会福祉協議会
292		スーパーバイズ、支援についての助言	精神保健福祉士	8月6日	1	県南保健福祉事務所生活保護課
293		血圧測定結果について	その他	8月18日	1	西郷村社会福祉協議会
294		集団支援活動の支援・協力	精神保健福祉士	10月2日	1	NPO法人ビーンズふくしま
295		集団支援活動の支援・協力	精神保健福祉士	10月2日	1	NPO法人白河市民活動支援会
296		訪問同行、スーパーバイズ	精神保健福祉士	10月9日	1	矢吹町社会福祉協議会
297		ケース情報交換・助言	精神保健福祉士	10月15日	1	県南保健福祉事務所母子担当
298		スーパーバイズ	精神保健福祉士	10月15日	1	県南保健福祉事務所生活保護担当
299		集団活動への支援・協力	保健師	10月7日	1	双葉町役場
300		集団活動への支援・協力	保健師	10月14日	1	双葉町社会福祉協議会
301		スーパーバイズ	保健師	10月20日	1	白河市社会福祉協議会
302		健康支援・スーパーバイズ	保健師	10月21日	1	白河市社会福祉協議会
303		講演会内容伝達・健康支援	保健師	10月29日	1	白河市社会福祉協議会
304		集団活動への支援・協力	保健師	12月2日	12	双葉町役場
305		集団活動への支援・協力	保健師、精神保健福祉士	12月16日	11	双葉町役場
306		LSA体制	看護師、社会福祉士	4月10日	12	大熊町 LSAミーティング
307		檜葉町ケア会議	保健師、看護師、臨床心理士	4月11日	16	檜葉町
308		大熊町要支援者・今年度事業打合せ	精神保健福祉士、保健師、看護師、社会福祉士	4月15日	8	大熊町
309	大熊町支援者支援打ち合わせ	精神保健福祉士、社会福祉士	4月22日	3	大熊町	
310	檜葉町ケア会議	精神保健福祉士、保健師	4月25日	8	檜葉町	
311	避難者健康相談会(そうそう絆サロン)	看護師	4月25日	11	富岡町	
312	大熊町(会津地域)障がい者支援事業所会議	看護師、精神保健福祉士	4月30日	10	大熊町	
313	大熊町事業打ち合わせ	精神保健福祉士、保健師、看護師、社会福祉士	4月30日	6	大熊町	
314	大熊町との事業打ち合わせ	看護師、精神保健福祉士、社会福祉士	5月1日	7	大熊町	
315	大熊町支援者支援打ち合わせ	精神保健福祉士、社会福祉士	5月12日	3	大熊町	
316	LSAより報告	社会福祉士、看護師	5月15日	10	大熊町LSAMT	
317	大熊町支援者支援打ち合わせ	看護師、精神保健福祉士	5月21日	3	大熊町	
318	檜葉町ケア会議	保健師、精神保健福祉士	5月23日	15	檜葉町	
319	避難者健康相談会(そうそう絆サロン)	看護師	5月26日	10	富岡町	
320	大熊町障がい者支援事業所会議	精神保健福祉士	5月28日	10	大熊町	
321	大熊町障がい児支援調整会議	精神保健福祉士、社会福祉士	6月2日	6	大熊町	
322	LSAより報告	看護師	6月10日	9	大熊町LSAMT	

	開催方・ 駐在	内容	講師・スタッフ	期日	参加 人数	備考
323	会津 方部 センター	楢葉町ケア会議	保健師	6月13日	15	楢葉町
324		大熊町障がい者支援事業所会議	精神保健福祉士、社会福祉士	6月25日	9	大熊町
325		避難者健康相談会(そうそう絆サロン)	看護師	6月26日	7	富岡町
326		LSAより報告	看護師	7月2日	11	大熊町LSAMT
327		浪江町打ち合わせ	看護師、精神保健福祉士	7月9日	4	浪江町
328		楢葉町ケア会議	精神保健福祉士、保健師	7月11日	15	楢葉町
329		避難者健康相談会(そうそう絆サロン)	看護師	7月24日	9	富岡町
330		大熊町障がい者支援事業所会議	精神保健福祉士、社会福祉士	7月30日	9	大熊町
331		大熊町精神保健事業 映画上映に関する打合せ	保健師、看護師、精神保健福祉士、その他	8月4日	4	大熊町
332		楢葉町ケア会議	保健師他	8月8日	10	楢葉町
333		大熊町職員ストレスチェックに関わる打ち合わせ	保健師、精神保健福祉士、社会福祉士、その他	8月11日	6	大熊町
334		避難者健康相談会(そうそう絆サロン)	保健師、看護師、精神保健福祉士、作業療法士	8月12日	7	富岡町
335		大熊町職員ストレスチェックに関わる打ち合わせ	医師、保健師、精神保健福祉士、社会福祉士、その他	8月14日	6	大熊町
336		避難者健康相談会(そうそう絆サロン)	保健師、看護師、栄養士	8月25日	7	富岡町
337		大熊町障がい者支援事業所会議	保健師、看護師、社会福祉士、その他	8月27日	7	大熊町
338		大熊町支援者支援打ち合わせ(ちよいのびしタータイム)	社会福祉士、看護師	9月3日	4	大熊町
339		避難者健康相談会(そうそう絆サロン)	保健師、看護師、社会福祉士、栄養士	9月9日	9	富岡町
340		楢葉町ケア会議	保健師、看護師、精神保健福祉士	9月12日	9	楢葉町
341		避難者健康相談会(そうそう絆サロン)	保健師、看護師、栄養士	9月25日	2	富岡町
342		浪江町総合健診の支援協力	看護師、保健師	10月3日	78	浪江町
343		大熊町LSAMT	看護師、保健師	10月7日	9	大熊町
344		避難者健康相談会(そうそう絆サロン)	社会福祉士、保健師、看護師他	10月7日	7	富岡町
345		大熊町支援者支援打ち合わせ(ちよいのびしタータイム)	社会福祉士、保健師、看護師他	10月7日	7	大熊町
346		ひきこもり予防対策事業「のぼんクラブ」	社会福祉士、保健師、看護師他	10月14日	6	大熊町
347		大熊町総合検診支援	看護師、保健師	10月20日	148	大熊町
348		大熊町総合検診支援	看護師、保健師	10月21日	199	大熊町
349		大熊町総合検診支援	看護師、保健師	10月22日	165	大熊町
350		大熊町障がい児支援調整会議	社会福祉士	10月22日	6	大熊町
351		避難者健康相談会(そうそう絆サロン)	保健師、看護師、社会福祉士、栄養士	10月24日	12	富岡町
352		ちよいのびしタータイム(大熊町支援者支援事業)	保健師、看護師	10月28日	4	大熊町
353		大熊町健康相談会	保健師、看護師、栄養士	11月4日	8	大熊町
354		大熊町LSAMT	看護師、保健師	11月5日	5	大熊町
355		避難者健康相談会(そうそう絆サロン)	保健師、看護師、社会福祉士、栄養士	11月11日	3	富岡町
356		大熊町健康相談会	保健師、看護師、栄養士	11月12日	8	大熊町
357		ちよいのびしタータイム(大熊町支援者支援事業)	保健師、看護師	11月13日	10	大熊町
358		楢葉町ケア会議	保健師、看護師	11月14日	10	楢葉町
359	大熊町健康相談会	保健師、看護師、栄養士	11月20日	10	大熊町	
360	避難者健康相談会(そうそう絆サロン)	保健師、看護師、社会福祉士、栄養士	11月25日	7	富岡町	
361	大熊町障がい者支援事業所会議	精神保健福祉士、社会福祉士	11月26日	6	大熊町	

心のケアセンター活動記録誌

	開催方 部 駐在	内容	講師・スタッフ	期日	参 加 者 数	備考
362	会津 方 部 セ ン タ ー	大熊町健康相談会	保健師、看護師、栄養士	12月1日	7	大熊町
363		大熊町健康相談会	看護師、栄養士、その他	12月1日	3	大熊町
364		檜葉町ふら〜っとルーム	保健師、看護師	12月2日	4	檜葉町
365		ぐっちーcafé(支援者支援)	保健師、看護師	12月3日	4	大熊町
366		大熊町LSAMT	看護師、保健師、その他	12月3日	10	大熊町
367		大熊町健康相談会	保健師、看護師、栄養士、その他	12月4日	11	大熊町
368		大熊町健康相談会	保健師、社会福祉士、栄養士、その他	12月4日	5	大熊町
369		避難者健康相談会(そうそう絆サロン)	保健師、看護師、社会福祉士、栄養士、作業療法士	12月9日	5	富岡町
370		ぐっちーcafé(支援者支援)	看護師、社会福祉士、栄養士	12月10日	5	大熊町
371		大熊町城前仮設ふら〜っとルーム	社会福祉士	12月11日	2	大熊町
372		メンズクラブ	保健師、看護師、社会福祉士	12月11日	9	大熊町
373		大熊町ふら〜っとルーム	看護師	12月15日	2	大熊町
374		ぐっちーcafé(支援者支援)	社会福祉士	12月17日	3	大熊町
375		第2回大熊町虐待防止対策連絡協議会	医師、社会福祉士、保健師、児童福祉司、教師、その他	12月18日	13	大熊町
376		大熊町障がい者支援事業所会議	保健師、社会福祉士、その他	12月24日	5	大熊町
377		ぐっちーcafé(支援者支援)	看護師	12月24日	3	大熊町
378		避難者健康相談会(そうそう絆サロン)	保健師、社会福祉士、栄養士	12月25日	9	富岡町
379		大熊町健康相談会	保健師、栄養士、その他	12月25日	3	大熊町
380		大熊町健康相談会	保健師、看護師、栄養士、その他	12月25日	13	大熊町
381		大熊町LSAMT	社会福祉士、保健師、ケアマネージャー、その他	1月7日	9	大熊町
382		ぐっちーcafé(支援者支援)	看護師	1月7日	8	大熊町
383		避難者健康相談会(そうそう絆サロン)	保健師、看護師、社会福祉士、栄養士	1月13日	3	富岡町
384		ぐっちーcafé(支援者支援)	看護師、栄養士、社会福祉士	1月14日	6	大熊町
385		檜葉町ふら〜っとルーム	看護師	1月15日	3	檜葉町
386		檜葉町ケア会議	看護師、その他	1月16日	16	檜葉町
387		大熊町ふら〜っとルーム	看護師	1月17日	1	大熊町
388		ぐっちーcafé(支援者支援)	社会福祉士	1月21日	5	大熊町
389		避難者健康相談会(そうそう絆サロン)	保健師、看護師、社会福祉士、栄養士	1月26日	23	富岡町
390		大熊町障がい者支援事業所会議	保健師、社会福祉士、その他	1月28日	6	大熊町
391		ぐっちーcafé(支援者支援)	看護師、社会福祉士	1月28日	1	大熊町
392		大熊町ふら〜っとルーム	社会福祉士	2月2日	1	大熊町
393		檜葉町ふら〜っとルーム	社会福祉士	2月3日	3	檜葉町
394		大熊町LSAMT	社会福祉士、保健師、ケアマネージャー、その他	2月4日	6	大熊町
395		ぐっちーcafé(支援者支援)	社会福祉士	2月4日	3	大熊町
396		大熊町健康相談会(みどり仮設)	看護師	2月5日	9	大熊町
397		大熊町健康相談会(城前仮設)	保健師、看護師、栄養士	2月5日	3	大熊町
398		大熊町健康相談会(扇町5号仮設)	保健師、看護師、栄養士	2月9日	4	大熊町
399		避難者健康相談会(そうそう絆サロン)	看護師、社会福祉士、栄養士	2月10日	3	富岡町
400		城前ふら〜っとルーム	社会福祉士	2月12日	1	大熊町
401		大熊町健康相談会(城北仮設)	保健師、看護師、栄養士	2月16日	5	大熊町
402		ぐっちーcafé(支援者支援)	看護師	2月18日	1	大熊町
403		ちよいのびタイム	作業療法士、社会福祉士	2月18日	6	檜葉町
404		檜葉町ケア会議	看護師、その他	2月20日	12	檜葉町
405		K氏事例検討後の各機関の動きに関する打合せ	保健師、看護師、その他	2月20日	6	檜葉町
406		ちよいのびタイム	作業療法士、社会福祉士	2月25日	8	檜葉町
407		ぐっちーcafé(支援者支援)	看護師、社会福祉士	2月25日	1	大熊町

	開催方 部 駐在	内容	講師・スタッフ	期日	参加 人数	備考
408	会津 方 部 セ ン タ ー	避難者健康相談会(そうそう絆サロン)	保健師、看護師、社会福祉士、栄養士	2月26日	7	富岡町
409		大熊町健康相談会(松長5号仮設)	保健師、看護師、栄養士	2月26日	3	大熊町
410		大熊町健康相談会(長原仮設)	保健師、看護師、栄養士	2月26日	2	大熊町
411		大熊町健康相談会(扇町1号仮設)	保健師、看護師、栄養士	3月2日	4	大熊町
412		檜葉町ふら〜っとルーム	看護師、社会福祉士、その他	3月3日	6	檜葉町
413		大熊町LSAMT	社会福祉士、保健師、ケアマネージャー、その他	3月4日	6	大熊町
414		ぐっち-café(支援者支援)	社会福祉士	3月4日	3	大熊町
415		避難者健康相談会担当者会議	看護師、社会福祉士、栄養士	3月9日	10	富岡町、双葉町、飯館村
416		ぐっち-café(支援者支援)	看護師、社会福祉士	3月11日	4	大熊町
417		城前ふら〜っとルーム	社会福祉士	3月12日	6	大熊町
418		ふら〜っとルーム(結)	社会福祉士	3月17日	6	大熊町
419		ぐっち-café(支援者支援)	看護師、社会福祉士	3月18日	2	大熊町
420		ぐっち-café(支援者支援)	看護師、社会福祉士	3月25日	2	大熊町
421		大熊町障がい者支援事業所会議	保健師、社会福祉士、看護師、その他	3月25日	6	大熊町
422		避難者健康相談会(そうそう絆サロン)	保健師、看護師、社会福祉士、栄養士	3月26日	5	富岡町
423	相馬 方 部 セ ン タ ー	なかよし広場、母子への支援	作業療法士、保育士	6月3日	56	南相馬市
424		原町保健センターへのコンサルテーション	臨床心理士	6月3日	1	南相馬市
425		原町保健センターへのコンサルテーション	臨床心理士	6月5日	1	南相馬市
426		幼稚園教諭巡回相談支援	作業療法士	6月5日	5	八沢幼稚園
427		リミック教室	臨床心理士、作業療法士	6月6日	18	南相馬市鹿島保健センター
428		なみえ相双会	臨床心理士、作業療法士	6月7日	19	原町生涯学習センター
429		保育士巡回相談支援	作業療法士	6月10日	4	上真野幼稚園
430		ケア会議	看護師、精神保健福祉士	6月11日	3	南相馬市
431		保健師への指導	作業療法士	6月11日	6	南相馬市
432		1・6歳児健診	作業療法士	6月11日	18	南相馬市鹿島保健センター
433		ケア会議	臨床心理士、保健師	6月11日	2	南相馬市鹿島区役所
434		八方内仮設住宅でのサロン	看護師	6月12日	5	南相馬市
435		3歳児健診	作業療法士	6月12日	34	南相馬市鹿島保健センター
436		ぼにたん広場 母子への支援	作業療法士、保育士、医師	6月13日	34	南相馬市鹿島保健センター
437		ケア会議	看護師	6月17日	1	障がい者就業・生活支援センター
438		ケア会議	看護師、その他	6月19日	10	新地町
439		キッチンママ	作業療法士	6月23日	17	南相馬市鹿島保健センター
440		なかよし広場、母子への支援	作業療法士、保育士	6月24日	78	南相馬市鹿島保健センター
441		大野台第6仮設住宅支援者会議	精神保健福祉士、その他	6月24日	不明	飯館村
442		北飯淵仮設住宅支援者会議	看護師、作業療法士	6月26日	不明	相馬市北飯淵仮設住宅
443		保育士巡回相談支援	作業療法士	6月26日	4	高平幼稚園
444		なかよし広場、母子への支援	作業療法士、保育士、その他	7月1日	62	南相馬市
445		かしまに集まった会	社会福祉士、作業療法士	7月1日	11	南相馬市
446		すこやか教室	作業療法士	7月2日	18	南相馬市原町保健センター
447		サロン いちにのさ〜んぼ	保健師、社会福祉士	7月3日	11	太田生涯学習センター
448		保育士巡回相談支援	作業療法士	7月3日	4	上真野幼稚園
449		4ヶ月健診	作業療法士	7月3日	20	南相馬市鹿島保健センター
450		すくすく教室	作業療法士	7月4日	6	南相馬市鹿島保健センター
451		10ヶ月健診	作業療法士	7月4日	36	南相馬市鹿島保健センター
452		リミック教室	保育士	7月4日	8	南相馬市原町保健センター
453	保育士巡回相談支援	作業療法士	7月8日	8	北町保育所	
454	サロン いちにのさ〜んぼ	保健師、社会福祉士	7月9日	15	ひばり生涯学習センター	
455	ぼにたん広場 母子への支援	作業療法士、保育士	7月10日	35	南相馬市鹿島保健センター	
456	保育士巡回相談支援	作業療法士	7月10日	2	かしま幼稚園	

心のケアセンター活動記録誌

	開催方・ 駐在	内容	講師・スタッフ	期日	回数	備考
457	相馬 方部 セン ター	サロン いちにのさ〜んぼ	社会福祉士	7月10日	21	ひかし生涯学習センター
458		サロン いちにのさ〜んぼ	作業療法士	7月11日	20	南相馬市
459		大野台第6仮設住宅支援者会議	看護師、作業療法士、医師	7月14日	不明	飯館村
460		支援者支援	医師	7月14日	13	サポートセンターぴあ
461		サロン いちにのさ〜んぼ	作業療法士	7月16日	8	南相馬市
462		キッチンママ	保育士	7月18日	13	南相馬市鹿島保健センター
463		4ヶ月健診	作業療法士	7月22日	44	南相馬市原町保健センター
464		1・6歳児健診	作業療法士	7月26日	24	南相馬市原町保健センター
465		新地町支援者会議	臨床心理士、看護師	7月24日	不明	新地町
466		八方内仮設住宅でのサロン	看護師、社会福祉士	7月24日	3	南相馬市
467		サロン いちにのさ〜んぼ	社会福祉士	7月24日	7	南相馬市
468		3歳児健診	作業療法士、看護師	7月24日	24	南相馬市原町保健センター
469		3B親子体操	作業療法士	7月28日	19	南相馬市原町保健センター
470		サロン いちにのさ〜んぼ	社会福祉士	7月28日	6	南相馬市
471		サロン いちにのさ〜んぼ	作業療法士	7月29日	17	南相馬市
472		北飯淵仮設住宅支援者会議	看護師、作業療法士	7月31日	不明	相馬市北飯淵仮設住宅
473		フォローワーチームとの情報交換	看護師、作業療法士	7月31日	不明	LVMH子どもアート・メゾン
474		なかよし広場、母子への支援	作業療法士、保育士	8月5日	59	南相馬市鹿島保健センター
475		1・6歳児健診	作業療法士	8月6日	14	南相馬市鹿島保健センター
476		3歳児健診	作業療法士	8月7日	19	南相馬市鹿島保健センター
477		相馬市大野台第6仮設住宅支援者会議	看護師、その他	8月12日	7	飯館村
478		なかよし広場、母子への支援	作業療法士、保育士、臨床心理士	8月12日	71	南相馬市原町保健センター
479		かしまに集まった会	保健師、社会福祉士	8月12日	9	南相馬市
480		キッチンママ	保育士	8月13日	13	南相馬市原町保健センター
481		4ヶ月健診	作業療法士	8月19日	24	南相馬市
482		1・6歳児健診	作業療法士	8月20日	15	南相馬市原町保健センター
483		3歳児健診	作業療法士	8月21日	15	南相馬市原町保健センター
484		双葉町保健福祉実務者連絡会	看護師、作業療法士、その他	8月22日	3	双葉町
485		すくすく教室	作業療法士	8月22日	11	南相馬市原町保健センター
486		10ヶ月健診	作業療法士	8月22日	19	南相馬市原町保健センター
487		相馬市北飯淵仮設住宅支援者会議	作業療法士	8月28日	2	相馬市
488		ぼにたん広場 母子への支援	看護師、保育士	8月30日	35	南相馬市
489		相馬市大野台第6仮設住宅(飯館村)支援者会議	医師、作業療法士	9月2日	3	飯館村
490		南相馬市母子愛育会への講師派遣	保育士、その他	9月2日	16	南相馬市
491		ケア会議	保健師、臨床心理士	9月4日	3	雲雀ヶ丘病院
492		なみえ相双会	保健師、作業療法士	9月6日	54	浪江町
493		断酒会	看護師	9月6日	5	原町区労働福祉会館
494		南相馬市西町第一仮設住宅健康講話	社会福祉士	9月8日	15	南相馬市
495		南相馬市牛河内第一仮設住宅健康講話	看護師	9月8日	5	南相馬市
496		なかよし広場	作業療法士、保育士、その他	9月9日	84	南相馬市原町保健センター
497		南相馬市寺内第一仮設住宅健康講話	社会福祉士	9月9日	13	南相馬市
498		南相馬市西町第一仮設住宅健康講話	看護師	9月9日	3	南相馬市
499		ケア会議	作業療法士	9月10日	3	相馬中央病院
500		南相馬市角河原仮設住宅健康講話	看護師	9月10日	9	南相馬市
501		南相馬市小池長沼西仮設住宅健康講話	社会福祉士	9月10日	6	南相馬市

	開催方 部 駐在	内容	講師・スタッフ	期日	参 加 数	備考
502	相馬 方 部 セ ン タ ー	南相馬市八方内仮設住宅サロン	看護師、作業療法士	9月11日	7	南相馬市
503		南相馬市雇用促進住宅健康講話	看護師	9月11日	6	南相馬市
504		南相馬市小池第一仮設住宅健康講話	社会福祉士	9月11日	6	南相馬市
505		リミック教室	保育士	9月12日	4	南相馬市原町保健センター
506		南相馬市原畑仮設住宅健康講話	看護師	9月12日	4	南相馬市
507		南相馬市牛河内仮設住宅健康講話	社会福祉士	9月12日	6	南相馬市
508		4ヶ月健診	保育士	9月16日	30	南相馬市
509		ふくしま就職応援センターコンサルテーション	保健師、保育士	9月17日	1	ふくしま就職応援センター
510		ゆうゆうクラブ地域ミーティング	保育士	9月18日	20	相馬市 ゆうゆうクラブ
511		10ヶ月健診	保育士	9月19日	27	南相馬市原町保健センター
512		ケア会議	保健師、看護師、社会福祉士、医師	9月19日	7	地域包括支援センター
513		南相馬市西町第一仮設住宅健康講話	社会福祉士	9月22日	7	南相馬市
514		南相馬市寺内塚合第一仮設住宅健康講話	看護師	9月22日	6	南相馬市
515		相馬市北飯淵仮設住宅支援者会議	作業療法士、その他	9月25日	7	南相馬市
516		ぼにたん広場	作業療法士、保育士	9月25日	30	南相馬市鹿島保健センター
517		南相馬市八方内仮設住宅サロン	臨床心理士、社会福祉士	9月25日	7	南相馬市
518		南相馬市小池第三仮設住宅健康講話	看護師	9月25日	3	南相馬市
519		南相馬市寺内塚合第二仮設住宅健康講話	臨床心理士、社会福祉士	9月25日	18	南相馬市
520		南相馬市健康福祉祭りについての会議	保健師	9月25日	19	南相馬市
521		南相馬市小池長沼東仮設住宅健康講話	保健師、看護師、保育士	9月26日	6	南相馬市
522		ハローワーク支援者会議	保健師、看護師、保育士	9月26日	4	南相馬市
523		南相馬市友伸グラウンド仮設住宅健康講話	看護師	9月26日	14	南相馬市
524		放射線健康講演会における保育	保育士	9月29日	9	南相馬市原町保健センター
525		なかよし広場	作業療法士、保育士	9月30日	72	南相馬市鹿島保健センター
526		児童の発達支援に関わる情報交換会	臨床心理士、保健師	9月30日	16	南相馬ラーニングセンター
527		南相馬市母子健康推進員養成講座	保育士、その他	10月1日	7	南相馬市
528		ぼにたん広場	作業療法士、保育士	10月2日	46	飯館村
529		新地町支援者会議	作業療法士	10月2日	—	新地町
530		キッチンママ後期	保育士	10月3日	7	南相馬市鹿島保健センター
531		なみえ相双会	保健師	10月4日	60	浪江町
532		かしまに集まっ会	保健師、社会福祉士、保育士	10月6日	10	南相馬市鹿島保健センター
533	借上げ住宅ケースカンファレンス	社会福祉士	10月6日	—	南相馬市鹿島保健センター	
534	なかよし広場	作業療法士、保育士	10月7日	77	南相馬市原町保健センター	
535	南相馬市牛越仮設住宅健康講話	看護師、保育士	10月8日	10	南相馬市	
536	南相馬市権現沢仮設住宅健康講話	保健師、看護師、社会福祉士	10月8日	7	南相馬市	
537	放射線講演会・座談会及び放射線測定相談会での子育て相談、託児	保育士	10月8日	7	南相馬市原町保健センター	
538	南相馬市八方内仮設住宅サロン	臨床心理士、社会福祉士、保育士	10月9日	8	南相馬市	
539	南相馬市小池長沼西仮設住宅健康講話	社会福祉士	10月9日	6	南相馬市	
540	南相馬市牛河内仮設住宅健康講話	臨床心理士、社会福祉士	10月9日	4	南相馬市	
541	3歳児健診	保育士	10月9日	14	南相馬市鹿島保健センター	

心のケアセンター活動記録誌

	開催方 部 駐在	内容	講師・スタッフ	期日	参 加 数	備考
542	相馬 方 部 セ ン タ ー	南相馬市小池小草仮設住宅健康講話	社会福祉士、保育士	10月10日	14	南相馬市
543		南相馬市原畑第二仮設住宅健康講話	社会福祉士	10月10日	4	南相馬市
544		南相馬市西町公園仮設住宅健康講話	社会福祉士	10月14日	6	南相馬市
545		南相馬市寺内第二仮設住宅健康講話	社会福祉士	10月14日	11	南相馬市
546		4ヶ月健診	保育士	10月14日	19	南相馬市原町保健センター
547		1歳6ヶ月健診	保育士	10月15日	17	南相馬市原町保健センター
548		3ヶ月健診	保育士	10月16日	12	南相馬市原町保健センター
549		ゆうゆうクラブ地域ミーティング	保健師	10月16日	14	相馬市 ゆうゆうクラブ
550		10ヶ月健診	保育士	10月17日	24	南相馬市原町保健センター
551		なかよし広場	作業療法士、保育士	10月21日	35	南相馬市鹿島保健センター
552		相馬市大野台第6(飯館村)支援者会議	保健師、作業療法士、医師	10月21日	—	飯館村
553		借上げ住宅住民への健康講話	看護師、保育士	10月22日	37	南相馬市
554		南相馬市牛河内第2仮設住宅健康講話	社会福祉士	10月22日	15	南相馬市
555		南相馬市小池第3仮設住宅健康講話	社会福祉士	10月22日	17	南相馬市
556		南相馬市八方内仮設住宅サロン	社会福祉士、保育士	10月23日	5	南相馬市
557		南相馬市高見第1仮設住宅健康講話	看護師	10月23日	15	南相馬市
558		南相馬市大鹿仮設住宅健康講話	看護師	10月23日	15	南相馬市
559		南相馬市桜井町仮設住宅健康講話	看護師	10月24日	7	南相馬市鹿島保健センター
560		南相馬市高見第2仮設住宅健康講話	社会福祉士、保育士	10月28日	7	南相馬市
561		南相馬市牛河内第2仮設住宅健康講話	看護師	10月28日	9	南相馬市
562		相馬市北飯淵仮設住宅支援者会議	看護師、作業療法士	10月30日	—	相馬市
563		双葉町支援者会議	臨床心理士、作業療法士、医師	10月31日	—	双葉町
564		リミック教室	保育士	10月31日	9	南相馬市原町保健センター
565		なかよし広場	作業療法士、保育士	11月4日	72	南相馬市原町保健センター
566		4歳児健診	保育士	11月6日	13	南相馬市原町保健センター
567		10ヶ月健診	保育士	11月7日	21	南相馬市鹿島保健センター
568		リフレッシュマクラス	保育士	11月10日	20	南相馬市原町保健センター
569		かしまに集まっ会	社会福祉士	11月10日	12	南相馬市鹿島保健センター
570		健康講話 むつみ荘	社会福祉士	11月10日	11	
571		相馬市大野台第6仮設住宅飯館村支援者会議	看護師、作業療法士、医師	11月11日	12	飯館村
572		ケア会議	看護師	11月11日	15	新地町
573		キッチンママ	保育士	11月12日	6	南相馬市鹿島保健センター
574		ぼにたん広場	作業療法士、保育士	11月13日	31	飯館村
575		南相馬市八方内仮設住宅サロン	社会福祉士、臨床心理士、保健師、看護師	11月13日	6	南相馬市
576	リミック教室	保育士	11月14日	13	南相馬市原町保健センター	
577	ケア会議	保健師、医師	11月14日	1		
578	リフレッシュマクラス	保育士	11月17日	20	南相馬市原町保健センター	
579	4ヶ月健診	保育士	11月18日	28	南相馬市原町保健センター	
580	1歳6ヶ月健診	保育士	11月19日	17	南相馬市原町保健センター	
581	相馬市災害弱者支援及びPTSD対策情報交換会	作業療法士	11月20日	—	相馬市 支援者会議	
582	ゆうゆうクラブ地域ミーティング	保健師、看護師、保育士	11月20日	22	相馬市 ゆうゆうクラブ	
583	3歳児健診	保育士	11月20日	15	南相馬市原町保健センター	
584	かしまに集まっ会	保健師、社会福祉士	11月20日	2	南相馬市原町保健センター	

	開催方 部 駐在	内容	講師・スタッフ	期日	参 観 数	備考
585	相馬 方 部 セ ン タ ー	10ヶ月健診	保育士	11月21日	13	南相馬市原町保健センター
586		なかよし広場	作業療法士、保育士	11月25日	29	南相馬市鹿島保健センター
587		相馬市北飯淵仮設住宅支援者会議	臨床心理士、作業療法士	11月27日	14	相馬市
588		南相馬市八方内仮設住宅サロン	看護師、保育士	11月27日	6	南相馬市
589		大熊町こころの元気を育てる講座「懐かしい料理であつまっぺ」	保健師、看護師	11月27日	21	大熊町
590		かしまに集まっ会	社会福祉士、保育士	12月1日	7	南相馬市鹿島保健センター
591		なかよし広場	作業療法士、保育士	12月2日	37	南相馬市原町保健センター
592		もりあげ隊定例会研修会講師	臨床心理士、社会福祉士	12月5日	28	南相馬市鹿島保健センター
593		キッチンママ	保育士	12月8日	6	南相馬市鹿島保健センター
594		なかよし広場	作業療法士、保育士	12月9日	29	南相馬市鹿島保健センター
595		相馬市大野台第6仮設住宅飯館村支援者会	看護師、作業療法士、医師	12月9日	—	飯館村
596		1歳6ヶ月健診	保育士	12月10日	14	南相馬市鹿島保健センター
597		南相馬市八方内仮設住宅サロン	臨床心理士、社会福祉士	12月11日	6	南相馬市
598		3歳児健診	作業療法士、保育士	12月11日	15	南相馬市鹿島保健センター
599		リズム教室	保育士	12月12日	11	南相馬市原町保健センター
600		双葉町支援者会議	臨床心理士、保健師	12月12日	6	双葉町
601		1歳6ヶ月健診	保育士	12月17日	18	南相馬市原町保健センター
602		相馬市大野台第6仮設住宅子育てサロン	看護師、作業療法士、その他	12月18日	14	飯館村
603		3歳児健診	保育士	12月18日	11	南相馬市原町保健センター
604		10ヶ月健診	保育士	12月19日	15	南相馬市原町保健センター
605		相馬市北飯淵仮設住宅支援者会議	臨床心理士、看護師、その他	12月25日	—	相馬市
606		南相馬市八方内仮設住宅サロン	臨床心理士、保健師、看護師、社会福祉士、保育士、その他	12月25日	6	相馬市
607		南相馬市健康づくり課職員ストレス対処法講座	臨床心理士、保健師、社会福祉士、保育士	12月26日	11	南相馬市
608		なかよし広場	作業療法士、保育士	1月6日	37	南相馬市原町保健センター
609		かしまに集まっ会	保健師、社会福祉士、保育士	1月7日	5	南相馬市鹿島保健センター
610		新地町支援者会議	看護師、作業療法士	1月8日	2	新地町保健センター
611		南相馬市八方内仮設住宅サロン	臨床心理士、社会福祉士、保健師、保育士	1月8日	9	南相馬市
612	4ヶ月健診	保育士	1月8日	17	南相馬市鹿島保健センター	
613	サロン いちにのさ〜んぼ	看護師	1月8日	27	南相馬市ひがし生涯学習センター	
614	10ヶ月健診	保育士	1月9日	13	南相馬市鹿島保健センター	
615	健康福祉まつり実行委員会会議	保健師	1月13日	12	南相馬市	
616	ケア会議	保健師、社会福祉士	1月14日	—	南相馬市	
617	ぼにたん広場	看護師、作業療法士、保育士	1月15日	18	飯館村	
618	サロン いちにのさ〜んぼ	社会福祉士	1月16日	18	南相馬市ひばり生涯学習センター	
619	相馬市大野台第6仮設住宅(飯館村)支援者会議	作業療法士、看護師、医師	1月20日	—	仮設住宅集会場にて	
620	サロン いちにのさ〜んぼ	看護師	1月21日	6	南相馬市高平生涯学習センター	
621	1歳6ヶ月健診	保育士	1月21日	9	南相馬市原町保健センター	
622	相馬市大野台第6仮設住宅子育てサロン	看護師、作業療法士	1月22日	9	飯館村	
623	10ヶ月健診	保育士	1月23日	15	南相馬市原町保健センター	
624	サロン いちにのさ〜んぼ	保育士	1月26日	12	南相馬市石神生涯学習センター	
625	サロン いちにのさ〜んぼ	臨床心理士、看護師	1月27日	15	南相馬市原町区福祉会館	
626	なかよし広場	保育士	1月27日	22	南相馬市鹿島保健センター	
627	就労支援交流会	保健師、看護師、精神保健福祉士、その他	1月27日	—	南相馬市情報交流センター	

心のケアセンター活動記録誌

	開催方・ 駐在	内容	講師・スタッフ	期日	参加 人数	備考
628	相馬 方 部 セ ン タ ー	相馬市北飯淵仮設住宅支援者 会議	看護師、作業療法士	1月29日	—	相馬市
629		サロン いちにのさ～んぼ	保健師	1月29日	5	南相馬市
630		南相馬市西町第一仮設住宅ケ ースカンファレンス	看護師	1月29日	7	南相馬市
631		南相馬市西町第二仮設住宅ケ ースカンファレンス	看護師	1月29日	7	南相馬市
632		リミック教室	保育士、看護師	1月30日	12	南相馬市
633		かしまに集まっ会	保健師、社会福祉士、保育士	2月2日	11	南相馬市鹿島保健センター
634		南相馬市長沢西仮設住宅ケ ースカンファ	看護師	2月2日	8	南相馬市
635		南相馬市権現沢仮設住宅ケ ースカンファ	看護師	2月2日	8	南相馬市
636		南相馬市塚合仮設住宅ケ ースカンファ	看護師	2月3日	8	南相馬市
637		南相馬市牛河内仮設住宅ケ ースカンファ	社会福祉士	2月3日	10	南相馬市
638		なかよし広場	作業療法士、保育士	2月3日	35	南相馬市鹿島保健センター
639		ケア会議 本人出席 自宅にて	看護師、作業療法士、その他	2月4日	5	
640		南相馬市小池仮設住宅ケ ースカンファ	社会福祉士	2月4日	10	南相馬市
641		南相馬市原畑仮設住宅ケ ースカンファ	看護師	2月4日	10	南相馬市
642		南相馬市寺内仮設住宅ケ ースカンファ	社会福祉士	2月5日	10	南相馬市
643		なみえ相双会	看護師	2月7日	32	浪江町
644		南相馬市牛越仮設住宅ケ ースカンファ	社会福祉士	2月9日	11	南相馬市
645		相馬市大野台第6仮設住宅支 援者会議	作業療法士、医師	2月10日	—	飯館村
646		ぼにたん広場	保育士	2月10日	21	飯館村
647		ケア会議 雲雀ヶ丘病院にて	社会福祉士、その他	2月10日	9	南相馬市
648		南相馬市八方内仮設住宅サ ロン	保健師、臨床心理士、社会福祉士、保育 士	2月12日	4	南相馬市
649		1歳6ヶ月健診	保育士	2月12日	14	南相馬市鹿島保健センター
650		3歳児健診	保育士	2月13日	18	南相馬市鹿島保健センター
651		ケア会議 なごみ南相馬事務 所にて	保健師、看護師、臨床心理士、社会福祉 士、保育士、医師、その他	2月13日	10	南相馬市
652		ケア会議	看護師、その他	2月16日	11	新地町
653		南相馬市友伸仮設住宅ケ ースカンファ	看護師	2月16日	9	南相馬市
654		南相馬市原町第一仮設住宅 ケースカンファ	社会福祉士	2月16日	10	南相馬市
655		南相馬市塚合第二仮設住宅 ケースカンファ	臨床心理士、社会福祉士	2月17日	9	南相馬市
656		4ヶ月健診	保育士	2月17日	17	南相馬市原町保健センター
657		1歳6ヶ月健診	保育士	2月18日	15	南相馬市鹿島保健センター
658		大野台第6仮設住宅子育てサ ロン	看護師、臨床心理士、作業療法士	2月19日	6	飯館村
659		3歳児健診	保育士	2月19日	18	南相馬市鹿島保健センター
660		10ヶ月健診	保育士	2月20日	27	南相馬市原町保健センター
661		ケア会議	保健師、医師、教師、児相職員	2月20日	7	原町第二中
662		なかよし広場	作業療法士、保育士	2月24日	22	南相馬市鹿島保健センター
663		相馬市保健センターとの同行訪 問	作業療法士	2月26日	1	相馬市
664	新地町健康づくり推進委員 会講演会	看護師、作業療法士、その他	2月26日	43	新地町	
665	相馬市北飯淵仮設住宅支 援者会議	看護師、作業療法士、その他	2月26日	—	相馬市	
666	南相馬市八方内仮設住宅サ ロン	保健師、臨床心理士、社会福祉士、保育 士	2月26日	9	南相馬市	

	開催方 部 駐在	内容	講師・スタッフ	期日	参 加 者 数	備考
667	相馬 方 部 セ ン タ ー	双葉町支援者会議	看護師、臨床心理士	2月27日	10	双葉町
668		リミック教室	保育士	2月27日	13	南相馬市鹿島保健センター
669		南相馬市被災者健康支援連絡会 (アルコール勉強会)	保健師、看護師、保育士	3月2日	40	南相馬市
670		なかよし広場	作業療法士、保育士	3月3日	41	南相馬市原町保健センター
671		ケア会議	保健師、看護師、精神保健福祉士	3月4日	8	
672		4ヶ月健診	保育士	3月5日	20	南相馬市鹿島保健センター
673		ケア会議	臨床心理士	3月5日	3	
674		10ヶ月健診	保育士	3月6日	12	南相馬市鹿島保健センター
675		かしまに集まっ会	保育士、その他	3月9日	12	南相馬市鹿島保健センター
676		なかよし広場	作業療法士、保育士	3月10日	57	南相馬市鹿島保健センター
677		相馬市大野台第6仮設住宅支援 者会議	看護師、医師	3月10日	—	相馬市
678		南相馬市八方内サロン仮設住宅	保健師、社会福祉士、保育士、その他	3月12日	16	南相馬市
679		リミック教室	保育士	3月13日	20	南相馬市鹿島保健センター
680		4ヶ月健診	保育士	3月17日	22	南相馬市原町保健センター
681		1歳6ヶ月健診	保育士	3月18日	30	南相馬市原町保健センター
682		相馬市大野台第6仮設住宅子育 てサロン	作業療法士、保育士	3月19日	6	相馬市
683		3歳児健診	保育士	3月19日	16	南相馬市原町保健センター
684		10ヶ月健診	保育士	3月20日	23	南相馬市原町保健センター
685		相馬市北飯淵仮設住宅支援者 会議	看護師、作業療法士、その他	3月26日	3	相馬市
686		南相馬市八方内サロン仮設住宅	保健師、臨床心理士、社会福祉士、保育 士、その他	3月26日	13	南相馬市
687	リミック教室	作業療法士、保育士	3月27日	48	南相馬市原町保健センター	
688	い わ き 方 部 セ ン タ ー	役場支援	臨床心理士	4月1日	4	楯葉町役場いわき出張所
689		広野町全職員面接報告会につ いての打合せ	臨床心理士	4月7日	6	広野町
690		楯葉町ケア会議	看護師、精神保健福祉士	4月10日	12	楯葉町
691		今後の連携について	臨床心理士	4月10日	4	いわき市保健所
692		広野町全職員面接報告会	臨床心理士	4月10日	6	広野町
693		双葉町保健福祉実務者連絡会	臨床心理士、看護師	4月17日	14	双葉町
694		大熊町いわき福祉行政情報交換 会	臨床心理士、看護師	4月17日	12	大熊町役場いわき出張所
695		浪江町親子ふれあい教室	看護師、精神保健福祉士	4月17日	21	浪江町
696		楯葉町ケア会議	臨床心理士	4月24日	13	楯葉町
697		双葉町全職員面談実施に関する 打合せ	臨床心理士	4月24日	7	双葉町
698		双葉町・県民健康管理センターと の合同打合せ	臨床心理士、看護師	4月24日	14	双葉町
699		双葉町自殺防止事業打合せ	臨床心理士	4月28日	4	双葉町
700		双葉町支援者支援打合せ	臨床心理士	5月2日	3	双葉町
701		双葉町職員面談打合せ	臨床心理士	5月13日	4	双葉町
702		楯葉町ケア会議	臨床心理士、看護師	5月15日	13	楯葉町
703	双葉町自殺防止事業打合せ	臨床心理士	5月15日	2	双葉町	
704	浪江町親子ふれあい教室	臨床心理士、看護師、精神保健福祉士	5月15日	37	いわき市文化センター	
705	双葉町自殺防止事業打合せ	臨床心理士、看護師	5月15日	3	双葉町	
706	一般向け研修打合せ	看護師、社会福祉士、精神保健福祉士	5月21日	4	いわき市保健所	
707	いわき市自立支援協議会児童養 護部会	社会福祉士、精神保健福祉士	5月21日	21	いわき市	
708	楯葉町ケア会議	臨床心理士、看護師	5月22日	15	楯葉町	
709	広野町食生活改善協議会の訪 問活動	臨床心理士、社会福祉士	5月28日	5	広野町保健センター	
710	双葉町保健福祉実務者連絡会	臨床心理士	5月28日	12	双葉町	
711	双葉町事業支援打合せ	臨床心理士、看護師	6月4日	4	双葉町	
712	双葉町職員面談打合せ	臨床心理士	6月5日	5	双葉町	
713	県民健康調査について	臨床心理士	6月6日	4	楯葉町・県民健康管理セ ンターとの合同打合せ	

心のケアセンター活動記録誌

	開催方・ 駐在	内容	講師・スタッフ	期日	参加 者数	備考
714	いわき 方 部 セ ン タ ー	広野町職員メンタルヘルスに関するコンサルテーション	臨床心理士	6月6日	6	広野町
715		浪江町ケース会議	臨床心理士	6月11日	6	浪江町
716		楢葉町ケア会議	臨床心理士、看護師	6月12日	11	楢葉町
717		双葉町保健福祉実務者連絡会	臨床心理士	6月18日	8	双葉町
718		大熊町いわき福祉行政情報交換会	臨床心理士、看護師	6月19日	13	大熊町役場いわき出張所
719		浪江町親子ふれあい教室	臨床心理士、看護師、精神保健福祉士	6月19日	36	浪江町
720		楢葉町ケア会議	臨床心理士、看護師	6月26日	11	楢葉町
721		楢葉町ケア会議	臨床心理士、看護師	7月3日	13	楢葉町
722		職員メンタルヘルス面談についての打ち合わせ	臨床心理士	7月4日	3	双葉町
723		広野町 事後フォロー 打ち合わせ	臨床心理士	7月5日	5	広野町
724		浪江町ぐるりんこ支援、6月分ケース報告	臨床心理士、看護師、精神保健福祉士	7月8日	6	浪江町
725		今後の連携とケース対応について	臨床心理士	7月10日	2	広野町
726		いわき市住民支援について	臨床心理士、看護師、精神保健福祉士	7月14日	4	いわき市保健所
727		情報交換	社会福祉士、精神保健福祉士	7月14日	6	いわき市常磐・遠野地区保健福祉センター
728		事業内容確認と、今後の連携について	臨床心理士、看護師、精神保健福祉士	7月15日	5	いわき市平地区保健福祉センター
729		内郷・好間・三和地区保健福祉センターとの情報交換	社会福祉士、精神保健福祉士	7月16日	3	いわき市内郷・好間・三和地区保健福祉センター
730		県民健康調査について	臨床心理士	7月17日	8	楢葉町・県民健康管理センターとの合同打合せ
731		双葉町保健福祉実務者連絡会	臨床心理士	7月17日	11	双葉町
732		いわき市平地区センター打ち合わせ	臨床心理士	7月17日	5	いわき市平地区保健福祉センター
733		なみえ町ぐるりんこ隊のメンタルヘルス	臨床心理士、看護師	7月29日	3	浪江町
734		なみえ町ぐるりんこ隊のメンタルヘルス	看護師、精神保健福祉士	7月30日	3	浪江町
735		浪江町親子ふれあい教室	臨床心理士、精神保健福祉士、保健師、保育士、社会福祉士	8月21日	30	いわき市文化センター
736		楢葉町ケア会議	看護師	9月5日	12	楢葉町
737		8月訪問分のケース報告他打ち合わせ	看護師、精神保健福祉士	9月9日	4	浪江町
738		浪江町親子ふれあい教室	看護師、精神保健福祉士	9月18日	25	いわき市文化センター
739		双葉町保健福祉実務者連絡会(第13回)	臨床心理士	9月26日	9	双葉町
740		楢葉町健診支援	臨床心理士	9月27日	—	楢葉町
741		楢葉町健診支援	臨床心理士	9月28日	—	楢葉町
742		楢葉町健診支援	臨床心理士	9月29日	4	楢葉町
743		楢葉町健診支援	臨床心理士	9月30日	—	楢葉町
744		楢葉町健康診断支援	臨床心理士	10月1日	—	楢葉町
745	楢葉町健康診断支援	保健師、臨床心理士、その他	10月2日	—	楢葉町	
746	大熊町9月分ケース報告	保健師、看護師	10月3日	2	大熊町	
747	楢葉町健康診断支援	保健師、看護師、臨床心理士、その他	10月10日	—	楢葉町	
748	楢葉町健康づくり推進協議会検討会	保健師、栄養士、歯科衛生士、その他	10月14日	14	楢葉町	
749	浪江町親子ふれあい教室	保健師、臨床心理士、精神保健福祉士、保育士	10月16日	11	浪江町	
750	大熊町健康診断打ち合わせ	保健師、看護師	10月20日	4	大熊町	
751	楢葉町元気あっぷ教室	保健師、看護師、精神保健福祉士、その他	10月20日	9	楢葉町	
752	楢葉町元気あっぷ教室	保健師、看護師、精神保健福祉士、その他	10月21日	12	楢葉町	
753	楢葉町元気あっぷ教室	保健師、看護師、精神保健福祉士、その他	10月22日	10	楢葉町	
754	楢葉町ケア会議	保健師、看護師、臨床心理士、その他	10月23日	12	楢葉町	

	開催方 部 駐在	内容	講師・スタッフ	期日	参 加 者 数	備考
755	いわき 方 部 セ ン タ ー	双葉町ママカフェ	保健師、看護師	10月23日	4	双葉町
756		榑葉町元気あっぷ教室	保健師、看護師、精神保健福祉士、その他	10月23日	16	榑葉町
757		榑葉町元気あっぷ教室	保健師、看護師、精神保健福祉士、その他	10月24日	8	榑葉町
758		榑葉町元気あっぷ教室	保健師、看護師、精神保健福祉士、その他	10月24日	15	榑葉町
759		双葉町健診打ち合わせ	保健師、臨床心理士	10月27日	2	双葉町
760		大熊町総合健診	看護師	10月28日	—	大熊町
761		大熊町総合健診	看護師	10月29日	—	大熊町
762		双葉町保健福祉実務者連絡会	保健師、看護師、臨床心理士、その他	10月30日	9	双葉町
763		大熊町総合健診	看護師	10月30日	—	大熊町
764		大熊町総合健診	看護師	10月31日	—	大熊町
765		榑葉町健康づくり推進協議会検討会	保健師、歯科衛生士、医師、臨床心理士、その他	11月5日	15	榑葉町
766		双葉町健診支援	保健師、臨床心理士、その他	11月11日	2	双葉町
767		相双地域子ども遊びの教室	保健師、臨床心理士、保育士	11月17日	8	双葉町、富岡町、浪江町
768		榑葉町元気あっぷ教室	保健師、看護師	11月17日	10	榑葉町
769		豊間復興住宅リラクゼーション	臨床心理士、看護師	11月19日	30	いわき市平地区保健福祉センター
770		榑葉町ケア会議	保健師、看護師、臨床心理士、その他	11月20日	7	榑葉町
771		大熊町いわき市内福祉行政の情報交換会	保健師、精神保健福祉士、臨床心理士、その他	11月20日	7	大熊町
772		浪江町ケース報告会	保健師、精神保健福祉士	11月20日	5	浪江町
773		浪江町親子ふれあい教室	保健師、臨床心理士、保育士、看護師、精神保健福祉士	11月20日	29	浪江町
774		富岡町ケース会議	保健師、看護師、精神保健福祉士、その他	11月21日	9	富岡町
775		薄磯復興住宅リラクゼーション	臨床心理士、看護師	11月26日	8	いわき市平地区保健福祉センター
776		双葉町保健福祉実務者連絡会	保健師、看護師、臨床心理士、その他	11月27日	9	双葉町
777		双葉町ママカフェ	保健師、看護師、精神保健福祉士、その他	11月27日	1	双葉町
778		榑葉町ケア会議	保健師、看護師、臨床心理士、その他	12月4日	13	榑葉町
779		双葉町職員メンタルヘルス対策についてのコンサルテーション	医師、臨床心理士、その他	12月9日	7	双葉町
780		双葉町支援者支援打ち合わせ	保健師、臨床心理士、精神保健福祉士、その他	12月10日	7	双葉町
781		第9回相双地域等障がい児者支援関係者会議	保健師、精神保健福祉士、社会福祉士、教諭、その他	12月15日	7	
782		豊間地区リラクゼーション	臨床心理士、看護師、精神保健福祉士	12月16日	17	いわき市平地区保健福祉センター
783		双葉町保健福祉実務者連絡会	保健師、看護師、臨床心理士、その他	12月16日	9	双葉町
784	榑葉町ケア会議	保健師、看護師、臨床心理士、その他	12月18日	11	榑葉町	
785	薄磯地区リラクゼーション	臨床心理士、看護師、社会福祉士	12月18日	10	いわき市平地区保健福祉センター	
786	浪江町親子ふれあい教室	保健師、臨床心理士、保育士、看護師、精神保健福祉士	12月18日	10	浪江町	
787	大熊町 健康サロン「リラクゼーション」	看護師	1月13日	11	大熊町	
788	大熊町 健康サロン「リラクゼーション」	看護師	1月15日	6	大熊町	
789	双葉町保健福祉実務者連絡会	保健師、看護師、臨床心理士、その他	1月15日	9	双葉町	
790	浪江町親子ふれあい教室	保健師、臨床心理士、保育士、看護師、精神保健福祉士	1月15日	9	浪江町	
791	大熊町 健康サロン「リラクゼーション」	看護師	1月16日	5	大熊町	
792	大熊町 健康サロン「リラクゼーション」	看護師	1月20日	9	大熊町	
793	榑葉町ケア会議	保健師、看護師、ケアマネージャー、その他	1月22日	15	榑葉町	
794	大熊町いわき福祉行政情報交換会(第5回)	保健師、看護師、臨床心理士、その他	1月22日	10	大熊町	

心のケアセンター活動記録誌

	開催方 部 駐在	内容	講師・スタッフ	期日	参 加 者 数	備考
795	いわき 方 部 セ ン タ ー	双葉町ママサロン	保健師、看護師、その他	1月22日	2	双葉町
796		大熊町 健康サロン「リラクゼーション」	看護師	1月27日	19	大熊町
797		大熊町 健康サロン「リラクゼーション」	看護師	1月28日	6	大熊町
798		富岡町ケース会議	保健師、看護師、精神保健福祉士、その他	1月30日	12	富岡町
799		楢葉町ケア会議	保健師、看護師、ケアマネージャー、その他	2月5日	19	楢葉町
800		楢葉町健康づくり推進協議会検討会	—	2月6日	13	楢葉町
801		薄磯地区リラクゼーション	臨床心理士、看護師	2月17日	13	いわき市平地区保健福祉センター
802		双葉町保健福祉実務者連絡会	保健師、看護師、その他	2月17日	9	双葉町
803		富岡町ケース会議	保健師、看護師、臨床心理士	2月18日	4	富岡町
804		浪江町親子ふれあい教室	保健師、臨床心理士、保育士、看護師、精神保健福祉士	2月19日	16	浪江町
805		ケース関係者会議	保健師、看護師、臨床心理士、その他	2月25日	6	広野町
806		ケース会議(広野町)	保健師、社会福祉士、教師、その他	2月25日	6	広野町
807		豊間地区リラクゼーション	臨床心理士、看護師、精神保健福祉士	2月26日	19	いわき市平地区保健福祉センター
808		楢葉町ケア会議	保健師、看護師、臨床心理士、その他	3月5日	9	楢葉町
809		双葉町保健福祉実務者連絡会	保健師、看護師、臨床心理士、その他	3月17日	9	双葉町
810		楢葉町ケア会議	保健師、看護師、臨床心理士、その他	3月19日	21	楢葉町
811		大熊町いわき福祉行政情報交換会(第6回)	保健師、看護師、その他	3月19日	11	大熊町
812		浪江町ケース報告会	保健師、看護師、精神保健福祉士、その他	3月19日	7	浪江町
813		浪江町親子ふれあい教室	保健師、臨床心理士、保育士、看護師、精神保健福祉士	3月19日	17	浪江町
814		双葉町ママサロン	保健師、看護師、その他	3月26日	7	双葉町
815	富岡町ケース会議	保健師、看護師、精神保健福祉士、その他	3月27日	10	富岡町	
816	加 須 市 駐 在	訪問ケースの情報交換	精神保健福祉士	4月9日	8	双葉町民ケース情報交換会議
817		訪問ケースの情報交換	精神保健福祉士	4月23日	8	双葉町民ケース情報交換会議
818		訪問ケースの情報交換	精神保健福祉士	5月14日	7	双葉町民ケース情報交換会議
819		訪問ケースの情報交換	精神保健福祉士	5月28日	7	双葉町民ケース情報交換会議
820		訪問ケースの情報交換(定例)	精神保健福祉士	6月11日	7	双葉町民ケース情報交換会議
821		訪問ケースの情報交換(定例)	精神保健福祉士	6月25日	7	双葉町民ケース情報交換会議
822		訪問ケース・面接技法の助言	精神保健福祉士	7月1日	6	浪江町復興支援員事例検討会
823		訪問ケースの情報交換(定例)	精神保健福祉士	7月9日	8	双葉町民ケース情報交換会議
824		訪問ケースの情報交換(定例)	精神保健福祉士	7月23日	6	双葉町民ケース情報交換会議

(福島県への報告から)

## 関係機関との連絡会

		内容	期日	会場	参加者数	実施回数
1	基幹センター	第88回心の健康度専門員会	4月7日	福島県立医科大学	34	
2		第89回心の健康度専門員会	4月14日	福島県立医科大学	35	
3		第90回心の健康度専門員会	4月21日	福島県立医科大学	36	
4		第91回心の健康度専門員会	5月12日	福島県立医科大学	30	
5		第92回心の健康度専門員会	5月26日	福島県立医科大学	29	
6		平成26年度「自殺対策官民連携協働ブロック会議」	6月20日	福島テルサ	42	
7		第93回心の健康度専門員会	6月16日	福島県立医科大学	35	
8		第94回心の健康度専門員会	6月23日	福島県立医科大学	34	
9		被災3県における心のケア支援事業合同会議	6月30日	東北厚生局	77	
10		第95回心の健康度専門員会	7月14日	福島県立医科大学	39	
11		第96回心の健康度専門員会	7月28日	福島県立医科大学	27	
12		第97回心の健康度専門員会	8月4日	福島県立医科大学	34	
13		第98回心の健康度専門員会	8月25日	福島県立医科大学	26	
14		第99回心の健康度専門員会	9月8日	福島県立医科大学	25	
15		災害派遣精神医療チーム(DPAT)に関する活動指針検討会	9月25日	トラストシティカンファレンス・丸の内	23	
16		第100回心の健康度専門員会	10月6日	福島県立医科大学	35	
17		第101回心の健康度専門員会	10月20日	福島県立医科大学	32	
18		第102回心の健康度専門員会	11月10日	福島県立医科大学	34	
19		平成26年度第1回福島県災害派遣精神医療チーム(DPAT)運営協議会	11月18日	杉妻会館	20	
20		第103回心の健康度専門員会	11月20日	福島県立医科大学	22	
21		平成26年度第23回生活復興VC連絡会	11月27日	福島県社会福祉協議会	12	
22		第104回心の健康度専門員会	12月9日	福島県立医科大学	32	
23		第105回心の健康度専門員会	12月15日	福島県立医科大学	32	
24		被災3県における心のケア支援事業合同会議	12月19日	東北厚生局	65	
25		第106回心の健康度専門員会	12月22日	福島県立医科大学	33	
26		第107回心の健康度専門員会	1月19日	福島県立医科大学	27	
27		平成26年度福島県被災者の心のケア支援事業運営委員会	1月22日	杉妻会館	24	
28		第108回心の健康度専門員会	2月2日	福島県立医科大学	33	
29		第109回心の健康度専門員会	2月16日	福島県立医科大学	34	
30		第110回心の健康度専門員会	3月2日	福島県立医科大学	33	
31		第111回心の健康度専門員会	3月16日	福島県立医科大学	34	
32		平成26年度福島県自殺対策推進協議会	3月27日	福島県庁本庁舎	16	
33		第112回心の健康度専門員会	3月30日	福島県立医科大学	34	
34	県中 方部 センター	みやぎ心のケアセンターとの合同研修会	2月20日	仙台市	13	
35		町村別被災者健康支援活動連絡会	2月23日	葛尾村役場	18	
36		福島県県中保健福祉事務所との定例会	2月27日	県中 方部 センター	1	
37		町村別被災者健康支援活動連絡会	3月6日	富岡町郡山事務所	16	
38		富岡町社協次年度事業打ち合わせ	3月12日	おだかいさまセンター	3	
39		次年度事業打ち合わせ	3月13日	双葉町郡山支所	1	
40		福島県県中保健福祉事務所との定例会	3月17日	県中 方部 センター	1	
41		三春町次年度打ち合わせ	3月19日	三春町役場	3	
42		矢吹病院精神保健業務懇談会	3月20日	矢吹病院	37	
43		三県合同企画打ち合わせ(心のケアセンター)	3月23日	みやぎ心のケアセンター	5	
44		富岡町絆支援員メンタルヘルス事業報告会	3月25日	富岡町役場郡山事務所	6	
45		福島県県中保健福祉事務所「アルコール家族教室」打ち合わせ	3月25日	県中 方部 センター	2	
46	相馬 方部 センター	相馬市大野台第6仮設住宅支援スタッフ情報共有会(飯舘村)	月1回	相馬市大野台第6仮設住宅集会場		
47		相馬市災害弱者支援及びPTSD対策情報交換会	年3回	相馬市市役所等		
48		南相馬市被災者健康支援連絡会	不定期	南相馬市保健センター		
49		仮設住宅入居者等支援関係者情報交換会(新地町)	隔月	新地町保健センター		

心のケアセンター活動記録誌

	内容	期日	会場	参加者数	実施回数
50	榎葉町ケア会議	4月10日	榎葉町サポートセンター	12	1
51	大熊町いわき福祉行政情報交換会	4月17日	大熊町いわき出張所	12	1
52	双葉町保健福祉実務者連絡会	4月17日	南台仮設ひだまり	14	1
53	相双地域等障がい児者支援関係者会議	4月21日	いわき合同庁舎	5	1
54	いわき市内における応急仮設住宅支援等に関する連絡会	4月24日	いわき市社会福祉センター	38	1
55	榎葉町ケア会議	4月24日	榎葉町サポートセンター	14	1
56	榎葉町ケア会議	5月15日	榎葉町サポートセンター	13	1
57	相双地域等障がい児者支援関係者会議	5月19日	いわき合同庁舎	5	1
58	いわき市内における応急仮設住宅支援等に関する連絡会	5月22日	いわき市社会福祉センター	32	1
59	榎葉町ケア会議	5月22日	榎葉町サポートセンター	15	1
60	双葉町保健福祉実務者連絡会	5月28日	南台仮設ひだまり	14	1
61	浪江町ケース報告会	6月11日	いわき合同庁舎	5	1
62	榎葉町ケア会議	6月12日	榎葉町サポートセンター	11	1
63	相双地域等障がい児者支援関係者会議	6月16日	いわき合同庁舎	4	1
64	みんなぶく会議	6月17日	みんなぶく	—	1
65	双葉町保健福祉実務者連絡会	6月18日	南台仮設ひだまり	8	1
66	大熊町いわき福祉行政情報交換会	6月19日	大熊町いわき出張所	13	1
67	平成26年度第1回保健事業担当者会議	6月24日	いわき合同庁舎	27	1
68	いわき市内における応急仮設住宅支援等に関する連絡会	6月26日	いわき市社会福祉センター	33	1
69	榎葉町ケア会議	6月26日	榎葉町サポートセンター	10	1
70	榎葉町ケア会議	7月3日	榎葉町サポートセンター	13	1
71	浪江町ケース報告会	7月8日	ケアセンターいわき方部	5	1
72	みんなぶく会議	7月15日	みんなぶく	—	1
73	双葉町保健福祉実務者連絡会	7月17日	南台仮設ひだまり	12	1
74	榎葉町ケア会議	7月24日	榎葉町サポートセンター	12	1
75	相双地域等障がい児者支援関係者会議	7月28日	いわき合同庁舎	5	1
76	浪江町ケース報告会	8月1日	浪江町役場	5	1
77	双葉町ケース報告会	8月7日	いわき方部センター	3	1
78	相双地域等障がい児者支援関係者会議	8月18日	いわき合同庁舎	5	1
79	大熊町いわき福祉行政情報交換会	8月21日	大熊町いわき出張所	12	1
80	いわき市内における応急仮設住宅支援等に関する連絡会	8月28日	いわき市社会福祉センター	28	1
81	双葉町保健福祉実務者連絡会	8月29日	南台仮設ひだまり	12	1
82	榎葉町ケア会議	9月4日	榎葉町サポートセンター	12	1
83	浪江町ケース報告会	9月9日	いわき方部センター	5	1
84	みんなぶく会議	9月9日	みんなぶく	—	1
85	双葉町保健福祉実務者連絡会	9月29日	南台仮設ひだまり	12	1
86	相双地域等障がい児者支援関係者会議	9月26日	いわき合同庁舎	5	1
87	榎葉町ケア会議	10月2日	榎葉町サポートセンター	12	1
88	大熊町ケース報告会	10月3日	大熊町役場いわき出張所	2	1
89	ならは健康づくり推進協議会	10月14日	榎葉町いわき出張所	14	1
90	みんなぶく会議	10月14日	みんなぶく	—	1
91	相双地域等障がい児者支援関係者会議	10月20日	いわき合同庁舎	5	1
92	広野中学校ケース会議	10月22日	広野町立広野中学校	—	
93	広野小学校ケース会議	10月22日	広野町立広野小学校	—	
94	榎葉町ケア会議	10月23日	榎葉町サポートセンター	12	1
95	いわき市内における応急仮設住宅支援等に関する連絡会	10月29日	いわき市社会福祉センター	22	1
96	双葉町保健福祉実務者連絡会	10月30日	南台仮設ひだまり	9	1
97	ならは健康づくり推進協議会	11月5日	榎葉町いわき出張所	14	1
98	相双地域等障がい児者支援関係者会議	11月17日	いわき合同庁舎	5	1
99	浪江町ケース報告会	11月20日	いわき市文化センター	5	1
100	大熊町いわき福祉行政情報交換会	11月20日	大熊町いわき出張所	7	1
101	双葉町ケース報告会	11月20日	双葉町役場いわき出張所	2	1
102	榎葉町ケア会議	11月20日	榎葉町サポートセンター	7	1
103	富岡町ケース会議	11月21日	富岡町役場いわき支所	9	1
104	双葉町保健福祉実務者連絡会	11月27日	南台仮設ひだまり	14	1

いわき方部センター

		内容	期日	会場	参加者数	実施回数	
105		榑葉町ケア会議	11月27日	榑葉町サポートセンター	11	1	
106		ならは健康づくり推進協議会	12月1日	榑葉町いわき出張所	14	1	
107		榑葉町ケア会議	12月4日	榑葉町サポートセンター	13	1	
108		広野中学校ケース会議	12月10日	広野町立広野中学校	—	1	
109		相双地域等障がい児・者支援関係者会議	12月15日	いわき合同庁舎	5	1	
110		双葉町保健福祉実務者連絡会	12月16日	南台仮設ひだまり	8	1	
111		みんぶく会議	12月16日	みんぶく	—	1	
112		榑葉町ケア会議	12月18日	榑葉町サポートセンター	11	1	
113		厚生労働省科学研究「被災地における精神障害等の状況把握と介入効果の検証及び介入手法の向上に資する研究」	12月18日	トラストシティカンファレンス・丸の内	—		
114		いわき市内における応急仮設住宅支援等に関する連絡会	12月25日	いわき市社会福祉センター	23	1	
115		双葉町ケース報告会	1月7日	双葉町役場いわき出張所	3	1	
116		浪江町ケース報告会	1月15日	なみえ交流館	6	1	
117		双葉町保健福祉実務者連絡会	1月15日	南台仮設ひだまり	14	1	
118		相双地域等障がい児・者支援関係者会議	1月19日	いわき合同庁舎	5	1	
119		みんぶく会議	1月20日	みんぶく	—	1	
120	いわき 方部 センター	大熊町いわき福祉行政情報交換会	1月22日	大熊町いわき出張所	10	1	
121		榑葉町ケア会議	1月22日	榑葉町サポートセンター	14	1	
122		富岡町ケース報告会	1月23日	富岡町役場いわき支所	4	1	
123		富岡町ケース会議	1月30日	富岡町役場いわき支所	12	1	
124		榑葉町ケア会議	2月5日	榑葉町サポートセンター	18	1	
125		ならは健康づくり推進協議会	2月6日	榑葉町いわき出張所	14	1	
126		相双地域等障がい児・者支援関係者会議	2月16日	いわき合同庁舎	5	1	
127		双葉町保健福祉実務者連絡会	2月17日	南台仮設ひだまり	8	1	
128		富岡町ケース報告会	2月18日	富岡町役場いわき支所	4	1	
129		浪江町ケース報告会	2月19日	いわき市文化センター	5	1	
130		保健事業担当者会議	2月26日	いわき市文化センター	27	1	
131		いわき市内における応急仮設住宅支援等に関する連絡会	2月27日	いわき市社会福祉センター	23	1	
132		大熊町ケース報告会	2月27日	大熊町いわき出張所	4	1	
133		富岡町ケース報告会	3月4日	富岡町役場いわき支所	4	1	
134		大熊町ケース報告会	3月4日	大熊町いわき出張所	4	1	
135		榑葉町ケア会議	3月5日	榑葉町サポートセンター	9	1	
136		ならは健康づくり推進協議会	3月6日	榑葉町いわき出張所	14	1	
137		双葉町保健福祉実務者連絡会	3月17日	南台仮設ひだまり	8	1	
138		榑葉町ケア会議	3月19日	榑葉町サポートセンター	20	1	
139		大熊町いわき福祉行政情報交換会	3月19日	大熊町いわき出張所	10	1	
140		浪江町ケース報告会	3月19日	いわき市文化センター	5	1	
141		富岡町ケース会議	3月27日	富岡町役場いわき支所	12	1	
142		加須市 駐在	双葉町健康福祉課(いわき事務所)駐在業務打ち合わせ・報告	適宜	双葉町いわき事務所		
143			双葉町生活支援課(いわき事務所・埼玉支所)駐在業務打ち合わせ・報告	適宜	双葉町いわき事務所・埼玉支所		
144			双葉町社会福祉協議会(加須事務所)ケース報告会	月2回	双葉町社協(加須)	6~9	
145	埼玉県社会福祉士会ケース報告会		月1回	双葉町社協(加須)	9~13		
146	加須市駐在活動終了に向けた打ち合わせ		適宜				

その他

		要請機関	テーマ	講師・スタッフ	期日	会場	対象者	実施回数	受講者数
1	基幹センター	福島県北保健福祉事務所	業務説明		9月12日	—	福島学院大学学生		1
2	県北方部センター	福島県北保健福祉事務所	アルコール家族教室	県北方部職員	5月18日	県北保健福祉事務所	アルコール依存症者の家族		
3	県中方部センター	田村市商工会議所	たむらスマイルプロジェクトinねぶた	岩沢裕樹 山下和彦	8月5日・6日	青森県青森市		1	35
4		山形県環境エネルギー部危機管理・くらし安心局	やまがた避難者支援協働ネットワーク「全体意見交換会」:心のケアと孤立防止	渡部育子 松田聡一郎	10月30日	山形県村山総合支庁			
5		福島県県中保健福祉事務所	健康支援サロン	田崎美和 渡部千景	9月19日	大槻東地域公民館		1	1
6		福島精神保健福祉協会	自殺対策関係者研修	山下和彦	1月23日	県北保健福祉事務所		1	46
7		日本作業療法士協会	災害支援ボランティア登録者研修会	菅野寿洋	2月15日	日本作業療法士協会		1	15
8	会津方部センター	福島県会津保健福祉事務所	獨協医科大学地域保健実習&福島保護観察所職員研修	会津方部センター	10月14日	会津方部センター	医学部学生1名 &社会復帰調整官1名		2
9	相馬方部センター	早稲田大学人間科学部健康福祉科学科	「災害時におけるコミュニティソーシャルワークの役割」に関する研究協力						
10		高知県立大学看護学部	被災家族への看護支援モデルの構築と活用に関する研究						
11	いわき方部センター	福島県相双保健福祉事務所	相双地域あそびの教室	植田由紀子	5月26日	いわき市総合保健福祉センター	発達の遅れの疑いがあり経過観察が必要とされた幼児とその保護者		
12					6月23日				
13					7月28日				
14					8月25日				
15					9月29日				
16					10月27日				
17					11月17日				
18					12月22日				
19					1月26日				
20					2月23日				

## チラシ、パンフレット等の作成等印刷

種類	テーマ	規格:作成部数	作成年度	備考
パンフレット	うつ病・自殺予防パンフレット	1,600	2014	
	うつ病・うつ状態について	1,000	2014	
	からだところろの状態にすこし目をむけてみませんか?	215,000	2014	
	緊急事態から「脳・こころ・身体」が回復するしくみ	1,000	2014	
	被災者相談ダイヤル(増刷)	A4判:600部	2014	
	認知症を支える家族へ	500枚	2014	
ポスター	「笑い与健康」高座&講座・笑顔で「心」について考えよう	50	2014	
チラシ	「笑い与健康」高座&講座・笑顔で「心」について考えよう	1,000	2014	
機関誌発行	ふくここ(5月、7月、9月、11月、1月、3月)	各月70~100枚	2014	

## 運営委員会

	実施日	内容	出席者	場所	人数
1	7月31日	ふくしま心のケアセンター事業報告、事業計画他	運営委員12名他	福島県精神保健福祉センター	28
2	2月26日	事業中間報告、地域アルコール対応力強化事業、事業計画			23

## 方部連絡調整会議

	方部別	実施日	内容	出席者	場所	人数	備考
1	県北	2月19日	活動報告、意見交換会	福島市医師会他	福島県精神保健福祉センター	27	
2	県中	10月21日	活動報告、グループワーク等	郡山市保健所他	郡山市ミューカルがくと館	32	
3	県南	3月6日	活動概要及び今後の展望、活動報告、27年度活動予定、管内各機関の被災者支援状況報告、グループワークなど	白河市他	白河市立図書館	31	
4	会津	10月2日	活動報告、グループ討議等	会津若松市他	生涯学習センター	34	
5	相馬	3月5日	活動報告、グループワークによる情報交換会	相馬市保健センター他	福島県南相馬合同庁舎	20	
6	いわき	1月29日	活動報告、講義「福島精神保健に関する現状と課題」特にいわき地域での支援活動について	いわき市保健所他	いわき産業創造館	33	

## アルコールプロジェクトミーティング

		実施日	内容	出席者	場所	人数	備考
1	第2回	4月11日	研修会の進め方他	所長、副所長、障がい福祉課、担当他	福島県精神保健福祉センター	9	
2	第3回	5月8日	研修会及び市民公開講座他	リーダー、副所長、障がい福祉課、担当他	福島県精神保健福祉センター	7	
参考	第1回	3月14日	久里浜病院との協力体制他	前田先生、大川先生、副所長、東北厚生局、障がい福祉課他	福島県精神保健福祉センター	9	

## 職員定例研修

	実施日	研修名	内容	講演者	場所	対象	人数
1	4月1～3日	初任者職員研修	ふくしま心のケアセンターの活動等	畑哲信先生、渡路子先生他	福島県精神保健福祉センター	心のケアセンター職員	13
2	5月9日	職員研修	疾病の見落とし	加治佐哲也先生、岩井圭司先生	福島県精神保健福祉センター	心のケアセンター職員他	35
3			復興4年目にむけた福島の課題とセンターの目標について	前田正治先生	福島県精神保健福祉センター	心のケアセンター職員他	25
4	6月21日	職員研修	アルコール問題の現状と対策	杠岳文先生、石丸正吾先生	福島県立医科大学	心のケアセンター職員他	29
5	8月8日	職員研修	グリーンケア	前田正治先生	福島テルサ	心のケアセンター職員他	31
6	10月10日	職員研修	認知症について	川勝忍先生	福島テルサ	心のケアセンター職員他	41
7	11月11日	初任者職員研修	ミーティング「半年間の振り返り」	宮原俊也、松島輝明	県中方部センター	心のケアセンター職員他	8
8	11月18日	職員研修	講義及び演習「スタッフと信頼関係を育てるコミュニケーション」	遠藤律先生	県中方部センター	心のケアセンター職員	8
9	12月4日	職員研修(地域アルコール対応力強化事業)	アルコール関連問題を抱えた対象者及び家族への訪問支援及びケース検討	宮脇真一郎先生(看護師)、中込吉宏先生(精神保健福祉士)	相馬広域こころのケアセンター なごみ相馬事務所	心のケアセンター職員	27
10	12月5日	職員研修	講演「心のケアセンターの将来像」 ふくしま心のケアセンター活動報告会	加藤寛先生	県中方部センター	心のケアセンター職員	36
11	1月7日	初任者職員研修	福島県の現状と復興期の支援等	宮原俊也、松島輝明	いわき方部センター	心のケアセンター職員	1
12	1月22日	初任者職員研修	ミーティング「新任だから見えること」	渡部育子、宮原俊也、松島輝明	県中方部センター	心のケアセンター職員	5
13	3月20日	初任者職員研修	事例検討会の持ち方	宮原俊也、松島輝明	県中方部センター	心のケアセンター職員	6

## 職能別研修

	実施日	対象	内容	講師	場所	人数
1	11月20日	看護職	脳を身体として考えてみよう	前田正治先生 (福島県立医科大学)	県中方部センター	9
2	1月14日	看護職	心のケアセンターにおける看護職～その役割や苦労について～	—	県中方部センター	10
3	3月18日	看護職	看護職としての心のケアをテーマに今年の活動をグループワークで振り返る	—	県中方部センター	5
4	3月16日	作業療法士	南相馬市における支援活動と子どもの現状	清山真琴	福島県精神保健福祉センター	4

## スーパーバイズ研修

	実施日	研修名	内容	講演者	場所	対象	人数
1	4月15日	スーパーバイズ	事例検討会	前田正治先生	いわき方部センター	ケアセンター職員	8
2	6月11日	スーパーバイズ	ファミリーテーション及び個別ケースに関するスーパーバイズ	飯尾弥生先生	県中方部センター	県中方部センター職員	11
3	6月16日	スーパーバイズ	事例検討会	前田正治先生	いわき方部センター	ケアセンター職員	3
4	7月18日	スーパーバイズ	相談記録の書き方に関する講義、事例に基づくロールプレイとグループでの記録作成と発表	八木亜紀子先生	県中方部センター	県中方部センター職員	10
5	7月23日	スーパーバイズ	事例検討会	大川貴子先生	いわき市方部センター	市町村保健師、ケアセンター職員	4
6	8月4日	支援者のためのミニ勉強会「もしかして、DV?」	研修会後に事例検討会を実施	小西聖子先生	いわき市文化センター	市町村保健師、ケアセンター職員	3
7	8月11日	スーパーバイズ	事例検討会	大江美佐里先生	いわき方部センター	市町村保健師、ケアセンター職員	6
8	8月22日	スーパーバイズ	事例検討会	大川貴子先生	いわき方部センター	ケアセンター職員	5
9	8月27日	スーパーバイズ	事例検討会	大川貴子先生	県中方部センター	市町村職員等	17
10	9月10日	アルコール問題の現状とブリーフインターベンションの基礎	研修会後に事例検討会を実施	武藤岳夫先生 大坪万理沙先生	いわき生涯学習プラザ	市町村保健師、ケアセンター職員	4
11	9月24日	スーパーバイズ	事例検討会	大川貴子先生	県中方部センター	市町村職員等	24
12	12月15日	スーパーバイズ	事例検討会	前田正治先生	いわき方部センター	市町村保健師、ケアセンター職員	10
13	1月7日	事例検討会	事例検討会	巖岩弘起	いわき市役所	いわき市内のケアマネジャー	6
14	1月30日	スーパーバイズ	支援者支援に関する勉強会	秋山剛先生 前田正治先生	いわき方部センター	ケアセンター職員	8
15	2月5日	事例検討会	事例検討会	川端直人先生	いわき方部センター	市町村保健師、ケアセンター職員	10
16	3月11日	スーパーバイズ	事例検討会	前田正治先生	いわき方部センター	ケアセンター職員	5
17	3月24日	スーパーバイズ	ファミリーテーション及び個別ケースに関するスーパーバイズ	飯尾弥生先生	県中方部センター	県中方部センター職員	11

## 方部間研修

	日時	事業内容	参加者	会場	参加者	主管
1	5月29日	県中・いわき方部間研修	県中方部:渡部・後藤・安藤・相良・恵美子・松田・山下・千景・田崎・松島・岩沢 いわき方部:本田・東條・鈴木・谷口・西山・巖岩・石塚	県中方部センター	17	県中・いわき方部センター
2	8月28日	県中・いわき方部間研修	基幹:昼田・内山 県中方部:安藤・恵美子・山下・千景・田崎・松島・岩沢 いわき方部:本田・真鍋・東條・鈴木・谷口・西山・巖岩・石塚・植田	平田村保健センター	19	
3	10月15日	楢葉町職員向けサロン支援	渡部、相良、岩沢	楢葉町会津美里出張所	4	会津方部センター
4	12月17日	県中・いわき方部間研修	県中方部:後藤、岩沢、菅野 いわき方部:本田・東條・鈴木・谷口・西山・石塚・植田	いわき方部センター	10	県中・いわき方部センター
5	1月22日	富岡町社協職員メンタルヘルス事業打ち合わせ	県中方部:松田	いわき方部センター	3	
6	3月10日	今年度の振り返りと次年度に向けて	基幹:宮原 いわき方部:真鍋・鈴木・西山・山内 県中方部:渡部・後藤・安藤・相良・恵美子・松田・山下・千景・田崎・岩沢・岩沢	県中方部センター	16	

## 各種研修・イベント等の主催研修

実施日	研修名	内容	共催団体	後援団体	開催場所	対象	人数	備考	
1	6月21日	アルコール事業研修会	アルコール問題の現状と対策 (杠岳文先生、石丸正吾先生)	福島県立医科大学災害こころの医学講座、相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会	福島県立医科大学	保健福祉医療関係者	55	地域アルコール対応力強化事業	
2	7月3日	地域アルコール対応力強化事業研修会	アルコール問題に対する家族を含めての対応の実際(世良守行先生)	福島県立医科大学災害こころの医学講座、相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会	コラッセふくしま	保健福祉医療関係者	69	地域アルコール対応力強化事業	
3	8月4日	虐待に関する研修	もしかしてDV/DVの基本的理解と私たちにできること(小西聖子先生)		いわき市文化センター	いわき市内で対人支援に関わる専門職	27	いわき方部	
4	9月3日	学びとつながりづくりの交流会	ストレスケアと笑いの効果(菅野寿洋専門員) アサーティブなコミュニケーション(大川貴子先生)		白河市立図書館	保健福祉医療関係者	11	県南方部	
5	9月7日	自殺予防セミナー「心の健康講座」	「福島県の自殺の現状と対策」 県中保健福祉事務所・小田島主任保健技師、「色を使った心のマッサージ～色で癒やしを体験してみよう」カラーセラピスト・萩原佳代子氏	郡山市 福島県県中保健福祉事務所	郡山市労働福祉会館	一般市民	26	県中方部	
6	9月10日	アルコールに関する研修	アルコール問題の現状とブリーフインターベンションの基礎(武藤岳夫先生、大坪万里先生)		いわき市生涯学習プラザ	いわき市内で対人支援に関わる専門職	38	いわき方部	
7	9月17日	学びとつながりづくりの交流会	宮城県における被災者のアルコール関連問題の現状と支援(福地成先生) アサーティブなコミュニケーション(大川貴子先生)		白河市立図書館	保健福祉医療関係者	15	県南方部	
8	9月23日	アルコールに関する講演会およびシンポジウム	基調講演「福島県におけるアルコール問題に対する支援のあり方」(大島直和先生)シンポジウム「被災地におけるアルコール問題への取り組みについて考える」	福島県精神保健福祉センター	福島県立医科大学	保健福祉医療関係者	80	地域アルコール対応力強化事業	
9	10月10日	ふくしま心のケアセンター研修会	認知症について(川勝忍先生)		福島テルサ	心のケアセンター職員他	41		
10	10月25日	「笑いと健康」高座&講座 「笑顔で「心」について考えよう	講演「笑いと健康」(大平哲也先生)落語(桂三金氏:よしもとクリエーティブ・エージェンシー)	福島県立医科大学県民健康管理センター	いわき市、福島県相双保健福祉事務所	いわき市労働福祉会館	一般住民	55	いわき方部
11	11月1日	アルコールに関する市民公開講座	講演「お酒との上手なつきあい方」(熊谷雅之先生)ミニコンサート(福島県立医科大学管弦楽部)	福島県、郡山市、相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会	福島県立医科大学、福島県医師会、福島県看護協会、福島県断酒しゃくなげ会	福島県看護会館みらい	一般住民および支援者	81	地域アルコール対応力強化事業
12	11月5日	アルコールTV会議研修会	杠岳文先生他		いわき方部センター(TV会議)	市町村保健師、精神科病院関係者など	5	いわき方部	

実施日	研修名	内容	共催団体	後援団体	開催場所	対象	人数	備考
13	11月6日～7日	サイコロジカル・リカバリー・スキル研修会 研修(大澤智子先生)	いわき市保健所、福島県相双保健福祉事務所		いわき労働福祉会館	メンタルヘルスに関する業務従事者など	40	いわき方部
14	11月21日	心うつくしまフォーラム 特別講演・シンポジウム	福島県精神保健福祉協会	福島県、白河市他	白河市文化センター	一般県民	126	県全体
15	11月28日	職員のストレスケア研修会 働く人のストレスケア(重村淳先生)			川内村役場	川内村・川内村社会福祉協議会職員	19	県中方部
16	11月29日	第2回市民くらしの健康講座 講演「認知症のある方とその方々を支える地域づくりについて(森川すいめい先生)」 「認知症のある方」とその方々を支える「地域づくり」について、多職種・多機関での連携やネットワークづくりのための具体的方法や手順、ポイントなどを学ぶ(森川すいめい先生)	郡山市、福島県県中保健福祉事務所		郡山市総合福祉センター	認知症に関心のある方等	33	県中方部
						社協・地域包括センターなどの職員	18	県中方部
17	12月3日	地域アルコール対応力強化事業研修会 「プリーフインターベンションの基礎」肥前医療センター・杠岳文先生他			いわき方部センター(TV会議)	市町村保健師、精神科病院関係者など	6	いわき方部
18	12月4日	第1回アルコール依存症についての勉強会 アルコール依存症患者とそ家族への対応について:宮脇真一郎先生(看護師)、中込吉宏先生(精神保健福祉士)			雲雀ヶ丘病院	医療保健従事者	47	地域アルコール対応力強化事業
19	1月7日	地域アルコール対応力強化事業研修会 「減酒支援の実際」琉球病院 福田貴博先生			いわき方部センター(TV会議)	市町村保健師、精神科病院関係者など	5	いわき方部
20	2月4日	地域アルコール対応力強化事業研修会 杠岳文先生他			いわき方部センター(TV会議)	市町村保健師、精神科病院関係者など	5	いわき方部
21	2月13日	ふくしま心のケアセンター研修会 「福島での母親と子どもへの支援を考える」～原発事故後の母親の支援と支援方法(後藤あや先生)、児童虐待とそ対応について(箭内哲男氏)			福島テルサ	医療保健福祉従事者	71	
22	3月3日	復興支援者のための研修会 分科会・全体ミーティング	福島県県中保健福祉事務所	日本トラウマティック・ストレス学会	ミュージカルがくと館	市町村職員及び応急仮設住宅の支援者等	33	県中方部
23	3月4日	地域アルコール対応力強化事業研修会 杠岳文先生他			いわき方部センター(TV会議)	市町村保健師、精神科病院関係者など	5	いわき方部

顧問の活動等

	実施日	研修名	内容	顧問名	開催場所	対象	人数	備考
1	5月28日	スーパーバイズ	ケース検討会	大川貴子先生	県中方部センター	—	—	県中方部センター
2	7月23日	スーパーバイズ	ケース検討会 ※	大川貴子先生	いわき方部センター	市町村保健師、ケアセンター職員	4	※いわき方部センター
3	7月30日	スーパーバイズ	ケース検討会	大川貴子先生	県中方部センター	—	—	県中方部センター
4	8月4日	虐待に関する研修	もしかしてDVの基本的理解と私たちにできること※	小西聖子先生	いわき市文化センター	職員	27	※いわき方部センター
5	8月4日	支援者のためのミニ勉強会「もしかして、DV?」	研修会後に小西聖子先生によるスーパーバイズ ※	小西聖子先生	いわき市文化センター	市町村保健師、ケアセンター職員	3	※いわき方部センター
6	8月11日	スーパーバイズ	事例検討会 ※	大江美佐里先生	いわき方部センター	市町村保健師、ケアセンター職員	6	※いわき方部センター
7	8月22日	スーパーバイズ	事例検討会 ※	大川貴子先生	いわき方部センター	職員	5	※いわき方部センター
8	8月27日	スーパーバイズ	事例検討会 ※	大川貴子先生	県中方部センター	市町村職員等	20	※県中方部センター
9	9月3日	学びとつながりづくりの交流会	支援者のためのアサーティブなコミュニケーションワークショップ	大川貴子先生	県南方部センター	医療福祉行政機関およびボランティア関係者等	11	※県南方部センター
10	9月17日			大川貴子先生	県南方部センター		15	※県南方部センター
11	9月24日	スーパーバイズ	事例検討会 ※	大川貴子先生	県中方部センター	市町村職員等	20	※県中方部センター
12	1月21日	スーパーバイズ	事例検討会	大川貴子先生	県中方部センター	市町村職員等	20	※県中方部センター
13	2月4日	スーパーバイズ	事例検討会	大川貴子先生	県中方部センター	市町村職員等	20	※県中方部センター

※再掲

## 各種研修・イベント等の共催・名義後援等の協力

	実施日	研修名	内容	支援団体	共催 後援の別	開催場所	対象	人数
1	通年	震災遺族の支援事業	震災で大切な人を亡くした方の心のケア	自殺対策支援センターライフリンク	後援	県内各地	震災で大切な人を亡くした方	-
2	通年	親子ふれあい遊び	親子ふれあい教室	福島県臨床心理士会	共催	県中方部(須賀川市、田村市、平田村、三春町、葛尾村)	未就学児及びその母親	-
3	5月24日	チャイルドラインこおりやま子ども支援フォーラム	今、私たちにできること	チャイルドラインこおりやま	共催	ミュールがくと館	一般市民他	200
4	5月24・31日、6月8・14・28日	チャイルドラインふくしま第四期受け手ボランティア養成講座	子どもの権利条約等	チャイルドライン福島	後援	佐平ビル、チェンバおおまち	一般・学生	
5	7月4日	援助職のためのストレスケア	マインドフルネスをベースにした種々の技法とストレスケアの考え方	ちるさぼ☆ FUKUSHIMA	共催	いわき生涯学習プラザ	医療・保健・福祉・ボランティア団体等の援助職・援助活動に携わる方	50
6	9月20日	自殺予防週間街頭キャンペーン	ボランティアによるアトラクション、啓発ちらし等の配布等	福島県県北保健福祉事務所	共催	JR福島駅	一般市民他	
7	9月27日	ふくしま啓発フォーラム	子ども達は今	チャイルドラインふくしま	後援	S-PAL福島店 5階ネクストホール	一般市民他	
8	9月29日	自殺防止セミナー	福島県の自殺の現状(福島県精神保健福祉センター・自殺対策専門員)講演「笑う門には健康来る!笑いを生かした健康づくり～誰でも笑える方法とは?」大平哲也先生	福島県県北保健福祉事務所	共催	二本松市安達公民館	一般市民他	100
9	10月18日	大規模災害復興期の支援者のメンタルヘルスー東日本大震災の経験から	支援者の現状と課題 被災3県における支援の現場から 各職域での健康調査結果と支援	厚生科研 研究代表者松岡洋夫(東北大学大学院精神神経学分野・予防精神医学寄附講座)	後援	TKPガーデンシティ仙台	一般市民他	
10	10月18日、11月1・8・15・29日	チャイルドラインふくしま第五期受け手ボランティア養成講座	子どもを取り巻く現状等	チャイルドライン福島	後援	佐平ビル	一般・学生	20
11	11月8～9日	被災地3団体交流企画「ここからなごみ」	被災地の長期支援を考えるーアルコール問題への全生活支援	心の架け橋いわて	後援	TKPガーデンシティ仙台ホール	一般市民他	
12	11月22日	あいまいな喪失	事例検討・グループワーク	JDGSプロジェクト	共催	福島大学	東日本大震災の被災者支援を行う専門家	
13	11月22日	PTSDに関する講演会	見つめよう見直そうこころのバランスと健康(蟻塚亮二先生)	相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会	共催	南相馬市労働福祉会館	一般市民他	100
14	12月1日	こころのケア国際シンポジウム	報告(兵庫県こころのケアセンター10年を振り返って)講演(東日本大震災被災地の現状、災害時の心理的援助の方法)パネルディスカッション「こころのケアの連携を巡って」	心のケア国際シンポジウム実行委員会(兵庫県こころのケアセンター)	後援	神戸国際会議場	一般市民他	
15	12月4日	アディクションフォーラム	どうしてクスリを使わなければならないのか(大石雅之先生)	福島県精神保健福祉センター	共催	ミュールがくと館	一般県民・関係機関の方々他	105

	実施日	研修名	内容	支援団体	共催 後援の別	開催場所	対象	人数
16	2月7日	アルコール講演会	「アルコール依存者と家族」(野田哲朗先生)	相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会	後援	道の駅 南相馬観光交流館	一般県民・関係機関の方々他	
17	2月7日	こころの防災市民フォーラム	第3回国連防災世界会議に向けて他	東北大学災害科学国際研究所	後援	せんだいメディアテーク	一般市民他	200
18	2月11日	依存症を知るセミナー～東北キャラバン～	依存症についての専門家による講演(佐久間寛之先生)依存症から脱却した当事者による体験談発表など	セレニティパークジャパン	後援	福島テルサ	一般県民・関係機関の方々他	
19	2月11～12日	サイロジカルリカバリススキル研修会	研修(大澤智子先生)	NPO法人みんなのとなり組 日本国際ボランティアセンター(JVC)	後援	南相馬市原町区福祉会館	保健福祉医療関係者	30
20	3月14日	国際防災世界会議パブリックフォーラム「大規模災害被災地への長期メンタルヘルス支援」	教育講演「災害復興における個人のレジリエンスと地域のレジリエンス」東北被災3県アウトリーチチームによる合同シンポジウム「長期メンタルヘルス支援と新しいネットワーク」	NPO法人心の架け橋いわて	後援	TKPガーデンシティ仙台勾当台	関係機関	160

## メディア等を活用した情報発信

	掲載・放送日	メディア名	内容	対応者
1	5月18日	福島民報	被災者の心のケア情報交換	巖岩弘起
2	5月18日	福島民友	避難者の心理症例紹介	巖岩弘起
3	5月25日	福島放送	こころのケア	内山清一、半澤利一、山下和彦
4	5月27日	福島民報	原発事故関連死座談会	米倉一磨
5	6月6日	福島民報	原発事故関連死78歯止め-支援の現場から	米倉一磨
6	6月10日	福島民報	原発事故関連死79歯止め-支援の現場から	伏見香代
7	6月10日	福島民報	原発事故関連死80歯止め-支援の現場から	伏見香代
8	7月25日	朝日新聞	患者を生きる つながって 心の悲鳴4	米倉一磨
9	7月26日	朝日新聞	患者を生きる つながって 心の悲鳴5	米倉一磨
10	8月27日	東京新聞	原発に生きがい奪われ	内山清一
11	9月15日	日刊スポーツ	長寿時代の医療と介護71	米倉一磨
12	9月17日	日刊スポーツ	長寿時代の医療と介護72	米倉一磨
13	9月18日	日刊スポーツ	長寿時代の医療と介護73	米倉一磨
14	9月20日	日刊スポーツ	年会費3000円のできる心の支援	米倉一磨
15	10月23日	ふくしまFM	地域アルコール対応力強化事業・市民公開講座PR	宮原俊也
16	1月23日	NHK	クローズアップ東北「自治体職員への対応」	内山清一、植田由紀子、巖岩弘起
17	2月1日	「ふくしまからはじめよう ゆめだより」2015.2月号	心配ごと話して心の元気にチャレンジャー!	安藤純子
18	3月3日	NHK	支援者同士で情報共有 相馬のNPO震災後の取り組み報告	米倉一磨
19	3月4日	毎日新聞	支援者同士で情報共有 相馬のNPO震災後の取り組み報告	米倉一磨
20	3月23日	朝日新聞	長期避難者多い相馬地方 心のケア正念場	米倉一磨

論文	1	山下和彦、渡部育子、後藤弓子他「東日本大震災後の福島県内復興支援者のニーズ変化と現状ーふくしま心のケアセンター県中南部センターの支援者支援研修会の取り組みからー」トラウマティック・ストレス2014,Vol.12,No.1
	2	米倉一磨 産業ストレス研究第21巻4号
寄稿	3	内山清一「精神保健福祉瓦版ニュースNo182(福島県精神保健福祉センター)」(2014.7)
	4	内山清一「Be!116原発事故後のアルコール問題に取り組む」(2014.8)
	5	「心のケアセンター特集」地域支え合い情報(2015.1.20)
	6	米倉一磨 精神看護出版 「精神科看護白書」 第5章 災害と看護
学会発表	7	山下和彦、重村淳「東日本大震災後の福島県内復興支援者のニーズ変化と現状」第13回日本トラウマティック・ストレス学会ポスターセッション(5月17-18日福島)
	8	巖岩弘起、植田由紀子、石塚幸作、昼田源四郎、前田正治「福島県沿岸部自治体職員に対するメンタルヘルス調査結果」(同上)
	9	米倉一磨「4年目を迎えた福島県相双地区の現状とこれから」第13回日本トラウマティック・ストレス学会シンポジウム(同上)
	10	植田由紀子「被災地におけるアウトリーチ・サービス～その前にあるもの、先にあるもの」(同上)
	11	岩沢裕樹、渡部育子、後藤弓子、安藤純子、相良サク子、松田聡一郎、山下和彦、田崎美和、宮原俊也、松島輝明、前田正治「被災市町村における行政職員のメンタルヘルス問題に対する支援のあり方と今後の課題」(同上)
	12	松島輝明、植田由紀子、塩田義人、佐藤初美「ふくしま心のケアセンターと他機関との連携における精神保健福祉士の役割」日本精神保健福祉士学会(6月19-21埼玉)
	13	米倉一磨 第21回関西アルコール関連問題学会シンポジスト(1月24日和歌山)
	14	米倉一磨 第20回日本集団災害医学会総会学術集会 「被災者生活支援」シンポジウム(2月28日東京)

## 【編集後記】

今回も、前回に増して内容の検討、見直しを重ね、ようやく発刊の運びとなりました。執筆者のみなさまをはじめ、職員全員に素晴らしい原稿をいただき、今後も残る“福島記録”として誇れる内容であると思います。

最近の状況としては、2015年3月1日常磐自動車道全線開通、2015年9月5日に楢葉町全域で避難指示解除準備区域を解除。南相馬市小高区、川俣町山木屋地区、葛尾村で「ふるさとへの帰還に向けた準備のための宿泊」が2015年8月31日から11月30日まで行われます。また、川内村東部の避難指示区域でも2015年11月1日から2016年1月31日まで行われる予定です。

東京電力福島第一原発関係では原子炉建屋周辺の井戸から地下水をくみ上げるサブドレン計画、遮水壁に着手するなど汚染水対策は少しずつ進んでおりますが燃料デブリ(溶融燃料)の取り出しまではほど遠い状況です。

また、職員のメンタルヘルスも問題が山積しているので心配しております。

被災から5年目に入ったら、引き続き県民の心のケアに寄与できればと考えております。

編集後記は最後になります。いろいろとお世話になりました。

(高橋)

## ふくしま心のケアセンター活動記録誌

2014(平成26)年度

第3号

表紙写真：尾瀬（畑哲信：福島県精神保健福祉センター所長）

発行日：2016(平成28)年2月1日

編集発行：一般社団法人 福島県精神保健福祉協会  
ふくしま心のケアセンター

Fukushima Center for Disaster Mental Health

〒960-8012 福島市御山町8-30 県保健合同庁舎5階

TEL (024)535-8639 FAX (024)534-9917

被災者相談ダイヤル(ふくここライン) (024)531-6522

<http://kokoro-fukushima.org/>

印刷所：株式会社 第一印刷

